

第5期江別市地域福祉計画策定に係る 市民アンケート調査報告書

令和7年3月

北海道江別市

目次

調査の概要	1
1 調査の概要	1
1.1 調査の実施概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 主な調査項目	1
(4) 回収結果	1
(5) 集計・分析の留意事項	2
1.2 調査結果の概要	3
(1) 社会的支援が必要な人の状況	3
(2) 地域での生活について	5
(3) 災害対策について	6
(4) 成年後見制度について	8
(5) 再犯防止について	9
(6) 福祉行政について	10
市民アンケート調査の結果	12
2.1 属性	13
問1 性別、年齢	13
問2 就業状態、職業	14
問3 家族構成	15
問4 世帯人数	16
問5 居住地区	17
問6 居住年数	18
問7 住まい	19
問8 世帯の家計の状況	20
問9 収入が少ないことによる影響	21
問10 健康状態	22
問11 普段の外出の頻度	23
問12 外出頻度が低い状況の継続期間	25
問13 外出頻度が低い状況の相談意向	27
問14 相談したいと思わない理由	28
2.2 近所付き合いについて	29
問15 近所の人との付き合い方	29
問16 手助けで感謝しているもの	30
問17 近所に住んでいる高齢者等への手助けの有無	32
問18 近所の高齢者等へ手助けした内容	33
問19 手助けしたことがない理由	35

問 20 近所付き合いの満足度.....	36
2.3 地域活動やボランティアについて	37
問 21 支援活動の参加の有無.....	37
問 22 活動している団体	39
問 23 活動している分野	40
問 24 団体の活動に参加していない理由	41
問 25 今後活動に参加する場合、活動したい分野	41
2.4 日常生活での不安や悩みについて	43
問 26 日常生活における問題や不安なこと	43
問 27 日常生活の問題や不安なことについての相談相手	45
2.5 地域での生活について	47
問 28 誰が中心になって取り組むべきか	47
問 29 住民同士のつながりやきずなを深めるために必要なこと	48
問 30 住民同士のつながりやきずなを深めることが必要ない理由	49
問 31 暮らしている地域の住みやすさ	50
問 32 暮らしている地域の住みやすさを答えた理由	51
2.6 災害対策について	52
問 33 緊急事態時に自力で避難できるか	52
問 34 避難時に支援してくれる方について	53
問 35 災害時に不安に思うこと	55
問 36 災害時のために普段備えていること	57
2.7 成年後見制度について	59
問 37 成年後見制度の認知度.....	59
問 38 判断能力が十分でない人のために本人の権利を守る制度の必要性の有無	60
問 39 江別市成年後見支援センターの認知度	61
2.8 再犯防止について	62
問 40 過去に罪を犯した人の立ち直り支援について	62
問 41 罪を犯した人が地域で生活する場合に必要な支援	63
2.9 福祉行政について	64
問 42 福祉全般に係るサービスなどの情報の入手方法.....	64
問 43 まちぐるみの福祉活動に関する評価.....	66
問 44 地域活動を活発にするために力を入れるべきと思うこと	67
問 45 住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために大切なこと	69
3 地域福祉に関する意見・要望	71
調査票	72

調査の概要

1 調査の概要

1.1 調査の実施概要

(1) 調査目的

第5期江別市地域福祉計画策定に係る基礎資料として、地域福祉の在り方に関する意見を反映させるため、市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

【対象地区】 江別市全域

【対象者数】 江別市に居住する18歳以上の市民 3,000名

【抽出方法】 住民基本台帳から居住地・性別・年齢の構成比に配慮した層化無作為抽出

【調査方法】 郵送配布・郵送回収またはオンライン回収

【調査時期】 令和6年7月

(3) 主な調査項目

- ・ 回答者の属性
- ・ 近所付き合いについて
- ・ 地域活動やボランティアについて
- ・ 日常生活での不安や悩みについて
- ・ 地域での生活について
- ・ 災害対策について
- ・ 成年後見制度について
- ・ 再犯防止について
- ・ 福祉行政について

(4) 回収結果

	件 数	回収率
配付数	3,000	—
回収数	1,254	41.8%

【地区別の配布数、回収数】

地区別	配布数（票）	回収数（票）	回収率
江別地区	1,189	486	40.9%
野幌地区	1,075	428	39.8%
大麻地区	736	275	37.4%
その他		4	
無回答		61	
合計	3,000	1,254	41.8%

【性別別の配布数、回収数】

性別	配布数（票）	回収数（票）	回収率
男性	1,407	551	39.2%
女性	1,593	686	43.1%
答えたくない		7	
無回答		10	
合計	3,000	1,254	41.8%

【年齢別の配布数、回収数】

年齢別	配布数（票）	回収数（票）	回収率
29 歳以下	357	79	22.1%
30 歳代	342	104	30.4%
40 歳代	427	159	37.2%
50 歳代	490	186	38.0%
60 歳代	504	233	46.2%
70 歳以上	880	471	53.5%
無回答		22	
合計	3,000	1,254	41.8%

（５）集計・分析の留意事項

本報告書内の図表においては、有効回答数を「n」で表記しました。また、クロス集計の場合などは、項目の下にそれぞれの項目に対応する有効回答数を表記しています。

図表中の構成比（％）は、小数点第 2 位以下を四捨五入したものであり、端数処理のため、合計は必ずしも 100%にならない場合があります。

回答者がいない場合は「0」と表記しています。

各設問は無回答を含みますが、特段断りのない設問については、無回答を含めて有効回答数としています。

表中の色の違いは以下の通りになっています。

字体：標準/字の太さ：太字 全体より高い(10ポイント以上)

字体：標準/字の太さ：太字 全体より低い(10ポイント以上)

※nが30未満の場合は対象外

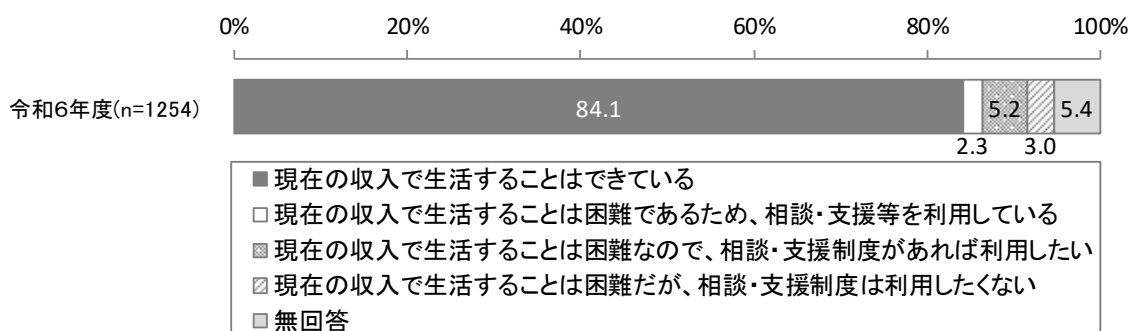
回答数が 30 未満の場合は、比率が上下しやすいため、傾向を見るに留めて本文中では触れていない場合があります。

自由記載においては、一つのコメントに複数の分類項目の内容が記載されている場合は、各分野に含めて件数を出しています。

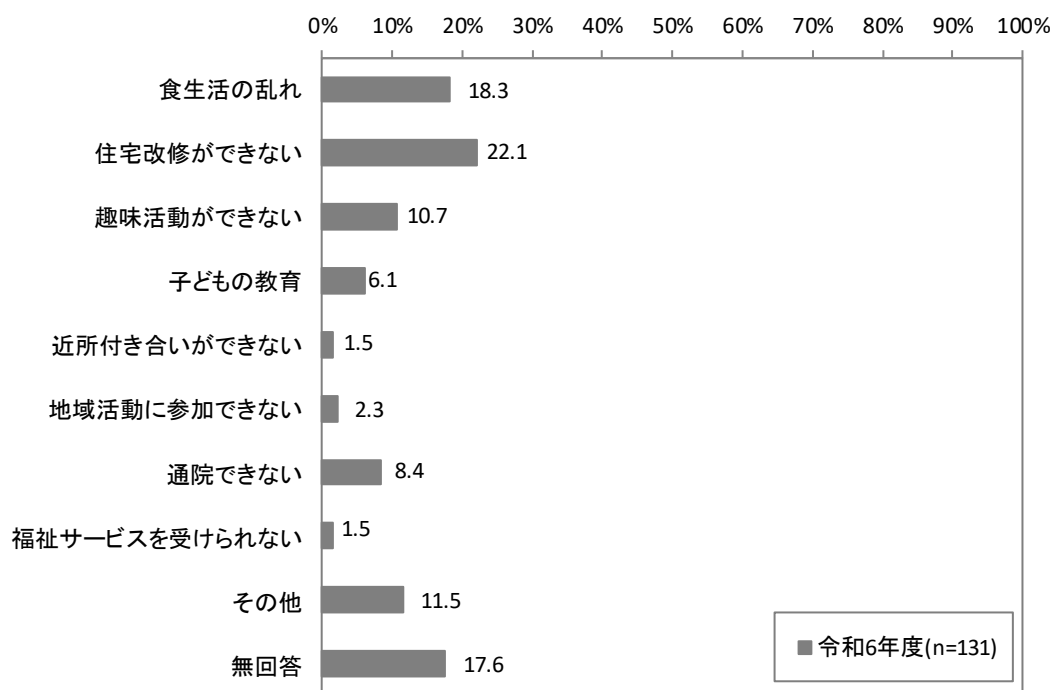
1.2 調査結果の概要

(1) 社会的支援が必要な人の状況

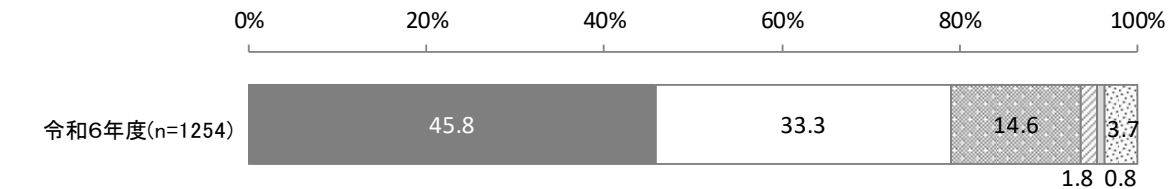
- ・世帯の家計状況から、生活が困窮していると想定される回答者（「現在の収入で生活することは困難であるため、相談・支援等を利用している」、「現在の収入で生活することは困難なので、相談・支援制度があれば利用したい」「現在の収入で生活することは困難だが、相談・支援制度は利用したくない」の合計）は10.5%となっています。（P20）



- ・世帯現在の収入が少ないことにより、「住宅改修ができない」「食生活の乱れ」という影響が生活に生じています。（P21）



- ・ 普段の外出の頻度は、「普段は家にいて、外出することもあるが、家族以外の人と会話することがほとんどない」は 14.6%、「自室からは出るが、家からはほとんど出ない」は 1.8%、「自室からほとんど出ない」は 0.8%となっています。そのうち、その状態が「6ヶ月から5年未満」は 43.7%、「5年以上」は 45.6%となっており、「6ヶ月以上」の人（6ヶ月以上外出頻度が低い人）は、全体の 15.3%（192 人/1,254 人）となっています。（P23～P26）



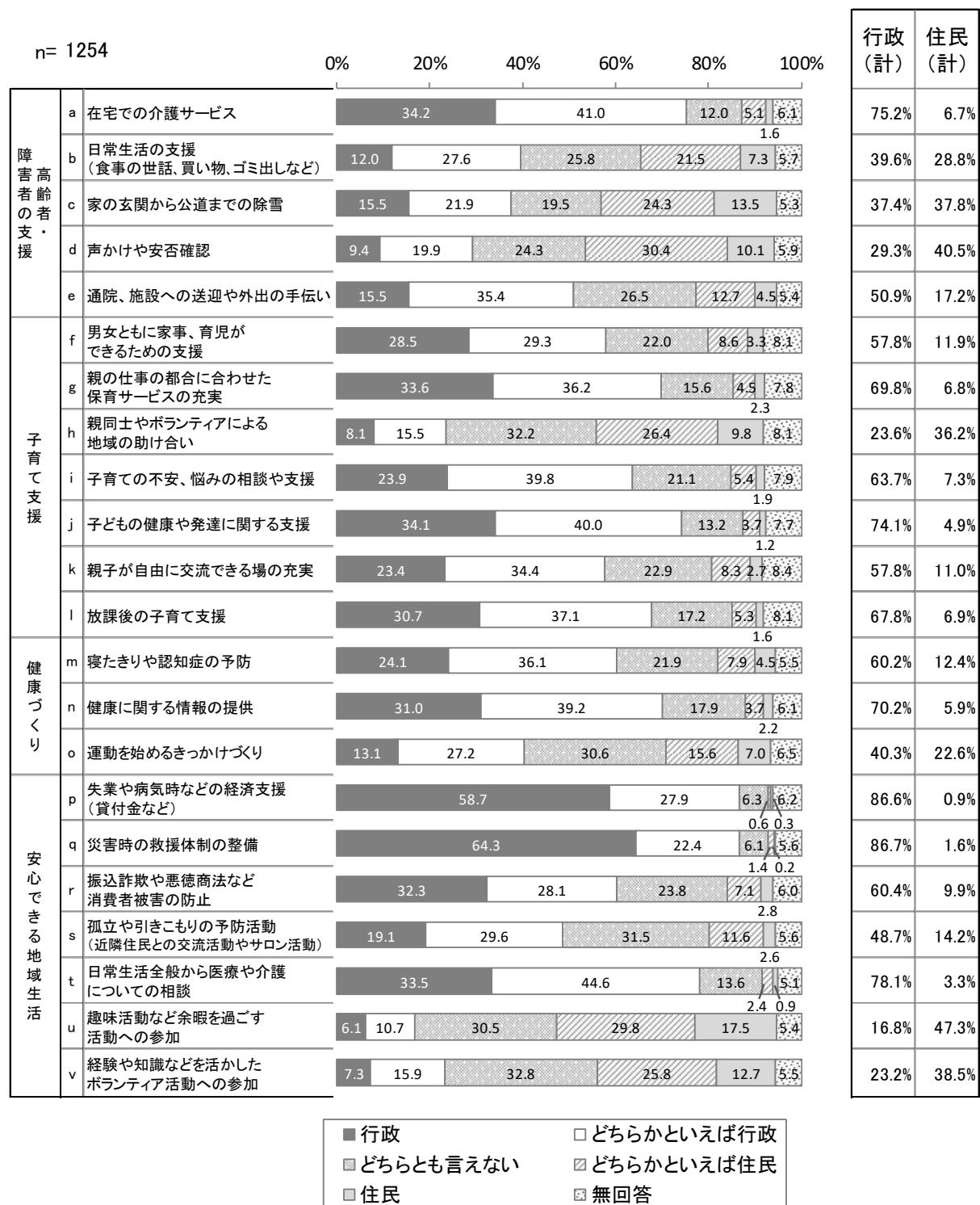
- 仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する
- 普段は家にいるが、仕事や学校以外の用事で頻繁にまたは時々外出し、家族以外の人と会話することがある
- ▨ 普段は家にいて、外出することもあるが、家族以外の人と会話することがほとんどない
- ▩ 自室からは出るが、家からはほとんど出ない
- ░ 自室からほとんど出ない
- ░ 無回答

回答者数(人):実数 以下割合(%)		全体	6ヶ月以上外出頻度が低い人/年齢					
			6ヶ月以上 外出頻度が低い人 /全体	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
回答者数(人)		1254	192	4	7	5	12	157
就業 状態、 職業	自営業	4.3	2.1	0	0	0	16.7	1.3
	正社員	18.7	1.0	25.0	14.3	0	0	0
	契約社員	4.1	0.5	0	0.0	0	0	0.6
	パート、アルバイト	18.2	2.6	0	14.3	0	0	2.5
	公務員	4.4	0.5	0	14.3	0	0	0
	家事専業(主婦・主夫を含む)	12.0	16.1	25.0	28.6	40.0	41.7	12.7
	学生	1.8	0	0	0	0	0	0
	その他	2.9	4.2	0	0	20.0	0	3.8
	無職(年金生活)	28.8	60.9	0	0	20.0	8.3	70.1
	無職(求職活動中)	1.0	1.6	0	14.3	0	8.3	0.6
	無職(求職活動していない)	2.6	9.9	50.0	14.3	20.0	25.0	7.6
	無回答	1.2	0.5	0	0	0	0	0.6
居住 年数	1年未満	3.3	4.2	25.0	14.3	0	8.3	3.2
	1年以上5年未満	10.5	12.0	25.0	57.1	20.0	0	8.9
	5年以上10年未満	9.3	3.6	0	14.3	0	16.7	2.5
	10年以上20年未満	17.3	11.5	0	0	20.0	25.0	11.5
	20年以上	58.6	67.2	50.0	14.3	60.0	50.0	72.0
	わからない	0.5	1.6	0	0	0	0	1.9
	無回答	0.4	0	0	0	0	0	0

※6ヶ月以上外出頻度が低い人/全体のみ、全体との差を比較しています。

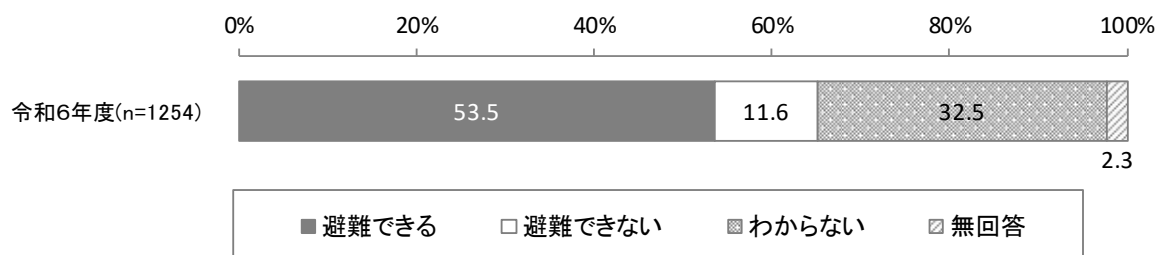
(2) 地域での生活について

・誰が中心になって取り組むべきかについては、行政が中心になって取り組むべき（「行政」、「どちらかといえば行政」の合計）の上位3つは、「災害時の救援体制の整備」（86.7%）、「失業や病気時などの経済支援（貸付金など）」（86.6%）、「日常生活全般から医療や介護についての相談」（78.1%）となっています。一方、住民が中心になって取り組むべき（「住民」「どちらかといえば住民」の合計）の上位3つは、「趣味活動など余暇を過ごす活動への参加」（47.3%）、「声かけや安否確認」（40.5%）、「経験や知識などを活かしたボランティア活動への参加」（38.5%）となっています。（P47）

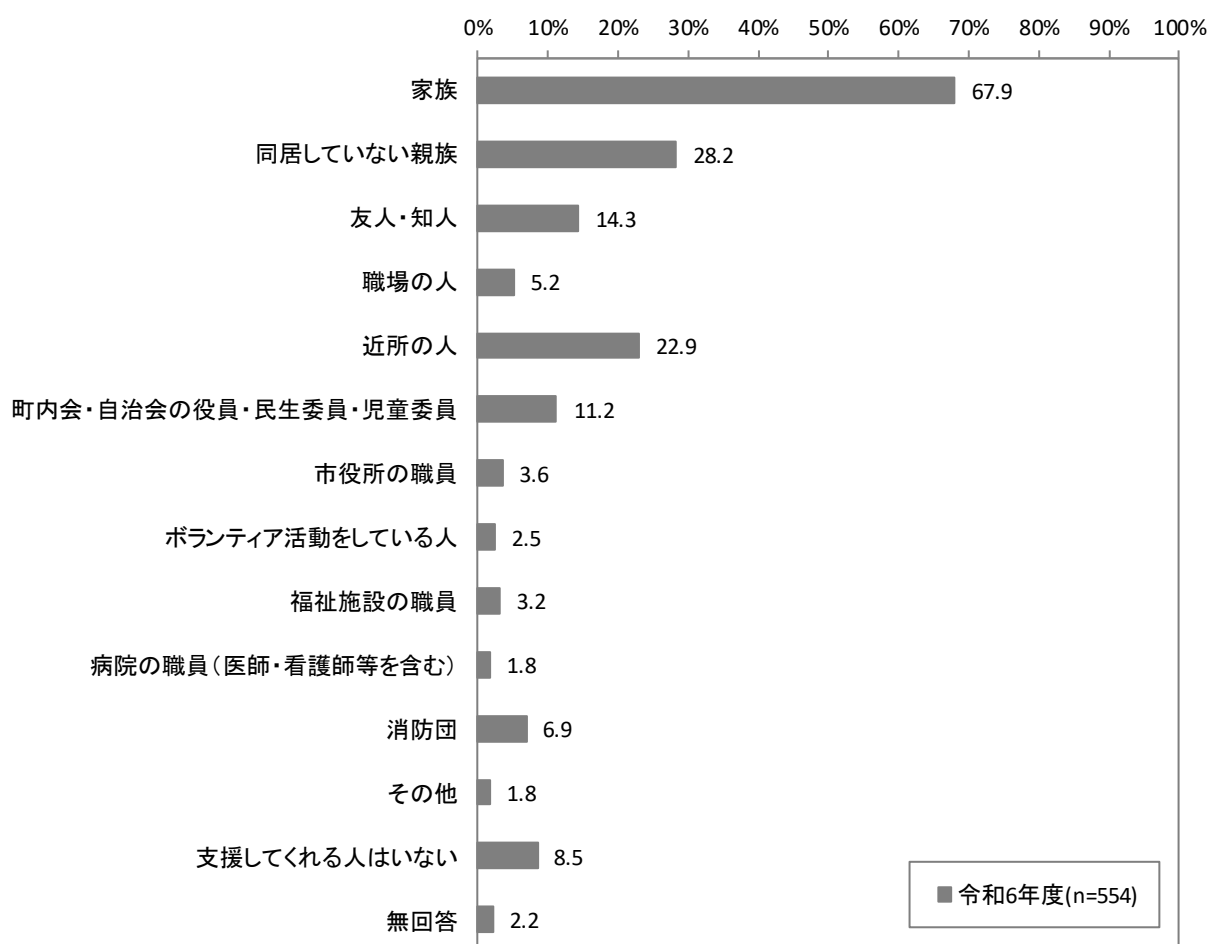


(3) 災害対策について

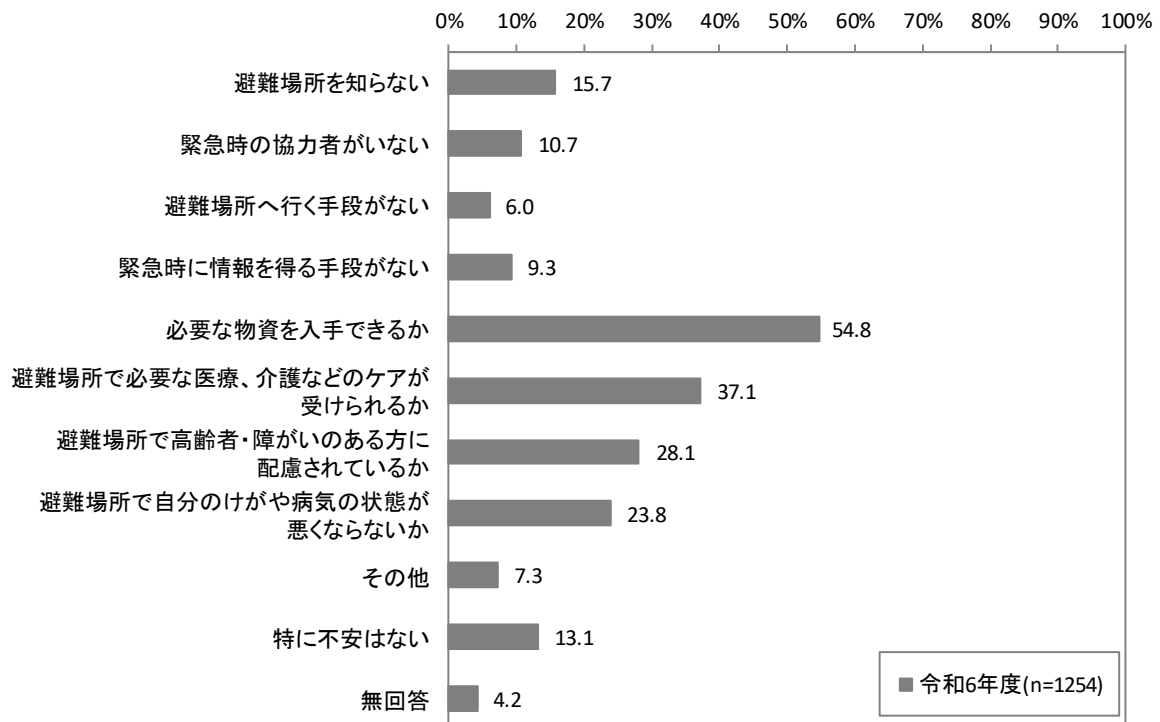
- ・災害などの緊急事態が発生した場合、自力で支障なく避難できると思うかについては、「避難できる」が53.5%、「避難できない」が11.6%、「わからない」が32.5%となっています。（P52）



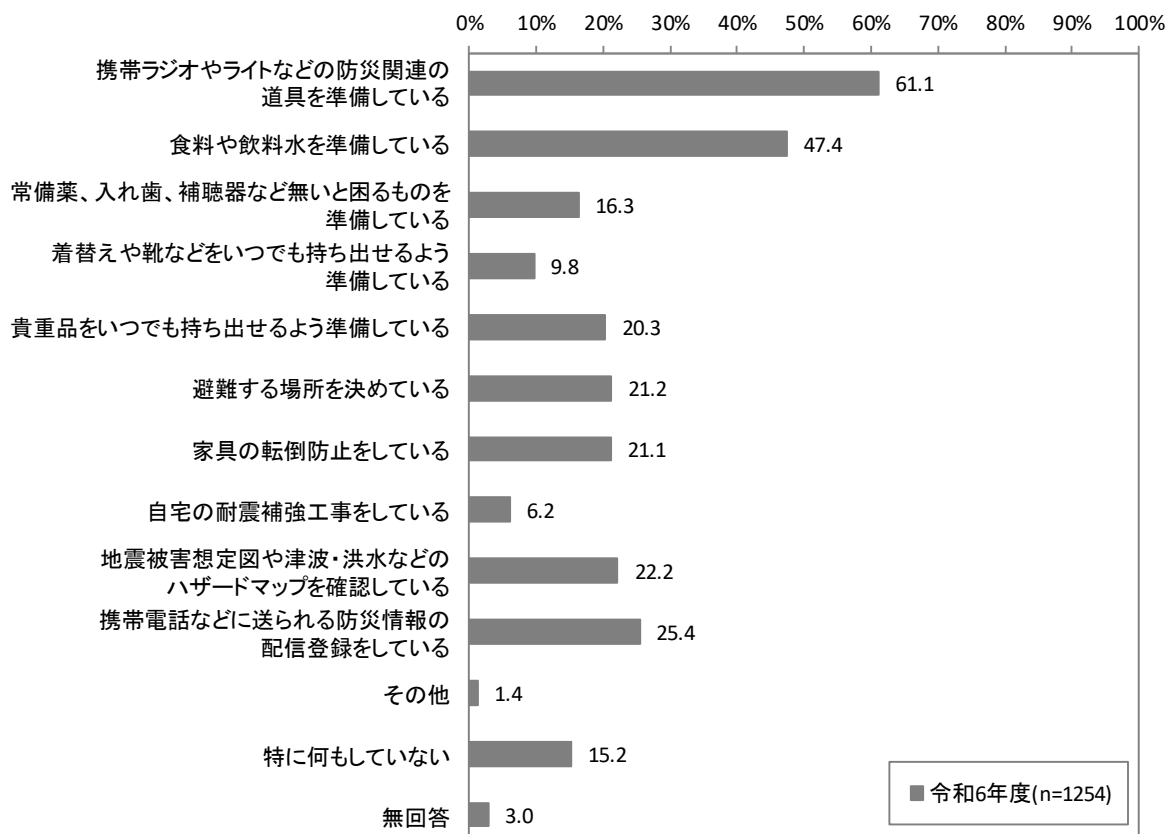
- ・自力で「避難できない」「わからない」と回答した方が、避難が必要なとき、支援してくれる方について、「家族」が67.9%で最も多く、次いで「同居していない親族」が28.2%となっています。（P53）



- ・災害時の避難や対応について不安に思うことは、「必要な物資を入手できるか」が54.8%で最も多く、次いで「避難場所に必要な医療、介護などのケアが受けられるか」が37.1%となっています。（P55）

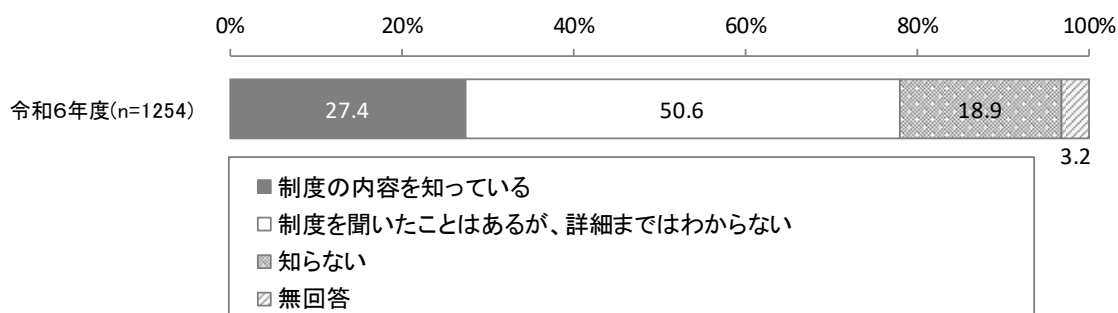


- ・災害時の備えとして、普段どのようなことをしているかについては、「携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している」が61.1%で最も多く、次いで「食料や飲料水を準備している」が47.4%となっています。（P57）

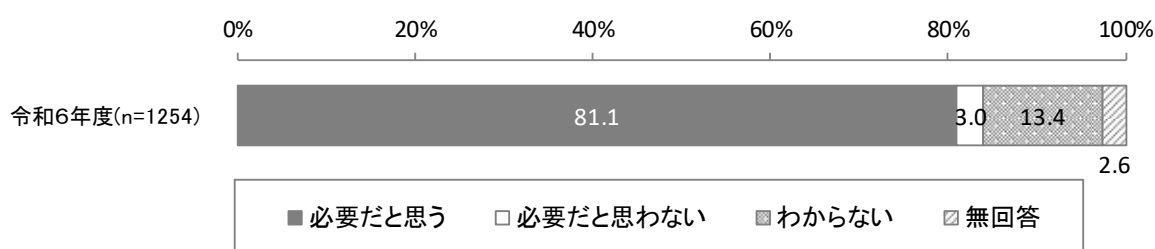


(4) 成年後見制度について

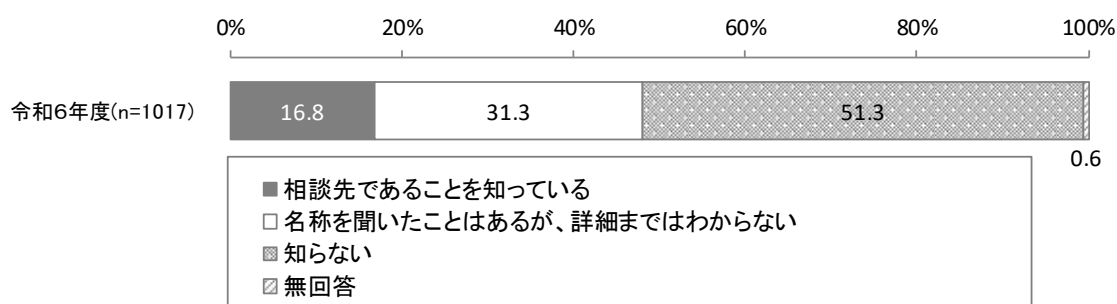
- ・「成年後見制度」の認知度については、「制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない」が50.6%と5割を超えており、「制度の内容を知っている」が27.4%、「知らない」が18.9%となっています。（P59）



- ・判断する能力が十分ではない方が、財産（不動産や預貯金など）の管理や、介護・福祉などサービスの利用手続きが難しい場合に、本人の権利を守る制度が必要だと思うかについては、「必要だと思う」が81.1%、「必要だと思わない」が3.0%、「わからない」が13.4%となっています。（P60）

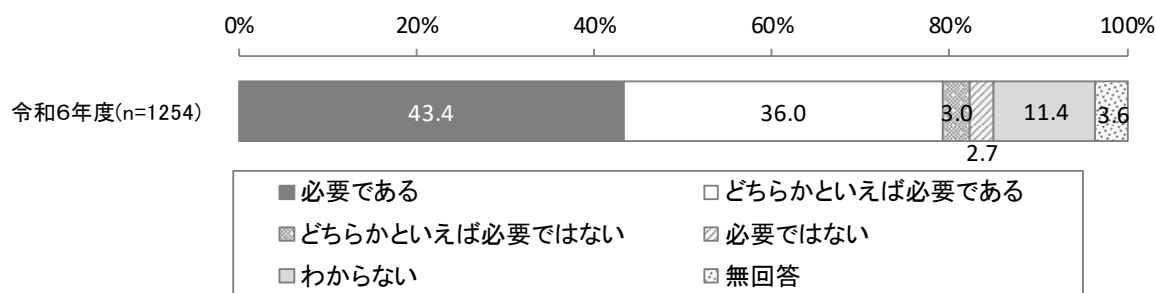


- ・「江別市成年後見支援センター」があることを知っているかについては、「相談先であることを知っている」が16.8%、「名称を聞いたことはあるが、詳細まではわからない」が31.3%、「知らない」が51.3%となっています。（P61）

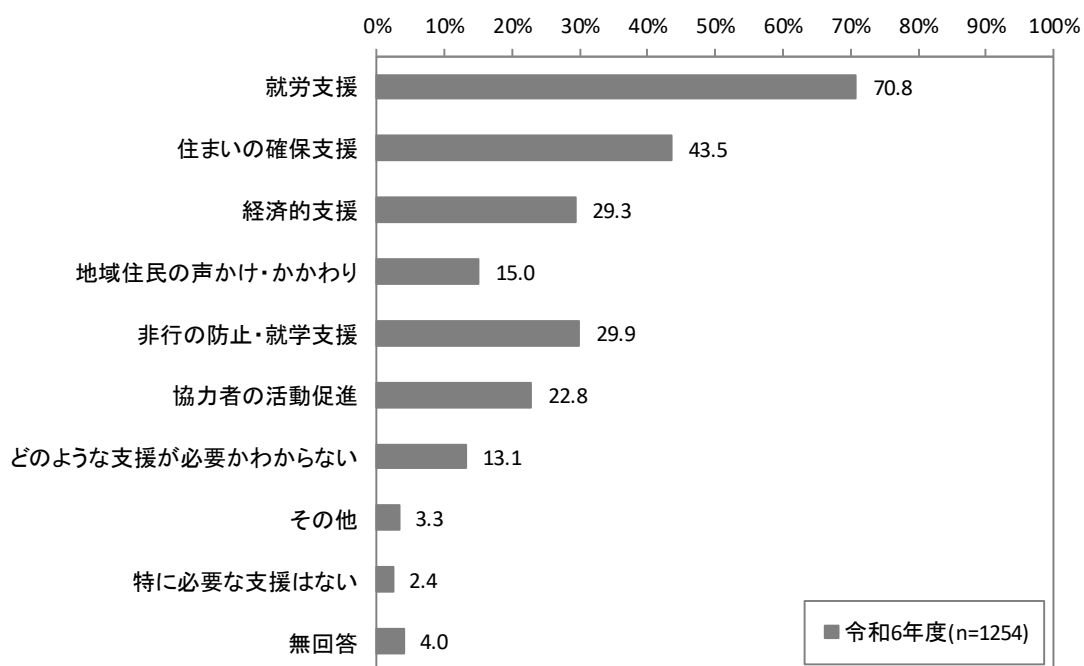


(5) 再犯防止について

- ・過去に罪を犯した人の立ち直り支援については、「必要である」が43.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」が36.0%となっており、「必要である」「どちらかといえば必要である」を合わせた「必要（合計）」は79.4%となっています。（P62）

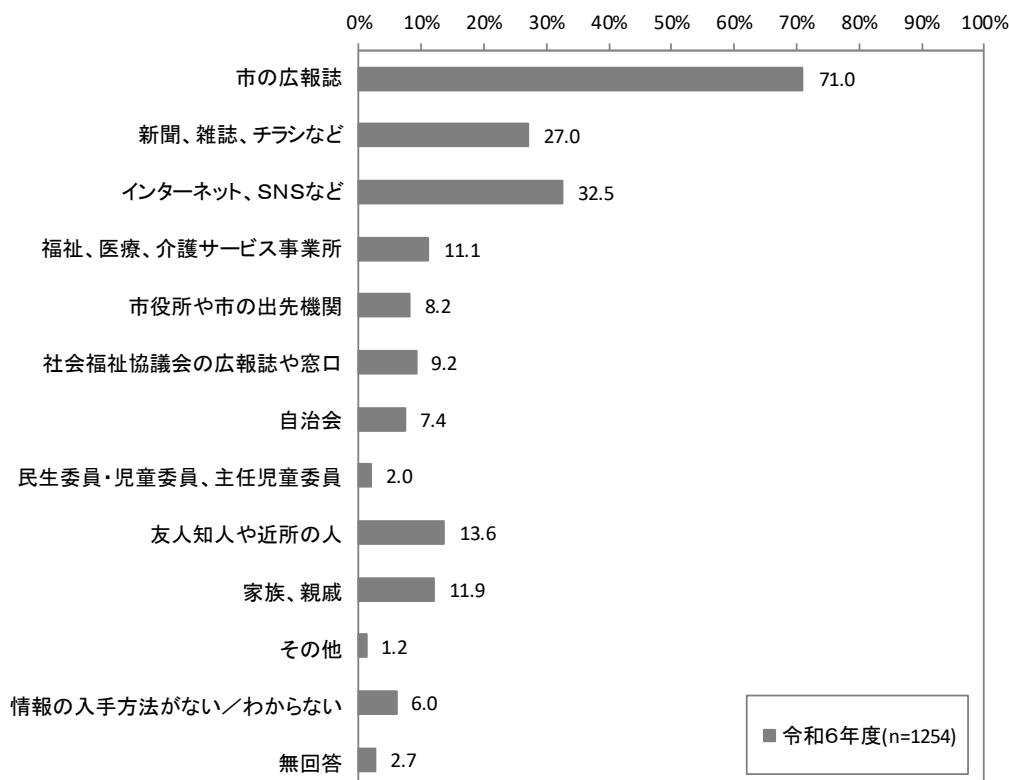


- ・罪を犯した人が更生して地域で生活する場合に必要な支援については、「就労支援」が70.8%で最も多く、次いで「住まいの確保支援」が43.5%となっています。（P63）

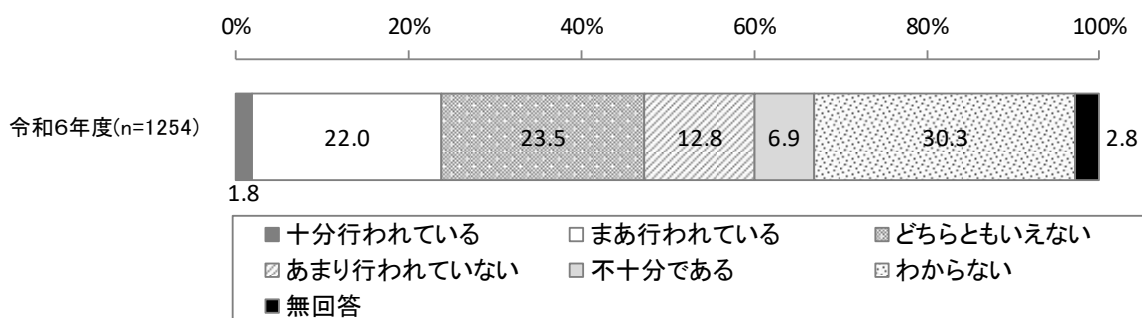


(6) 福祉行政について

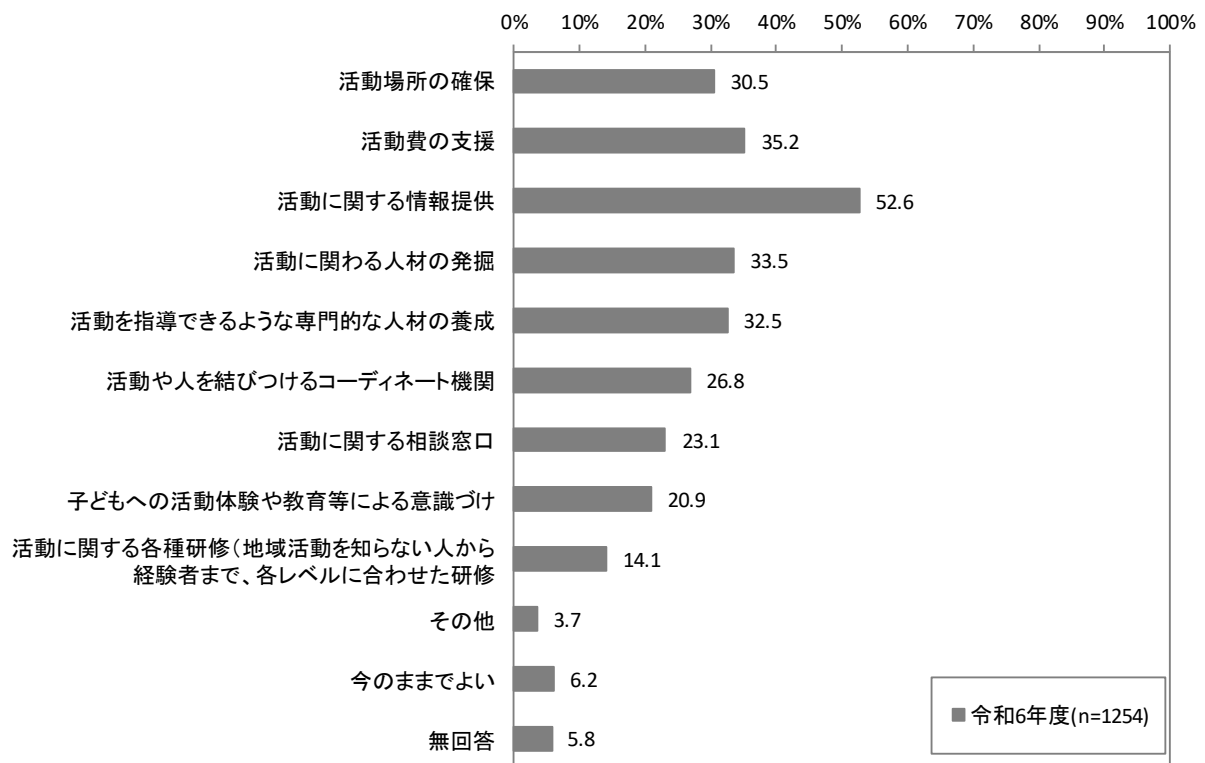
- ・福祉全般に係るサービスなどの情報をどのような方法で入手しているかについては、「市の広報誌」が71.0%で最も多く、次いで「インターネット、SNSなど」が32.5%となっています。(P64)



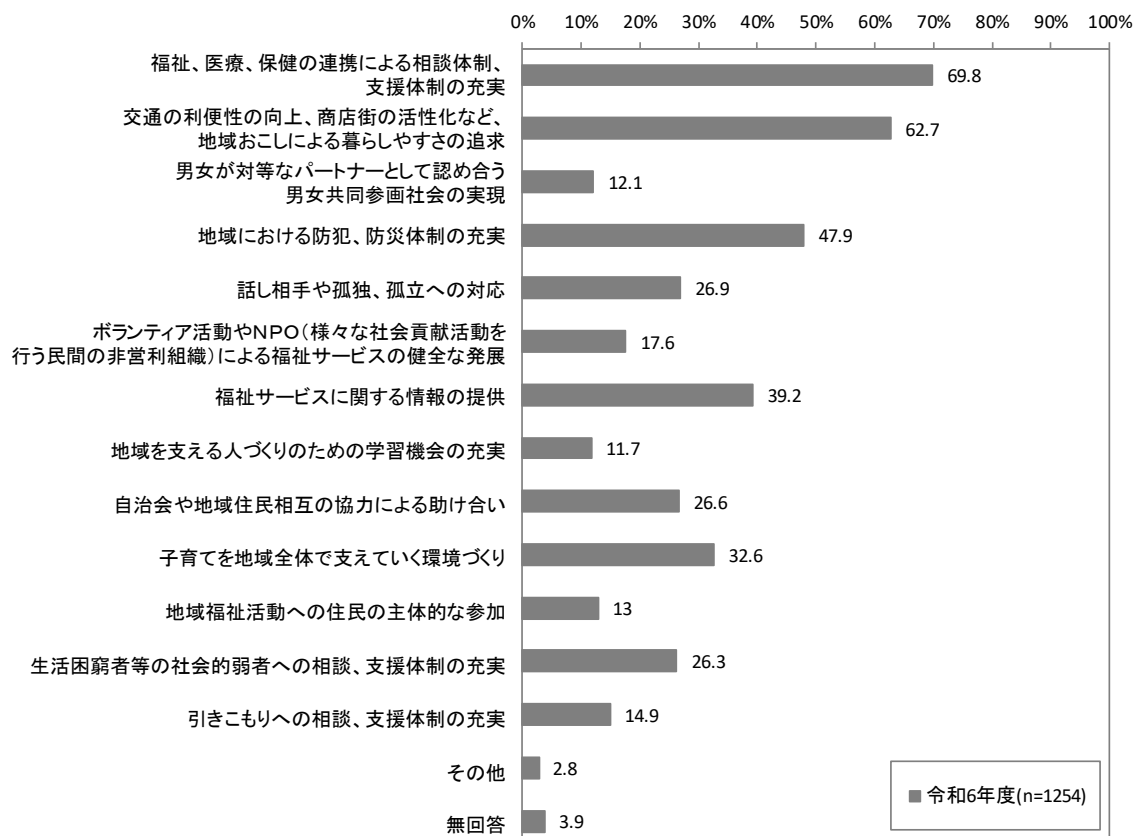
- ・まちぐるみの福祉活動に関する評価については、「わからない」が30.3%と最も多くなっています。「行われている」（「十分行われている」、「まあ行われている」の合計）の回答は2割強となっています。(P66)



- ・地域活動を活発にするために力を入れるべきと思うことについては、「活動に関する情報提供」が52.6%で最も多く、次いで「活動費の支援」が35.2%となっています。（P67）



- ・住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために大切なことについては、「福祉、医療、保健の連携による相談体制、支援体制の充実」が69.8%で最も多く、次いで「交通の利便性の向上、商店街の活性化など、地域おこしによる暮らしやすさの追求」が62.7%となっています。（P69）



市民アンケート調査の結果

2 調査結果

2.1 属性

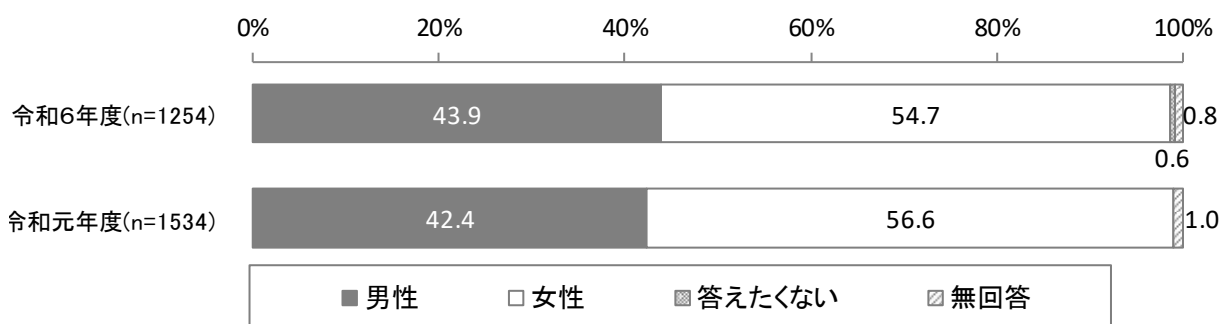
あなた自身について

問1 性別、年齢

あなたの性別、年齢をお答えください。（単数回答）

◇「男性」が43.9%、「女性」が54.7%

・回答者の性別の割合は「男性」が43.9%、「女性」が54.7%となっています。

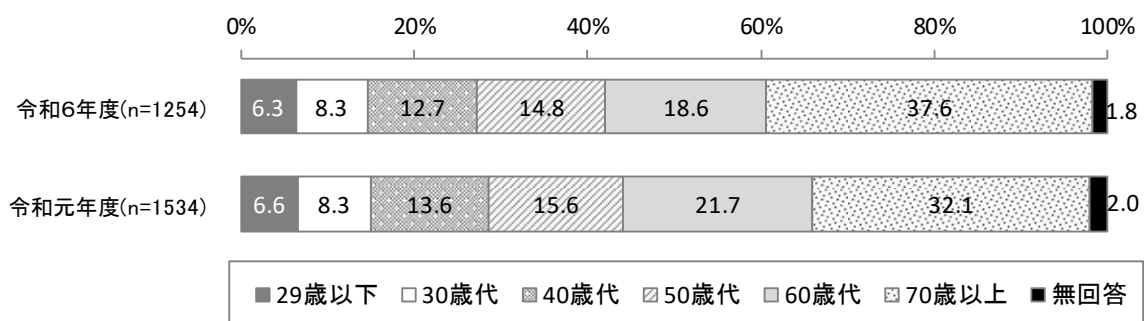


※前回の調査では「答えたくない」という選択肢がありません。

◇「70歳以上」が37.6%

・回答者の年代の割合は「70歳以上」が37.6%で最も多く、次いで「60歳代」が18.6%となっています。

・令和元年度調査と比較すると、「70歳以上」が5.5ポイント増加しています。

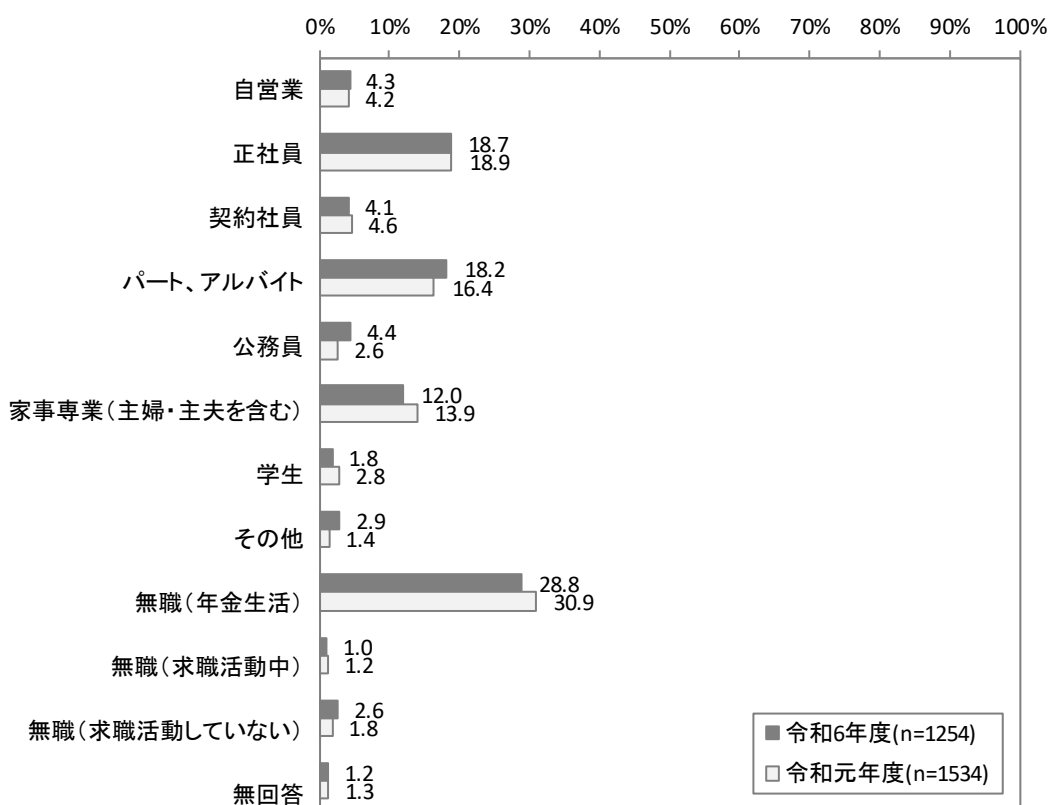


問2 就業状態、職業

あなたの就業状態、職業をお答えください。（単数回答）

◇「無職（年金生活）」が28.8%

- ・就業状態、職業については、「無職（年金生活）」が28.8%で最も多く、次いで「正社員」が18.7%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「パート、アルバイト」「公務員」がそれぞれ1.8ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男性では30～50歳代の「正社員」、女性では30～60歳代の「パート、アルバイト」の割合が全体と比べ高くなっています。



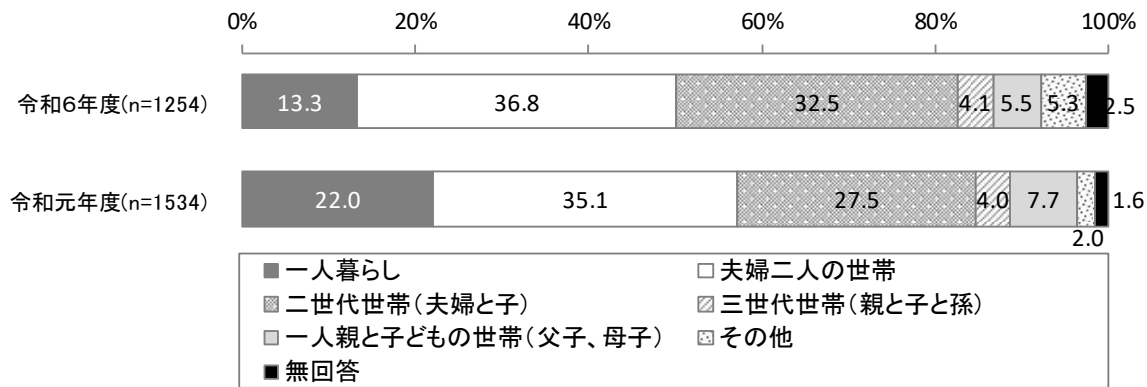
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
自営業	4.3	6.7	7.5	11.6	8.9	8.5	4.2	2.2	1.6	1.1	2.8	0.9	3.1
正社員	18.7	20.0	67.5	66.7	57.0	25.6	2.3	23.9	34.9	16.7	17.9	3.5	0.4
契約社員	4.1	3.3	2.5	0	3.8	12.0	4.7	2.2	12.7	4.4	1.9	3.5	0.4
パート、アルバイト	18.2	23.3	5.0	1.4	1.3	12.8	8.9	21.7	28.6	48.9	51.9	37.4	3.9
公務員	4.4	6.7	12.5	11.6	21.5	3.4	0	4.3	6.3	8.9	1.9	1.7	0.4
家事専業(主婦・主夫を含む)	12.0	0	0	0	0	0	0	6.5	12.7	14.4	14.2	28.7	30.5
学生	1.8	23.3	0	0	0	0	0	30.4	0	0	0	0	0
その他	2.9	6.7	0	2.9	2.5	6.0	3.7	0	0	2.2	3.8	3.5	0.4
無職(年金生活)	28.8	0	2.5	0	0	28.2	71.5	0	0	2.2	1.9	18.3	54.7
無職(求職活動中)	1.0	3.3	0	2.9	1.3	0	0	4.3	1.6	1.1	1.9	1.7	0
無職(求職活動していない)	2.6	6.7	2.5	1.4	2.5	3.4	3.7	4.3	1.6	0	1.9	0.9	3.1
無回答	1.2	0	0	1.4	1.3	0	0.9	0	0	0	0	0	3.1

問3 家族構成

あなたが一緒に暮らしているご家族（世帯）の構成についてお答えください。
（単数回答）

◇「夫婦二人の世帯」が 36.8%

- ・家族構成については「夫婦二人の世帯」が 36.8%で最も多く、次いで「二世帯世帯（夫婦と子）」が 32.5%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「一人暮らし」が 8.7 ポイント減少、一方で「二世帯世帯（夫婦と子）」が 5 ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男女ともに 20～50 歳代は「二世帯世帯（夫婦と子）」の割合が全体と比べ高くなっており、女性では 70 歳以上で「一人暮らし」の割合が全体と比べた高くなっています。男性では 60 歳以上で「夫婦二人の世帯」の割合が全体と比べ高くなっています。



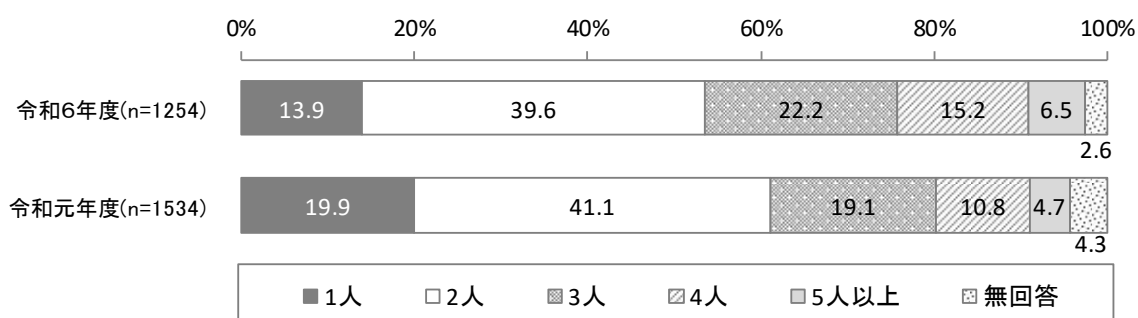
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
一人暮らし	13.3	20.0	7.5	8.7	5.1	10.3	12.6	13.0	6.3	4.4	9.4	13.0	25.4
夫婦二人の世帯	36.8	3.3	17.5	18.8	31.6	53.8	59.3	8.7	3.2	10.0	28.3	50.4	44.9
二世帯世帯(夫婦と子)	32.5	46.7	55.0	63.8	44.3	25.6	18.7	58.7	68.3	64.4	36.8	20.9	8.6
三世帯世帯(親と子と孫)	4.1	10.0	5.0	4.3	5.1	4.3	1.4	4.3	6.3	3.3	3.8	6.1	4.3
一人親と子どもの世帯(父子、母子)	5.5	10.0	10.0	1.4	8.9	1.7	2.8	10.9	7.9	10.0	10.4	0	5.5
その他	5.3	10.0	0	2.9	3.8	3.4	3.3	4.3	4.8	5.6	5.7	7.8	8.2
無回答	2.5	0	5.0	0	1.3	0.9	1.9	0	3.2	2.2	5.7	1.7	3.1

問4 世帯人数

あなたの世帯人数をご記入ください。（単数回答）

◇世帯人数は「2人」が39.6%

- ・世帯の人数については、「2人」が39.6%で最も多く、次いで「3人」が22.2%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「4人」が4.4ポイント増加してる一方、「1人」が6.0ポイント減少しています。
- ・男女年齢別にみると、男性は50歳代以下、女性は40歳代以下で「4人」、60歳代では男女ともに「2人」の割合が全体と比べ高くなっており、女性では70歳以上で「1人」の割合が全体と比べ高く、25.4%となっています。



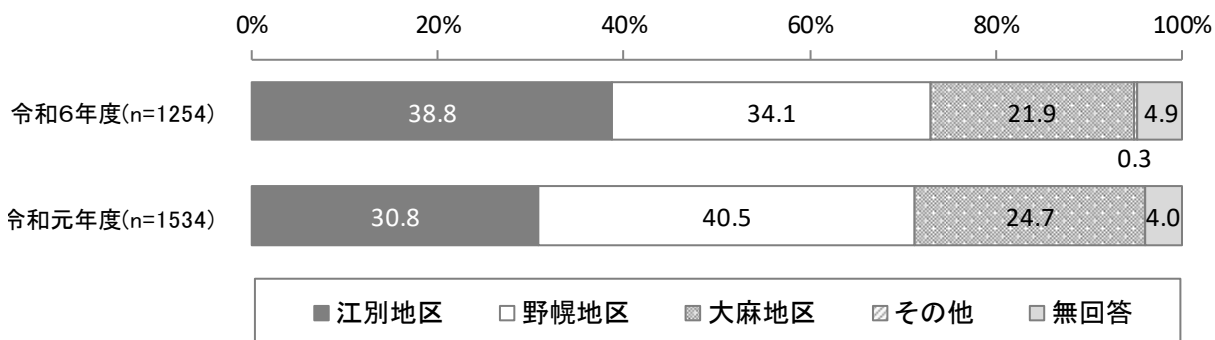
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
1人	13.9	16.7	7.5	8.7	5.1	10.3	13.6	15.2	6.3	4.4	13.2	14.8	25.4
2人	39.6	13.3	20.0	11.6	39.2	52.1	59.8	13.0	11.1	15.6	34.9	52.2	48.8
3人	22.2	30.0	30.0	26.1	19.0	23.1	16.8	37.0	39.7	30.0	32.1	23.5	10.2
4人	15.2	30.0	30.0	34.8	26.6	11.1	4.2	26.1	30.2	40.0	15.1	3.5	4.7
5人以上	6.5	10.0	12.5	18.8	10.1	3.4	3.7	8.7	12.7	10.0	2.8	4.3	4.3
無回答	2.6	0	0	0	0	0	1.9	0	0	0	1.9	1.7	6.6

問5 居住地区

あなたのお住まいの住所をご記入ください。（単数回答）

◇「江別地区」が 38.8%

- ・居住地区については、「江別地区」が 38.8%、「野幌地区」が 34.1%、「大麻地区」が 21.9%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「江別地区」が 8.0 ポイント増加している一方、「野幌地区」が 6.4 ポイント減少しています。



※前回の調査では「その他」という選択肢がありません。

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
江別地区	38.8	33.3	35.0	44.9	38.0	35.9	34.1	47.8	44.4	31.1	41.5	45.2	39.1
野幌地区	34.1	43.3	42.5	29.0	35.4	34.2	35.0	30.4	30.2	41.1	34.9	35.7	30.9
大麻地区	21.9	20.0	20.0	23.2	24.1	20.5	23.8	19.6	19.0	22.2	18.9	17.4	25.0
その他	0.3	0	0	0	0	0.9	0	2.2	1.6	1.1	0	0	0
無回答	4.9	3.3	2.5	2.9	2.5	8.5	7.0	0	4.8	4.4	4.7	1.7	5.1

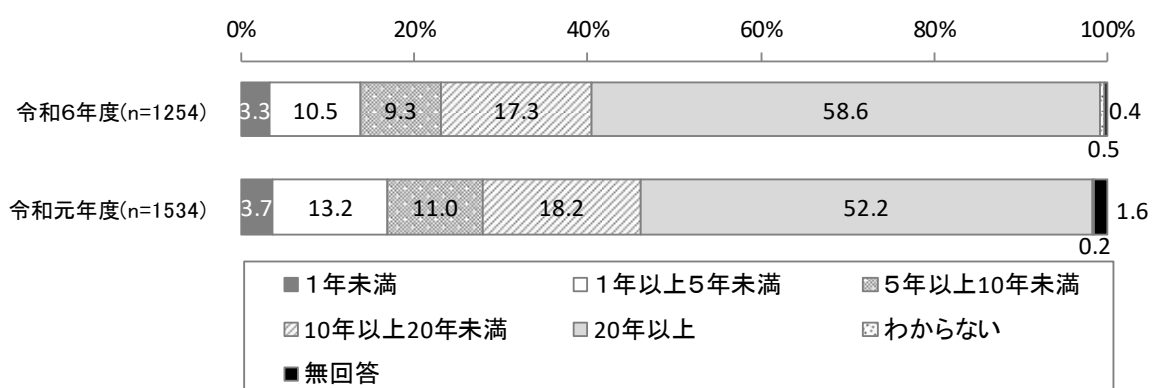
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世帯世帯(夫婦と子)	三世帯世帯(親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
江別地区	38.8	33.5	36.0	42.8	46.2	33.3	49.3
野幌地区	34.1	32.9	34.3	32.2	36.5	43.5	35.8
大麻地区	21.9	29.9	23.9	19.9	15.4	20.3	7.5
その他	0.3	0.6	0	0.5	0	0	1.5
無回答	4.9	3.0	5.9	4.7	1.9	2.9	6.0

問6 居住年数

問5で記載された住所での居住年数をお答えください。（単数回答）

◇居住年数は「20年以上」が58.6%

- ・居住年数については、「20年以上」が58.6%で最も多く、次いで「10年以上」が17.3%となっており、10年以上が7割を超えています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「20年以上」が6.4ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、年代が高いほど居住年数が長く、60歳以上では「20年以上」の割合が全体の7割を超えています。



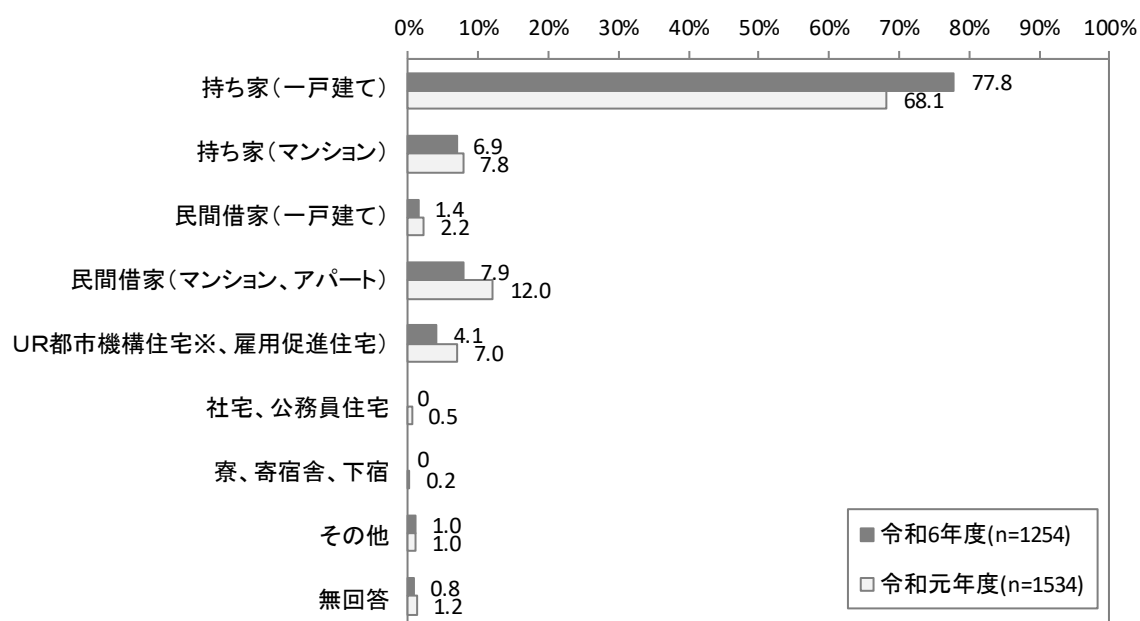
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
1年未満	3.3	6.7	12.5	0	0	0.9	0.5	10.9	7.9	6.7	6.6	1.7	2.7
1年以上5年未満	10.5	23.3	22.5	15.9	12.7	5.1	3.3	19.6	42.9	12.2	7.5	9.6	4.7
5年以上10年未満	9.3	13.3	40.0	17.4	7.6	5.1	4.2	6.5	11.1	30.0	12.3	2.6	3.5
10年以上20年未満	17.3	16.7	15.0	49.3	30.4	6.8	9.8	23.9	11.1	31.1	28.3	10.4	9.8
20年以上	58.6	40.0	10.0	17.4	49.4	82.1	82.2	37.0	27.0	20.0	45.3	74.8	77.3
わからない	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0
無回答	0.4	0	0	0	0	0	0	2.2	0	0	0	0.9	0

問7 住まい

あなた（あなたのご家族）のお住まいについてお答えください。（単数回答）

◇「持ち家（一戸建て）」が77.8%

- ・住まいについては、「持ち家（一戸建て）」が77.8%で最も多くなっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「民間借家（マンション、アパート）」が4.1ポイント減少している一方で、「持ち家（一戸建て）」が9.7ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男女ともに29歳以下で「民間借家（マンション、アパート）」が全体と比べ高くなっており、男性は23.3%、女性は21.7%となっています。



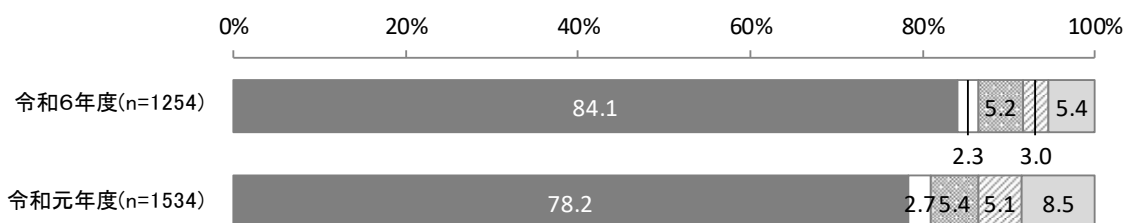
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
持ち家(一戸建て)	77.8	63.3	75.0	84.1	82.3	79.5	83.2	63.0	84.1	75.6	69.8	81.7	77.0
持ち家(マンション)	6.9	3.3	7.5	5.8	7.6	10.3	6.1	6.5	1.6	2.2	10.4	6.1	8.6
民間借家(一戸建て)	1.4	0	0	0	3.8	2.6	0.9	2.2	3.2	2.2	0	0.9	1.2
民間借家(マンション、アパート)	7.9	23.3	17.5	8.7	5.1	4.3	3.3	21.7	9.5	14.4	11.3	5.2	4.7
公営住宅など (市営、道営、UR都市機構住宅、 雇用促進住宅)	4.1	6.7	0	0	1.3	2.6	5.1	2.2	1.6	3.3	6.6	6.1	5.9
社宅、公務員住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寮、寄宿舎、下宿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1.0	3.3	0	1.4	0	0.9	0.5	4.3	0	0	0.9	0	2.3
無回答	0.8	0	0	0	0	0	0.9	0	0	2.2	0.9	0	0.4

問8 世帯の家計の状況

世帯の家計状況についてお答えください。（単数回答）

◇家計状況は「現在の収入で生活することはできている」が84.1%

- ・世帯の家計の状況については、「現在の収入で生活することはできている」が84.1%となっています。
- ・男女年齢別にみると、「現在の収入で生活することはできている」では、男性の29歳以下の割合が全体と比べ低くなっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「現在の収入で生活することはできている」が5.9ポイント増加しています。
- ・家族構成別にみると、“夫婦二人の世帯”では「現在の収入で生活することはできている」の割合が全体と比べ高くなっています。“三世帯世帯（親と子と孫）及び”一人親と子どもの世帯（父子、母子）”では「現在の収入で生活することは困難なので、相談・支援制度があれば相談したい」の割合が全体と比べ高くなっています。



- 現在の収入で生活することはできている
- 現在の収入で生活することは困難であるため、相談・支援等を利用している
- ▨ 現在の収入で生活することは困難なので、相談・支援制度があれば利用したい
- ▩ 現在の収入で生活することは困難だが、相談・支援制度は利用したくない
- 無回答

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
現在の収入で生活することはできている	84.1	73.3	85.0	85.5	87.3	92.3	88.8	84.8	88.9	74.4	84.0	93.0	77.0
現在の収入で生活することは困難であるため、相談・支援等を利用している	2.3	10.0	0	1.4	2.5	0.9	0.5	8.7	1.6	6.7	1.9	0.9	2.3
現在の収入で生活することは困難なので、相談・支援制度があれば相談したい	5.2	3.3	10.0	4.3	5.1	5.1	4.2	4.3	4.8	7.8	2.8	2.6	6.3
現在の収入で生活することは困難だが、相談・支援制度は利用したくない	3.0	6.7	2.5	4.3	3.8	0	3.7	0	3.2	1.1	1.9	0	5.9
無回答	5.4	6.7	2.5	4.3	1.3	1.7	2.8	2.2	1.6	10.0	9.4	3.5	8.6

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世帯世帯(夫婦と子)	三世帯世帯(親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
現在の収入で生活することはできている	84.1	76.6	90.0	87.5	78.8	76.8	67.2
現在の収入で生活することは困難であるため、相談・支援等を利用している	2.3	6.0	1.1	1.7	3.8	4.3	1.5
現在の収入で生活することは困難なので、相談・支援制度があれば相談したい	5.2	6.6	3.3	3.9	9.6	10.1	11.9
現在の収入で生活することは困難だが、相談・支援制度は利用したくない	3.0	4.8	1.7	2.2	5.8	7.2	4.5
無回答	5.4	6.0	3.9	4.7	1.9	1.4	14.9

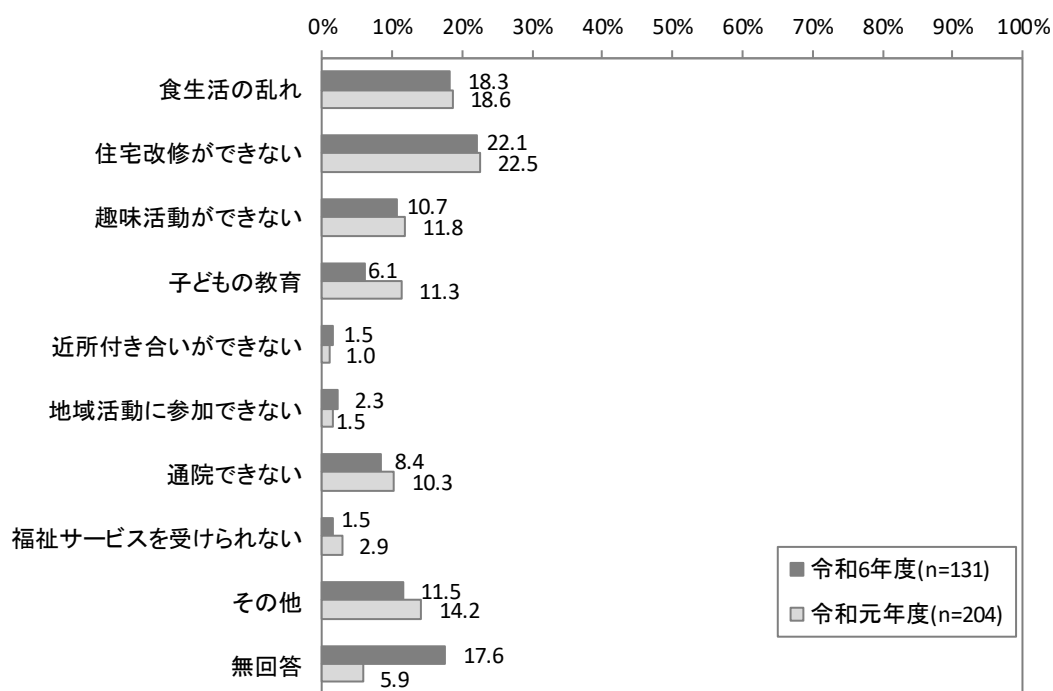
問9 収入が少ないことによる影響

問8で、「2～4（現在の収入で生活することは困難）」を選んだ方

収入が少ないことで、最も悪い影響を及ぼしていることは何ですか。（単数回答）

◇収入が少ないことにより「住宅改修ができない」が22.1%

- ・収入が少ないことによる影響について、「住宅改修ができない」が22.1%で最も多く、次いで「食生活の乱れ」が18.3%となっています。



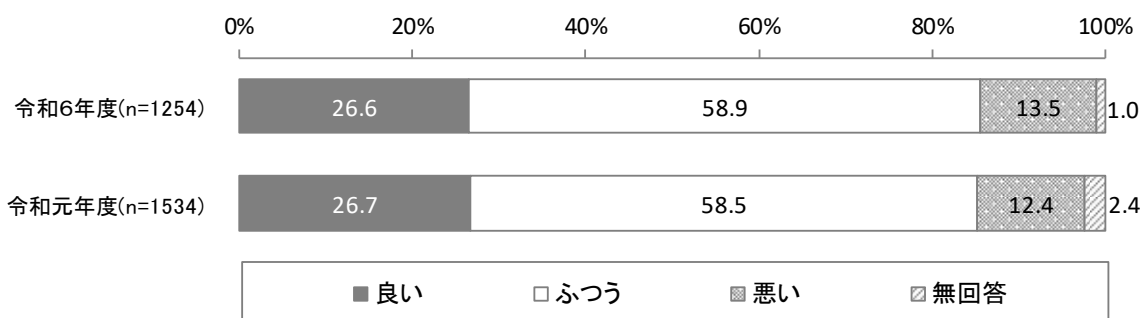
※前回の調査とは表現が異なる選択肢があります。

問 10 健康状態

現在の健康状態はいかがですか。（単数回答）

◇健康状態は「ふつう」が 58.9%

- ・健康状態については、「ふつう」が 58.9%で最も多くなっています。
- ・男女年齢別にみると、「良い」の割合が男女共に 40 歳代以下では全体に比べ高くなっている一方で、70 歳以上では低くなっています。



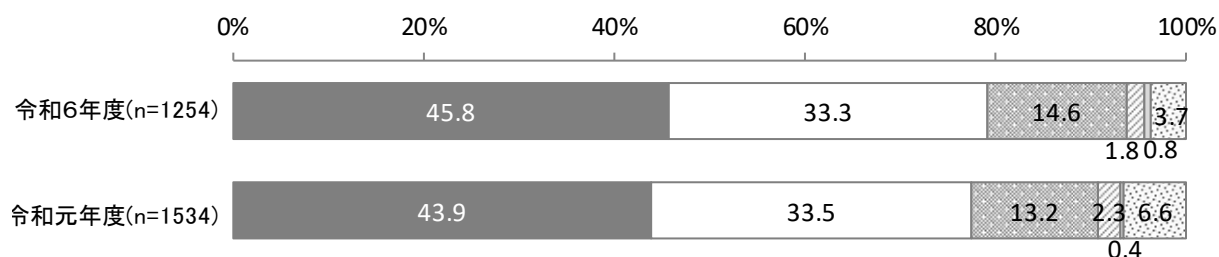
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
良い	26.6	46.7	42.5	52.2	35.4	24.8	14.0	52.2	49.2	38.9	27.4	25.2	11.7
ふつう	58.9	36.7	50.0	39.1	55.7	59.0	70.6	45.7	47.6	52.2	65.1	61.7	64.1
悪い	13.5	16.7	7.5	8.7	8.9	15.4	15.0	2.2	3.2	8.9	6.6	11.3	22.7
無回答	1.0	0	0	0	0	0.9	0.5	0	0	0	0.9	1.7	1.6

問 11 普段の外出の頻度

普段の外出の状況についてお答えください。（単数回答）

◇「仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する」が 45.8%

- ・ 普段の外出の頻度については、「仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する」が 45.8%で最も多く、次いで「普段は家にいるが、仕事や学校以外の用事で頻繁にまたは時々外出し、家族以外の人と会話することがある」が 33.3%となっています。
- ・ 男女年齢別にみると、男女ともに 50 歳代以下では、「仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する」の割合が全体と比べ高くなっており、70 歳以上の男性、60 歳以上の女性は低くなっています。



- 仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する
- 普段は家にいるが、仕事や学校以外の用事で頻繁にまたは時々外出し、家族以外の人と会話することがある
- 普段は家において、外出することもあるが、家族以外の人と会話することがほとんどない
- 自室からは出るが、家からはほとんど出ない
- 自室からほとんど出ない
- 無回答

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する	45.8	73.3	87.5	85.5	89.9	54.7	17.8	73.9	73.0	72.2	69.8	34.8	5.5
普段は家にいるが、仕事や学校以外の用事で頻繁にまたは時々外出し、家族以外の人と会話することがある	33.3	10.0	2.5	8.7	2.5	27.4	53.7	19.6	15.9	17.8	17.9	51.3	55.1
普段は家において、外出することもあるが、家族以外の人と会話することがほとんどない	14.6	6.7	2.5	2.9	6.3	13.7	25.2	4.3	9.5	4.4	7.5	12.2	23.8
自室からは出るが、家からはほとんど出ない	1.8	3.3	5.0	0	0	3.4	1.4	0	0	0	0.9	0.9	3.5
自室からほとんど出ない	0.8	0	0	0	0	0	0.9	0	0	0	0	0	3.1
無回答	3.7	6.7	2.5	2.9	1.3	0.9	0.9	2.2	1.6	5.6	3.8	0.9	9.0

・同居家族別にみると、「二世代世帯（夫婦と子）」「三世代世帯（親と子と孫）」「一人親と子どもの世帯（父子、母子）」では「仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する」の割合が全体と比べ高くなっている一方で、「一人暮らし」「夫婦二人の世帯」は、低くなっています。

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世代世帯 (夫婦と子)	三世代世帯 (親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する	45.8	35.3	34.3	60.7	55.8	59.4	44.8
普段は家にいるが、仕事や学校以外の用事で頻繁にまたは時々外出し、家族以外の人と会話することがある	33.3	35.3	43.2	24.8	26.9	26.1	28.4
普段は家にいて、外出することもあるが、家族以外の人と会話することがほとんどない	14.6	16.8	17.6	11.1	9.6	14.5	14.9
自室からは出るが、家からはほとんど出ない	1.8	5.4	0.9	1.0	3.8	0	1.5
自室からほとんど出ない	0.8	1.2	0.7	0	1.9	0	4.5
無回答	3.7	6.0	3.5	2.5	1.9	0	6.0

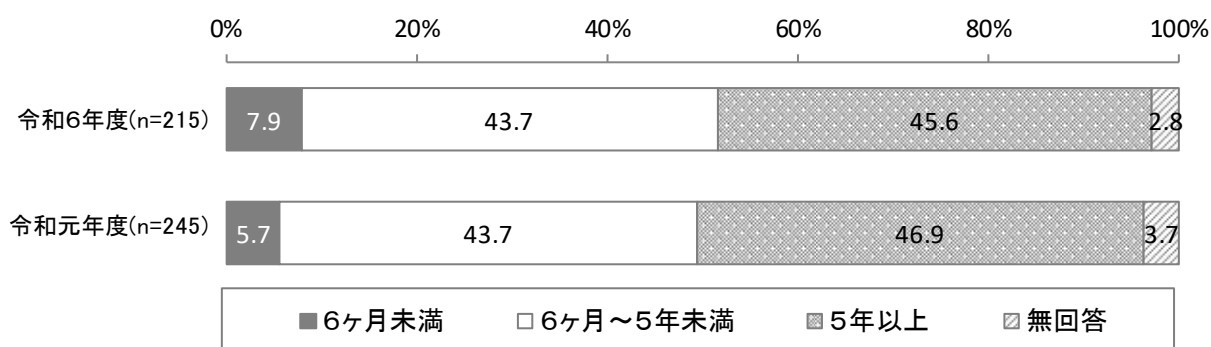
問12 外出頻度が低い状況の継続期間

問11で、「3～5」を選んだ方

普段の外出の状況についてお答えください。（単数回答）

◇「5年以上」が45.6%

- ・外出頻度が低い状況と回答した方の継続期間については、「5年以上」が45.6%と最も多く、次いで「6ヶ月～5年未満」が43.7%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「6ヶ月未満」が2.2ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、70歳以上の男性の「5年以上」の割合が55.9%で全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	215	3	3	2	5	20	59	2	6	4	9	15	78
6ヶ月未満	7.9	33.3	33.3	50.0	0	10.0	3.4	0	16.7	0	22.2	0	9.0
6ヶ月～5年未満	43.7	66.7	0	50.0	20.0	55.0	37.3	50.0	66.7	25.0	22.2	73.3	41.0
5年以上	45.6	0	66.7	0	80.0	35.0	55.9	50.0	16.7	75.0	55.6	26.7	46.2
無回答	2.8	0	0	0	0	0	3.4	0	0	0	0	0	3.8

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世世代世帯(夫婦と子)	三世世代世帯(親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	215	39	88	49	8	10	14
6ヶ月未満	7.9	5.1	2.3	14.3	37.5	10.0	7.1
6ヶ月～5年未満	43.7	46.2	48.9	38.8	25.0	40.0	57.1
5年以上	45.6	46.2	44.3	46.9	37.5	50.0	35.7
無回答	2.8	2.6	4.5	0	0	0	0

・”6ヶ月以上外出頻度が低い人”を全体と比較してみると、就業状態では「無職（年金生活）」の割合が60.9%で全体と比べ高くなっています。

※”6ヶ月以上外出頻度が低い人“は、問11で「普段は家にて、外出することもあるが、家族以外の人と会話することがほとんどない」または「自室からは出るが、家からはほとんど出ない」もしくは「自室からはほとんど出ない」と回答した人の中で、問12の現在の状況が「6ヶ月以上」経過していると回答した人を意味しています。

回答者数(人):実数 以下割合(%)		全体	6ヶ月以上外出頻度が低い人/年齢					
			6ヶ月以上 外出頻度が低い人 /全体	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
回答者数(人)		1254	192	4	7	5	12	157
性別	男性	43.9	43.2	50.0	28.6	20.0	41.7	46.5
	女性	54.7	54.7	50.0	71.4	80.0	58.3	52.9
	答えたくない	0.6	1.0	0	0	0	0	0
	無回答	0.8	1.0	0	0	0	0	0.6
就業 状態、 職業	自営業	4.3	2.1	0	0	0	16.7	1.3
	正社員	18.7	1.0	25.0	14.3	0	0	0
	契約社員	4.1	0.5	0	0	0	0	0.6
	パート、アルバイト	18.2	2.6	0	14.3	0	0	2.5
	公務員	4.4	0.5	0	14.3	0	0	0
	家事専業(主婦・主夫を含む)	12.0	16.1	25.0	28.6	40.0	41.7	12.7
	学生	1.8	0	0	0	0	0	0
	その他	2.9	4.2	0	0	20.0	0	3.8
	無職(年金生活)	28.8	60.9	0	0	20.0	8.3	70.1
	無職(求職活動中)	1.0	1.6	0	14.3	0	8.3	0.6
	無職(求職活動していない)	2.6	9.9	50.0	14.3	20.0	25.0	7.6
	無回答	1.2	0.5	0	0	0	0	0.6
家族 構成	一人暮らし	13.3	18.8	0	0	0	8.3	21.7
	夫婦二人の世帯	36.8	42.7	0	0	20.0	16.7	47.1
	二世帯世帯(夫婦と子)	32.5	21.9	100.0	57.1	60.0	50.0	15.3
	三世帯世帯(親と子と孫)	4.1	2.6	0	0	0	8.3	2.5
	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	5.5	4.7	0	28.6	0	8.3	3.8
	その他	5.3	6.8	0	14.3	0	0	7.6
	無回答	2.5	2.6	0	0.0	20.0	8.3	1.9
地 居 区 住	江別地区	38.8	42.7	75.0	42.9	60.0	41.7	42.0
	野幌地区	34.1	28.1	0	28.6	20.0	33.3	28.0
	大麻地区	21.9	25.5	0	14.3	20.0	25.0	26.8
	その他	0.3	0	0	0	0	0	0
	無回答	4.9	3.6	25.0	14.3	0	0	3.2
居 住 年 数	1年未満	3.3	4.2	25.0	14.3	0	8.3	3.2
	1年以上5年未満	10.5	12.0	25.0	57.1	20.0	0	8.9
	5年以上10年未満	9.3	3.6	0	14.3	0	16.7	2.5
	10年以上20年未満	17.3	11.5	0	0	20.0	25.0	11.5
	20年以上	58.6	67.2	50.0	14.3	60.0	50.0	72.0
	わからない	0.5	1.6	0	0	0	0	1.9
	無回答	0.4	0	0	0	0	0	0.0
住 ま い	持ち家(一戸建て)	77.8	72.9	75.0	71.4	100.0	75.0	72.6
	持ち家(マンション)	6.9	5.2	0	0	0	8.3	5.1
	民間借家(一戸建て)	1.4	1.6	0	0	0	0	1.9
	民間借家(マンション、アパート)	7.9	9.4	25.0	28.6	0	16.7	7.6
	公営住宅など	4.1	8.3	0	0	0	0	9.6
	社宅、公務員住宅	0	0	0	0	0	0	0
	寮、寄宿舎、下宿	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1.0	2.6	0	0	0	0	3.2
	無回答	0.8	0	0	0	0	0	0

※6ヶ月以上外出頻度が低い人/全体のみ、全体との差を比較しています。

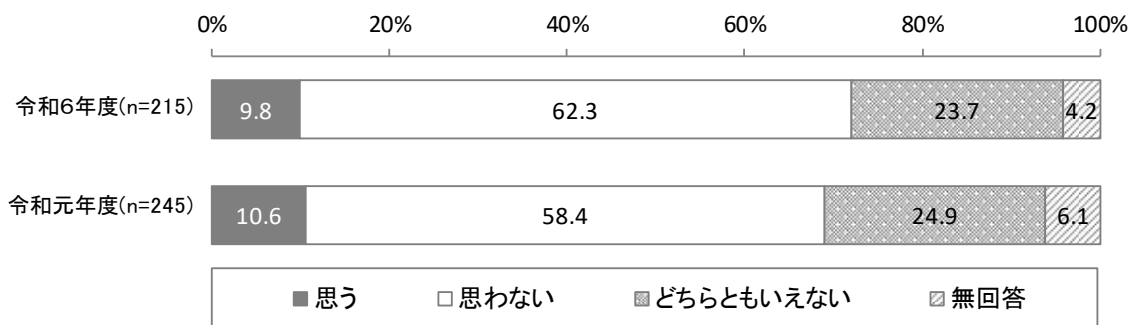
問 13 外出頻度が低い状況の相談意向

問 11 で、「3～5」を選んだ方

現在の状態について関係機関に相談したいと思いますか。（単数回答）

◇相談したいと「思わない」が 62.3%

- ・ 外出頻度が低い状況の相談意向について、「ほとんど外出しない」と回答した方が現在の状況について関係機関に相談したいと思うかの回答は、「思わない」が 62.3%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 23.7%となっています。
- ・ 令和元年度調査と比較すると、「思わない」が 3.9 ポイント増加しています。
- ・ 男女年齢別にみると、70 歳以上の男性の「思わない」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	215	3	3	2	5	20	59	2	6	4	9	15	78
思う	9.8	33.3	0	0	0	0	5.1	0	16.7	25.0	0	0	15.4
思わない	62.3	33.3	0	100.0	80.0	70.0	72.9	50.0	83.3	25.0	77.8	86.7	51.3
どちらともいえない	23.7	33.3	100.0	0	20.0	20.0	18.6	50.0	0	50.0	22.2	6.7	28.2
無回答	4.2	0	0	0	0	10.0	3.4	0	0	0	0	6.7	5.1

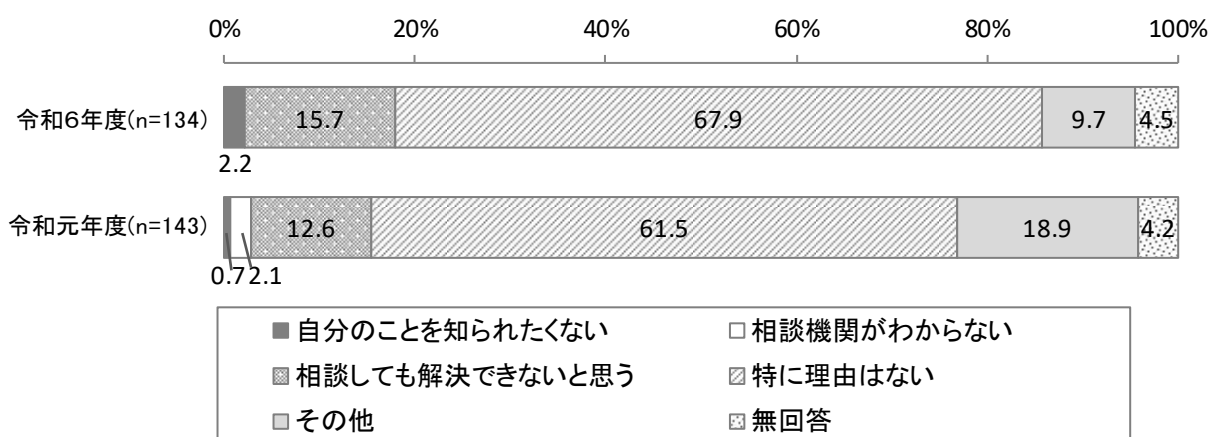
問 14 相談したいと思わない理由

問 13 で、「2」を選んだ方

相談したいと思わない理由は何ですか。（単数回答）

◇「特に理由はない」が 67.9%

・相談したいと思わない理由について、「特に理由はない」が 67.9%で最も多く、次いで「相談しても解決できないと思う」が 15.7%となっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	134	1	0	2	4	14	43	1	5	1	7	13	40
自分のことを知られたくない	2.2	0	0	0	0	0	2.3	0	0	0	0	7.7	2.5
相談機関がわからない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相談しても解決できないと思う	15.7	0	0	50.0	25.0	14.3	23.3	0	0	100.0	0	15.4	10.0
特に理由はない	67.9	100.0	0	50.0	75.0	78.6	62.8	100.0	80.0	0	85.7	76.9	62.5
その他	9.7	0	0	0	0	7.1	7.0	0	20.0	0	14.3	0	17.5
無回答	4.5	0	0	0	0	0	4.7	0	0	0	0	0	7.5

2.2 近所付き合いについて

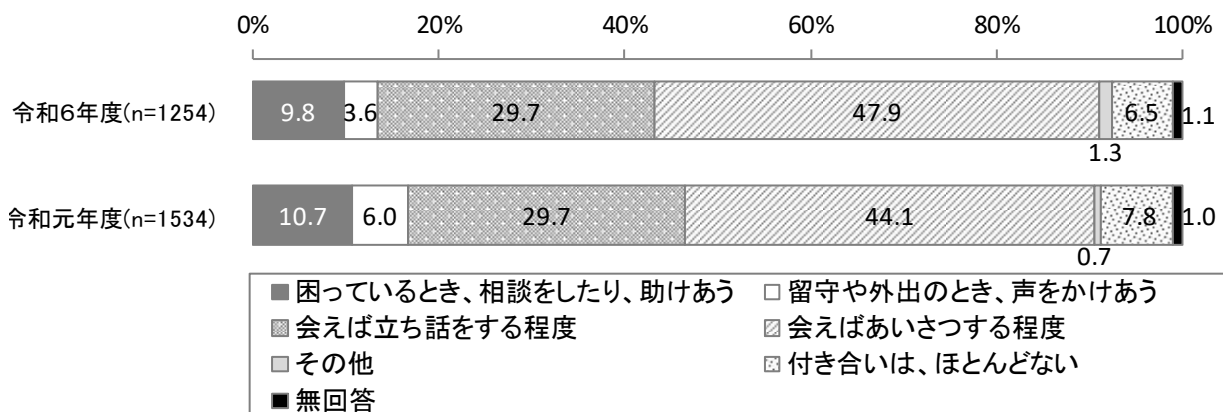
近所付き合いについて

問 15 近所の人との付き合い方

あなたは日頃、近所の人とどのような付き合いをしていますか。（単数回答）

◇「会えばあいさつする程度」が 47.9%

- ・近所の人との付き合い方について、「会えばあいさつする程度」が 47.9%で最も多く、次いで「会えば立ち話をする程度」が 29.7%となっています。
- ・男女年齢別にみると、「会えば立ち話をする程度」が男女ともに 70 歳以上で全体と比べ高くなっています。また、「会えばあいさつする程度」は男性では 30 歳代以下、60 歳代、女性では 30 歳代以下、50 歳代で全体と比べ高くなっています。



回答者数(人): 実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
困っているとき、相談をしたり、助けあう	9.8	3.3	2.5	10.1	5.1	4.3	13.1	4.3	3.2	11.1	11.3	11.3	14.8
留守や外出のとき、声をかけあう	3.6	0	2.5	2.9	1.3	0.9	5.1	2.2	1.6	1.1	0.9	7.0	6.3
会えば立ち話をする程度	29.7	6.7	15.0	21.7	29.1	28.2	40.7	0	17.5	14.4	24.5	28.7	45.7
会えばあいさつする程度	47.9	66.7	75.0	56.5	55.7	61.5	34.6	80.4	68.3	56.7	58.5	45.2	24.2
その他	1.3	0	0	1.4	0	0	2.3	0	0	1.1	0	2.6	2.3
付き合いは、ほとんどない	6.5	23.3	5.0	7.2	8.9	4.3	3.3	13.0	9.5	14.4	4.7	3.5	4.3
無回答	1.1	0	0	0	0	0.9	0.9	0	0	1.1	0	1.7	2.3

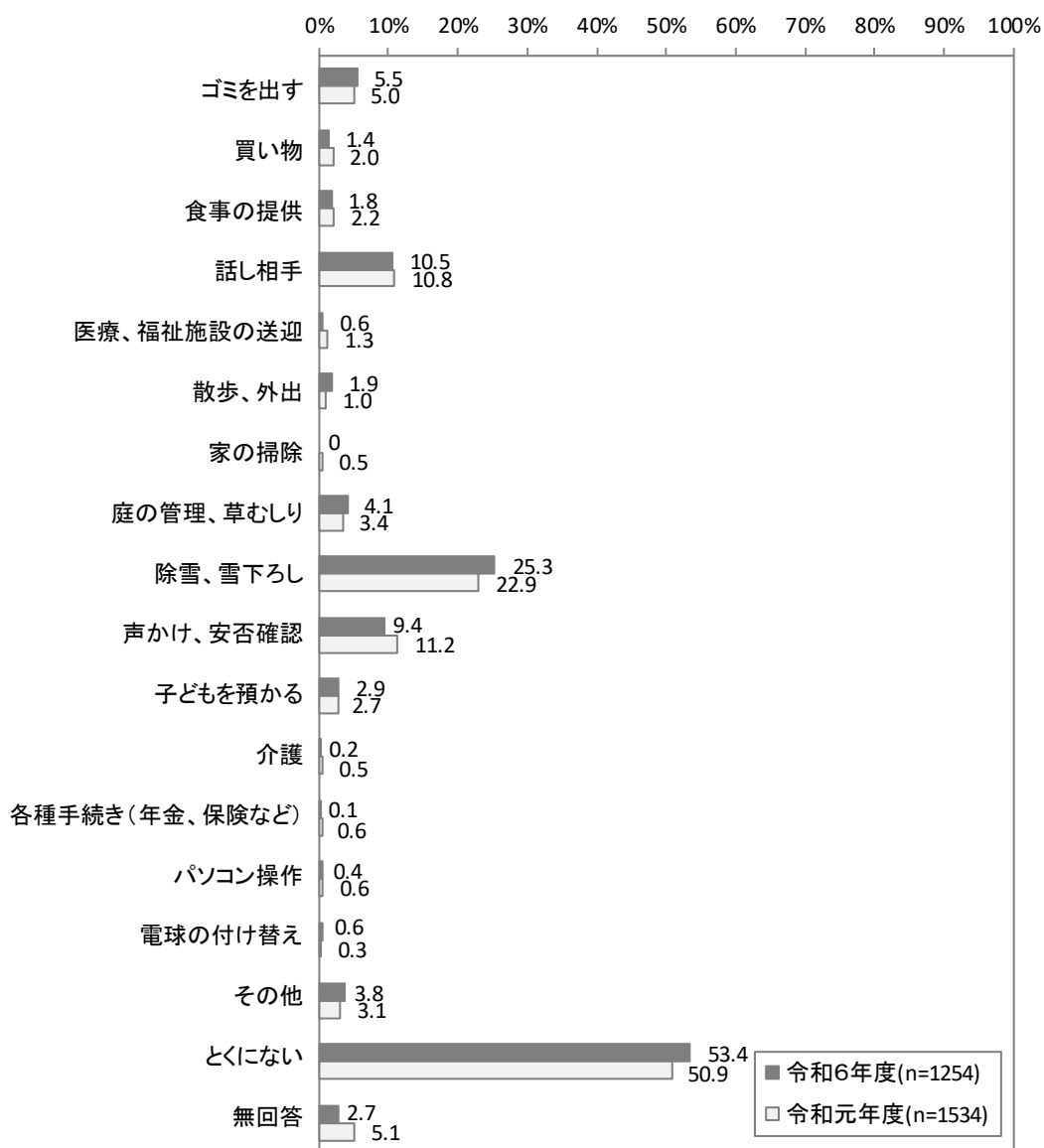
回答者数(人): 実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世帯世帯(夫婦と子)	三世帯世帯(親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
困っているとき、相談をしたり、助けあう	9.8	11.4	10.8	8.8	9.6	7.2	9.0
留守や外出のとき、声をかけあう	3.6	3.0	5.4	2.9	1.9	1.4	1.5
会えば立ち話をする程度	29.7	25.7	35.6	24.6	26.9	24.6	37.3
会えばあいさつする程度	47.9	43.7	41.4	57.5	48.1	53.6	40.3
その他	1.3	1.2	2.0	0.5	1.9	0	3.0
付き合いは、ほとんどない	6.5	12.0	3.3	5.4	11.5	13.0	9.0
無回答	1.1	3.0	1.5	0.2	0	0	0

問 16 手助けで感謝しているもの

あなたは、困っていたとき、近所付き合いで受けた手助けで感謝しているものはどれですか。（複数回答）

◇「除雪、雪下ろし」が 25.3%

- ・手助けで感謝しているものについては、「とくにない」（53.4%）を除くと、「除雪、雪下ろし」が 25.3%で最も多く、次いで「話し相手」が 10.5%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「除雪、雪下ろし」が 2.4 ポイント増加しています。



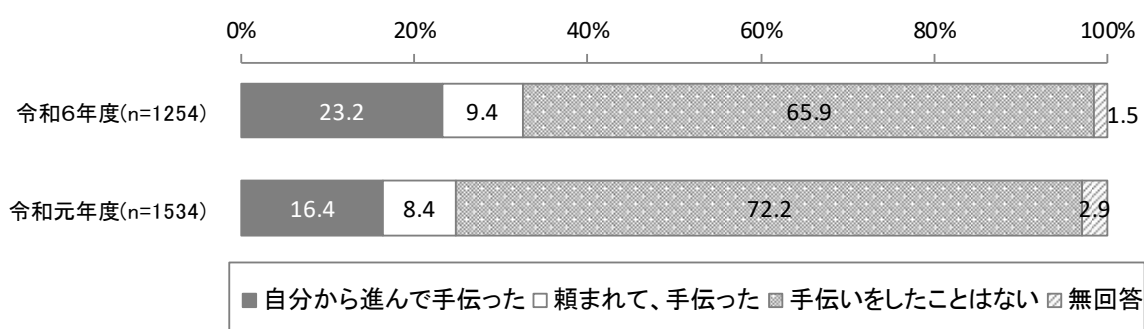
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上	29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
ゴミを出す	5.5	6.7	5.0	7.2	6.3	6.0	5.6	8.7	9.5	2.2	3.8	7.0	4.3
買い物	1.4	0	2.5	1.4	0	0	0.9	0	1.6	2.2	0	0.9	3.9
食事の提供	1.8	3.3	0	1.4	1.3	0.9	0.9	8.7	1.6	3.3	0	1.7	2.3
話し相手	10.5	3.3	7.5	5.8	6.3	5.1	13.1	6.5	9.5	7.8	12.3	13.9	15.2
医療、福祉施設の送迎	0.6	0	0	0	0	0.9	0.9	0	0	0	0	0	2.0
散歩、外出	1.9	0	2.5	0	1.3	2.6	3.3	0	1.6	0	0.9	2.6	2.3
家の掃除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庭の管理、草むしり	4.1	0	5.0	1.4	6.3	0.9	6.5	8.7	1.6	2.2	0.9	2.6	6.6
除雪、雪下ろし	25.3	30.0	20.0	33.3	31.6	22.2	22.0	30.4	30.2	22.2	22.6	26.1	25.0
声かけ、安否確認	9.4	0	12.5	15.9	8.9	5.1	10.3	6.5	9.5	14.4	4.7	6.1	12.1
子どもを預かる	2.9	3.3	2.5	4.3	2.5	1.7	0.5	0	4.8	10.0	4.7	3.5	2.0
介護	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2
各種手続き (年金、保険など)	0.1	0	0	0	0	0	0	2.2	0	0	0	0	0
パソコン操作	0.4	0	0	0	0	0	1.9	0	0	0	0	0	0.4
電球の付け替え	0.6	0	0	0	0	0.9	0.5	0	0	0	0.9	0	1.6
その他	3.8	3.3	10.0	7.2	5.1	1.7	2.8	4.3	1.6	2.2	2.8	2.6	4.3
とくにない	53.4	56.7	65.0	44.9	58.2	63.2	59.3	52.2	49.2	56.7	54.7	51.3	44.9
無回答	2.7	0	2.5	0	0	2.6	2.3	0	1.6	0	0	4.3	6.3

問 17 近所に住んでいる高齢者等への手助けの有無

あなたは、近所に住んでいる高齢者や障がいのある方、子育て世帯の方などが困っているときに、手伝いをしたことがありますか。（単数回答）

◇「手伝いをしたことはない」が 65.9%

- ・近所に住んでいる高齢者等への手助けの有無については、「手助けをしたことはない」が 65.9%となっており、「自分から進んで手伝った」「頼まれて、手伝った」を合わせた手伝ったことのある人（合計）は 32.6%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、手伝ったことのある人の合計が 7.8 ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、「手伝いをしたことはない」が 29 歳以下の男性及び 30 歳代以下の女性で全体と比べ高くなっています。



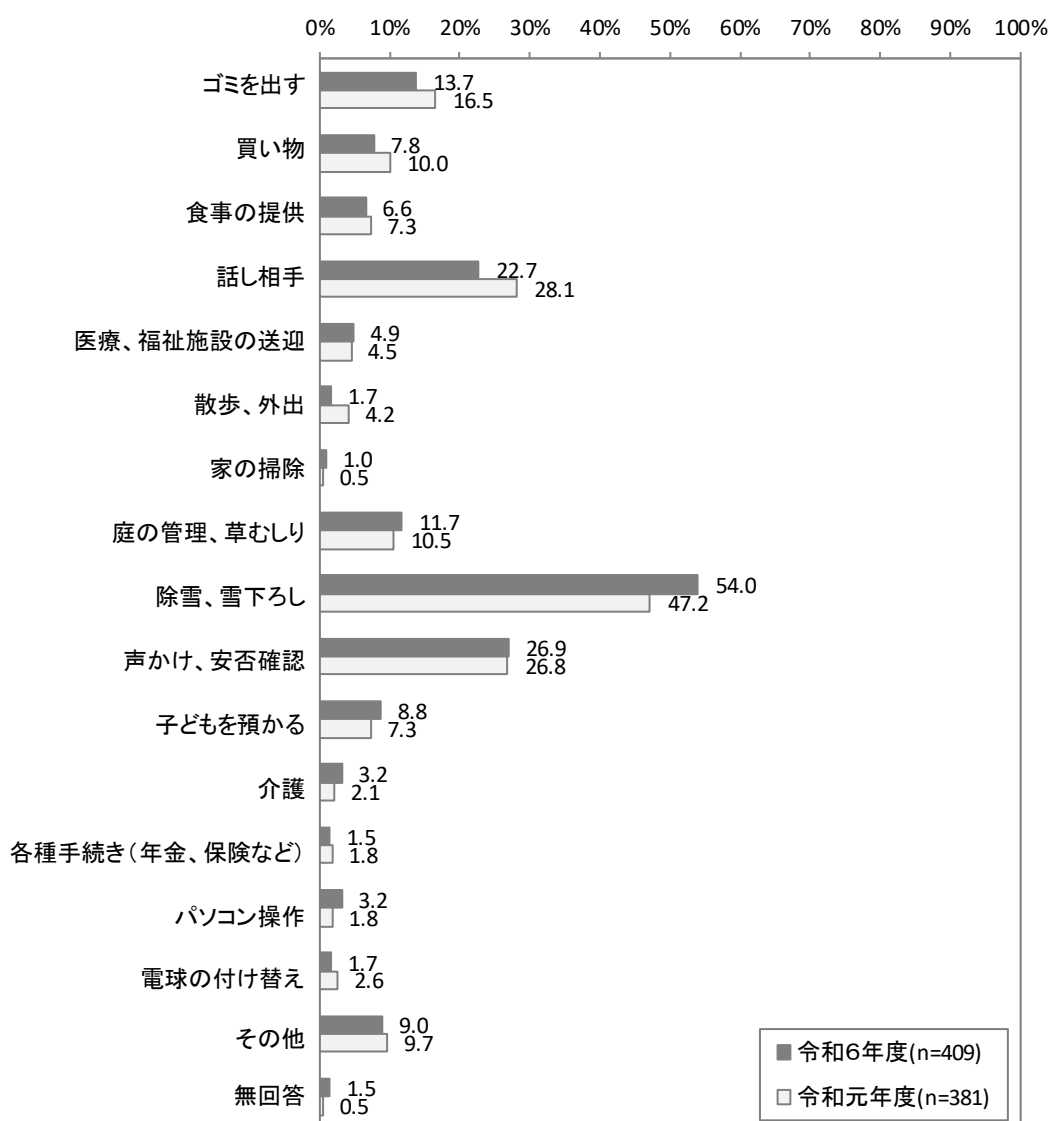
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
自分から進んで手伝った	23.2	10.0	20.0	23.2	30.4	24.8	29.0	6.5	11.1	17.8	19.8	24.3	25.0
頼まれて、手伝った	9.4	3.3	5.0	7.2	1.3	16.2	13.1	4.3	4.8	11.1	8.5	10.4	9.4
手伝いをしたことはない	65.9	86.7	75.0	69.6	68.4	59.0	56.1	89.1	82.5	71.1	71.7	65.2	60.2
無回答	1.5	0	0	0	0	0	1.9	0	1.6	0	0	0	5.5

問 18 近所の高齢者等へ手助けした内容

問 17 で、「1 または 2（手伝った）」を選んだ方
どのような手伝いをしたことがありましたか。（単数回答）

◇手助けした内容は「除雪・雪下ろし」が 54.0%

- ・手伝ったことがあると回答した人の手助けした内容について、「除雪、雪下ろし」が 54.0% で最も多く、次いで「声かけ、安否確認」が 26.9% となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「除雪、雪下ろし」が 6.8 ポイント増加している一方で、「話し相手」が 5.4 ポイント減少しています。



・男女年齢別にみると、男性では60歳代で「除雪、雪下ろし」、女性では70歳以上で「声かけ、安否確認」の割合が全体と比べ高くなっています。

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上	29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
回答者数(人)	409	4	10	21	25	48	90	5	10	26	30	40	88
ゴミを出す	13.7	25.0	10.0	4.8	0	10.4	15.6	40.0	20.0	11.5	13.3	10.0	19.3
買い物	7.8	0	0	0	0	2.1	7.8	20.0	10.0	23.1	6.7	5.0	13.6
食事の提供	6.6	0	10.0	4.8	0	0	3.3	0	0	7.7	10.0	15.0	12.5
話し相手	22.7	25.0	10.0	9.5	20.0	12.5	30.0	20.0	10.0	19.2	23.3	17.5	29.5
医療、福祉施設の送迎	4.9	0	0	0	0	4.2	7.8	0	10.0	0	3.3	7.5	6.8
散歩、外出	1.7	0	0	0	0	0	4.4	0	0	0	0	2.5	2.3
家の掃除	1.0	0	0	0	0	0	1.1	20.0	0	3.8	3.3	0	0
庭の管理、草むしり	11.7	0	20.0	0	4.0	14.6	12.2	20.0	0	3.8	3.3	17.5	17.0
除雪、雪下ろし	54.0	50.0	90.0	71.4	84.0	75.0	62.2	20.0	30.0	42.3	60.0	50.0	26.1
声かけ、安否確認	26.9	50.0	10.0	19.0	8.0	14.6	31.1	0	50.0	26.9	23.3	15.0	42.0
子どもを預かる	8.8	0	0	9.5	0	2.1	4.4	0	30.0	42.3	6.7	12.5	9.1
介護	3.2	0	0	0	0	4.2	2.2	20.0	0	3.8	6.7	5.0	2.3
各種手続き (年金、保険など)	1.5	25.0	0	0	0	0	3.3	0	0	0	3.3	0	1.1
パソコン操作	3.2	25.0	10.0	4.8	0	2.1	4.4	0	0	7.7	3.3	0	2.3
電球の付け替え	1.7	0	0	4.8	0	2.1	2.2	0	0	0	3.3	2.5	1.1
その他	9.0	0	10.0	4.8	8.0	6.3	7.8	0	0	11.5	20.0	12.5	8.0
無回答	1.5	0	10.0	0	0	0	2.2	0	0	0	0	0	3.4

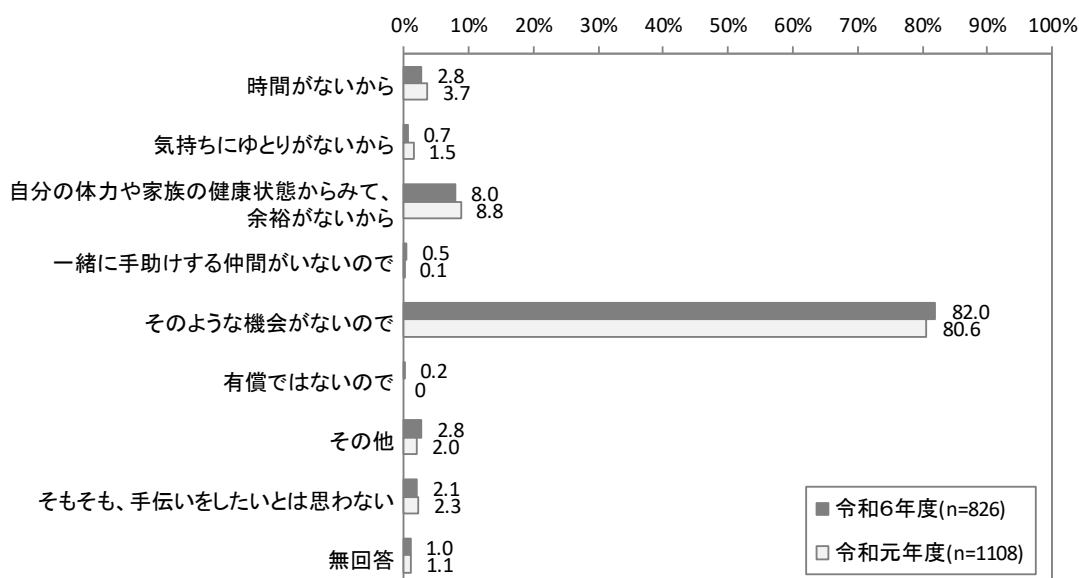
問 19 手助けしたことがない理由

問 17 で、「3（手伝いをしたことはない）」を選んだ方

手伝いをしたことがない、最も大きな理由はどれですか。（単数回答）

◇手助けしたことがない理由は「そのような機会がないので」が 82.0%

- ・手伝いをしたことがない理由については、「そのような機会がないので」が 82.0% で最も多くなっています。
- ・男女年齢別にみると、70 歳以上の女性で「自分の体力や家族の健康状態からみて、余裕がないから」の割合が全体と比べ高くなっています。また、50 歳代の男性、30 歳代の女性で「そのような機会がないので」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	826	26	30	48	54	69	120	41	52	64	76	75	154
時間がないから	2.8	7.7	6.7	6.3	0	1.4	2.5	2.4	3.8	6.3	3.9	1.3	0
気持ちにゆとりがないから	0.7	3.8	0	0	0	0	0	2.4	0	0	1.3	1.3	1.3
自分の体力や家族の健康状態からみて、余裕がないから	8.0	0	0	0	0	4.3	11.7	2.4	1.9	3.1	3.9	6.7	22.7
一緒に手助けする仲間がいないので	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	3.1	0	0	1.3
そのような機会がないので	82.0	88.5	83.3	87.5	94.4	88.4	79.2	90.2	92.3	78.1	85.5	84.0	67.5
有償ではないので	0.2	0	0	2.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6
その他	2.8	0	6.7	2.1	1.9	0	1.7	0	0	4.7	5.3	4.0	3.9
そもそも、手伝いをしたいとは思わない	2.1	0	3.3	2.1	3.7	4.3	3.3	0	1.9	3.1	0	0	1.9
無回答	1.0	0	0	0	0	1.4	1.7	2.4	0	1.6	0	2.7	0.6

問 20 近所付き合いの満足度

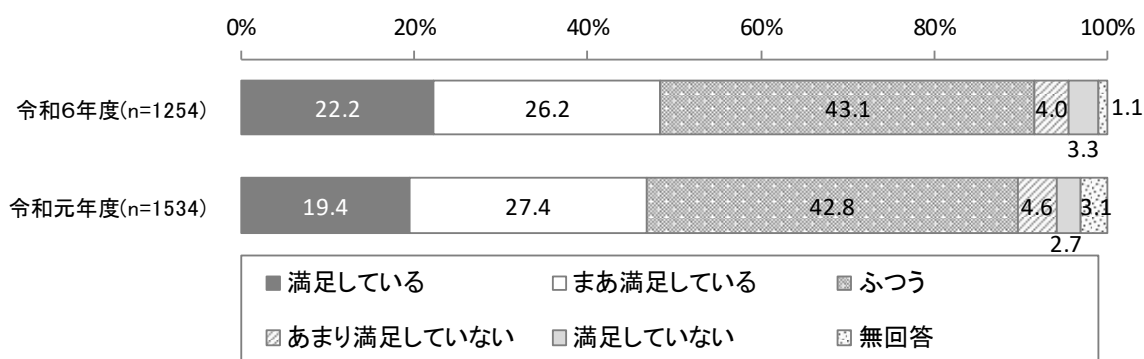
現在の近所付き合いに、満足していますか。（単数回答）

◇近所付き合いの満足度は「ふつう」が43.1%

・近所付き合いの満足度については、「ふつう」が43.1%で最も多くなっています。

「満足している」「まあ満足している」を合わせた「満足している」（合計）は4割以上となっています。

・男女年齢別にみると、29歳以下の女性で「満足している」の割合が全体と比べ高くなっており、一方で60歳代の男性は低くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
満足している	22.2	16.7	17.5	26.1	16.5	10.3	23.4	34.8	23.8	22.2	22.6	30.4	21.9
まあ満足している	26.2	10.0	30.0	20.3	25.3	24.8	32.7	19.6	22.2	32.2	28.3	20.0	27.0
ふつう	43.1	50.0	45.0	47.8	53.2	54.7	37.4	41.3	52.4	38.9	42.5	41.7	39.1
あまり満足していない	4.0	10.0	0	2.9	1.3	5.1	4.7	4.3	0	1.1	3.8	4.3	5.5
満足していない	3.3	10.0	7.5	2.9	3.8	4.3	0.9	0	1.6	5.6	1.9	3.5	4.3
無回答	1.1	3.3	0	0	0	0.9	0.9	0	0	0	0.9	0	2.3

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世帯世帯(夫婦と子)	三世帯世帯(親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
満足している	22.2	25.7	20.6	22.1	25.0	23.2	23.9
まあ満足している	26.2	22.8	29.3	28.0	17.3	17.4	20.9
ふつう	43.1	41.9	41.6	42.8	44.2	55.1	43.3
あまり満足していない	4.0	3.6	5.2	3.7	5.8	0	1.5
満足していない	3.3	4.2	2.4	3.2	7.7	2.9	6.0
無回答	1.1	1.8	0.9	0.2	0	1.4	4.5

2.3 地域活動やボランティアについて

地域活動やボランティアについて

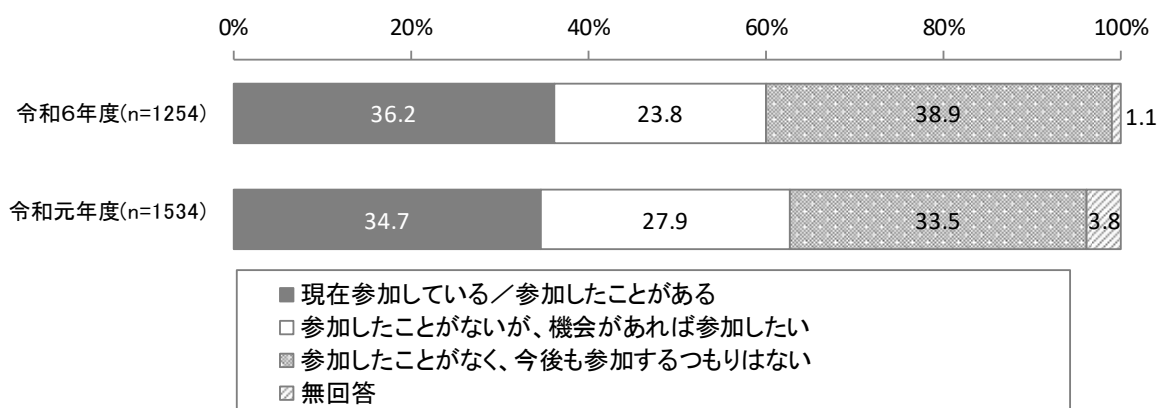
問 21 支援活動の参加の有無

問 21 支援活動の参加あなたは、地域活動やボランティア活動などの支援活動に参加していますか。

(単数回答)

◇「参加したことがなく、今後も参加するつもりはない」が38.9%

- ・支援活動の参加の有無については、「現在参加している／参加したことがある」が36.2%、「参加したことがないが、機会があれば参加したい」が23.8%、「参加したことがなく、今後も参加するつもりはない」が38.9%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「参加したことがなく、今後も参加するつもりはない」が5.4ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男性70歳以上の「現在参加している／参加したことがある」、男性30歳代の「参加したことがないが、機会があれば参加したい」が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
現在参加している／ 参加したことがある	36.2	26.7	17.5	23.2	32.9	40.2	48.6	13.0	20.6	30.0	33.0	38.3	41.4
参加したことがないが、 機会があれば参加したい	23.8	26.7	35.0	26.1	20.3	23.1	19.6	30.4	27.0	26.7	26.4	27.8	21.1
参加したことがなく、 今後も参加するつもりはない	38.9	46.7	47.5	50.7	46.8	36.8	30.8	56.5	52.4	41.1	40.6	33.9	34.0
無回答	1.1	0	0	0	0	0	0.9	0	0	2.2	0	0	3.5

- ・支援活動に”現在参加している／参加したことがある”人は、居住年数が「20 年以上」、外出頻度が「外出することもあるが、家族以外との会話はほとんどなし」の割合が全体と比べ高くなっています。
- ・”現在参加している／参加したことがある””参加したことがないが、機会があれば参加したい”人は、外出頻度が「外出することもあるが、家族以外との会話はほとんどなし」の割合が全体と比べ高くなっています。

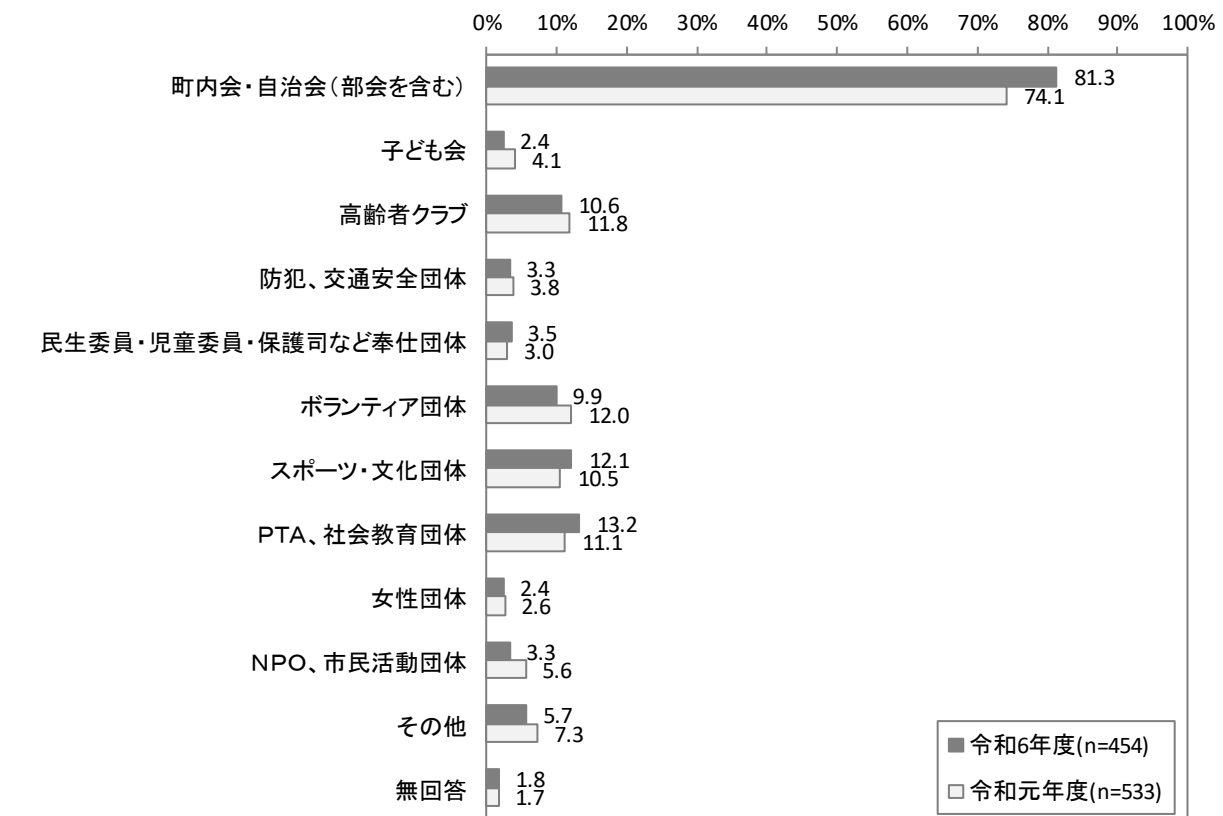
回答者数(人):実数 以下割合(%)		全体	支援活動の参加の有無		
			現在参加している／ 参加したことがある	参加したことがないが、 機会があれば参加したい	参加したことがなく、 今後も参加するつもりはない
回答者数(人)		1254	454	298	488
年 齢	29歳以下	6.3	3.1	7.4	8.8
	30歳代	8.3	4.4	10.4	10.9
	40歳代	12.7	9.5	14.1	14.8
	50歳代	14.8	13.4	14.8	16.6
	60歳代	18.6	20.0	19.8	17.0
	70歳以上	37.6	46.5	32.2	31.4
	無回答	1.8	3.1	1.3	0.6
就 業 状 態 、 職 業	自営業	4.3	4.6	5.0	3.7
	正社員	18.7	12.1	21.1	23.6
	契約社員	4.1	2.6	4.4	5.3
	パート、アルバイト	18.2	17.2	21.1	17.6
	公務員	4.4	5.3	3.7	4.1
	家事専業(主婦・主夫を含む)	12.0	13.9	13.4	9.4
	学生	1.8	1.3	2.3	2.0
	その他	2.9	3.3	2.3	2.7
	無職(年金生活)	28.8	34.8	22.1	27.3
	無職(求職活動中)	1.0	0.7	1.3	1.2
	無職(求職活動していない)	2.6	2.4	1.7	2.9
	無回答	1.2	1.8	1.3	0.2
家 族 構 成	一人暮らし	13.3	10.6	13.4	15.4
	夫婦二人の世帯	36.8	43.2	37.2	30.3
	二世帯世帯(夫婦と子)	32.5	30.2	33.9	34.6
	三世帯世帯(親と子と孫)	4.1	4.8	3.7	3.9
	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	5.5	4.0	4.7	7.6
	その他	5.3	4.4	4.0	6.6
	無回答	2.5	2.9	3.0	1.6
居 住 年 数	1年未満	3.3	0.9	5.4	4.1
	1年以上5年未満	10.5	5.1	10.7	15.6
	5年以上10年未満	9.3	7.3	10.1	10.9
	10年以上20年未満	17.3	15.2	18.5	18.6
	20年以上	58.6	70.9	54.7	49.8
	わからない	0.5	0	0.3	0.8
	無回答	0.4	0.7	0.3	0.2
住 ま い	持ち家(一戸建て)	77.8	86.6	74.8	72.1
	持ち家(マンション)	6.9	4.8	9.1	7.4
	民間借家(一戸建て)	1.4	1.3	1.3	1.4
	民間借家(マンション、アパート)	7.9	2.2	8.4	12.9
	公営住宅など(市営、道営、UR都市 機構住宅、雇用促進住宅)	4.1	3.7	4.0	4.5
	社宅、公務員住宅	0	0	0	0
	寮、寄宿舎、下宿	0	0	0	0
	その他	1.0	0.7	0.7	1.6
	無回答	0.8	0.7	1.7	0.0
	外 出 頻 度	頻繁にまたは時々外出する	45.8	38.8	51.7
時々外出する		33.3	0	0.3	1.4
外出することもあるが、家族以外との 会話はほとんどなし		14.6	45.4	32.6	23.2
自室からは出るが、家からはほとん ど出ない		1.8	9.7	11.1	20.7
自室からほとんど出ない		0.8	4.8	3.0	2.5
無回答		3.7	1.3	1.3	2.3

問 22 活動している団体

問 21 で、「1（現在参加している／参加したことがある）」を選んだ方
あなたはどのような団体に活動したことがありますか。（複数回答）

◇「町内会・自治会（部会を含む）」が 81.3%

- ・活動している団体については、「町内会・自治会（部会を含む）」が 81.3% で最も多くなっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「町内会・自治会（部会を含む）」が 7.2 ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 70 歳以上で「高齢者クラブ」、女性では 50～60 歳代で「PTA、社会教育団体」、60 歳代で「ボランティア団体」「スポーツ・文化団体」の割合が全体と比べ高くなっています。



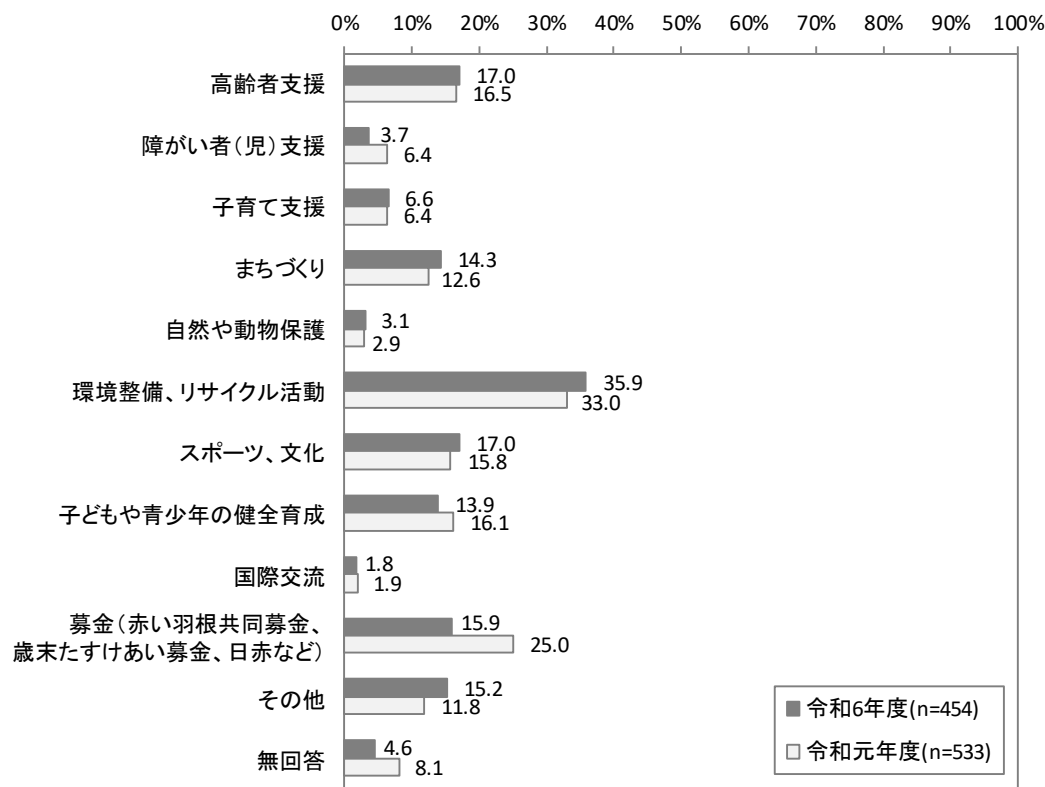
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	454	8	7	16	26	47	104	6	13	27	35	44	106
町内会・自治会(部会を含む)	81.3	75.0	57.1	87.5	96.2	89.4	83.7	50.0	84.6	70.4	91.4	81.8	75.5
子ども会	2.4	12.5	42.9	0	3.8	0	1.0	0	0	7.4	2.9	2.3	0
高齢者クラブ	10.6	0	0	0	0	0	24.0	0	0	0	2.9	2.3	18.9
防犯、交通安全団体	3.3	0	0	0	0	2.1	10.6	0	0	0	0	4.5	0.9
民生委員・児童委員・保護司など奉仕団体	3.5	0	0	0	0	2.1	6.7	0	0	0	0	2.3	6.6
ボランティア団体	9.9	12.5	14.3	0	0	4.3	8.7	33.3	7.7	7.4	5.7	20.5	14.2
スポーツ・文化団体	12.1	0	14.3	6.3	15.4	8.5	13.5	16.7	7.7	3.7	5.7	29.5	10.4
PTA、社会教育団体	13.2	0	28.6	18.8	15.4	4.3	1.0	0	0	48.1	31.4	27.3	10.4
女性団体	2.4	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	5.7	2.3	5.7
NPO、市民活動団体	3.3	0	0	6.3	0	4.3	1.9	16.7	7.7	3.7	2.9	9.1	0
その他	5.7	25.0	0	6.3	0	4.3	6.7	0	0	3.7	2.9	2.3	7.5
無回答	1.8	0	0	0	0	0	2.9	0	0	0	0	0	3.8

問 23 活動している分野

問 21 で、「1（現在参加している／参加したことがある）」を選んだ方
あなたは、問 22 で選択した団体でどのような分野の活動に参加していたことがありますか。（複数回答）

◇「環境整備、リサイクル活動」が 35.9%

- ・活動している分野については、「環境整備、リサイクル活動」が 35.9%で最も多く、次いで「高齢者支援」「スポーツ、文化」が 17.0%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「環境整備、リサイクル活動」が 2.9 ポイント増加、「募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金、日赤など）」が 9.1 ポイント減少しています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 70 歳以上で「高齢者支援」、60 歳代で「まちづくり」の割合が全体と比べ多く、女性では 60 歳代で「スポーツ、文化」、50 歳代で「子どもや青少年の健全育成」の割合が全体と比べ多くなっています。



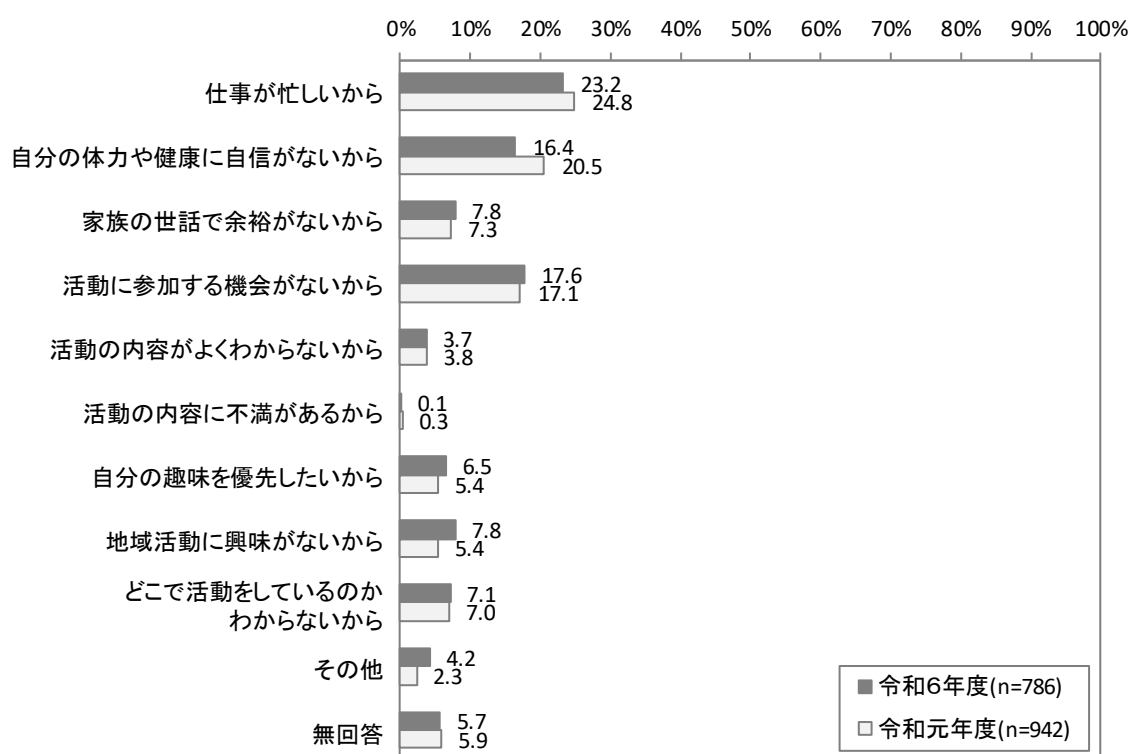
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	454	8	7	16	26	47	104	6	13	27	35	44	106
高齢者支援	17.0	0	0	6.3	3.8	4.3	29.8	16.7	7.7	3.7	11.4	20.5	21.7
障がい者(児)支援	3.7	0	0	0	0	0	3.8	16.7	0	7.4	2.9	11.4	2.8
子育て支援	6.6	12.5	42.9	18.8	7.7	2.1	1.9	0	0	18.5	2.9	13.6	5.7
まちづくり	14.3	25.0	14.3	31.3	26.9	27.7	23.1	16.7	0	3.7	8.6	4.5	5.7
自然や動物保護	3.1	25.0	28.6	6.3	7.7	0	2.9	16.7	7.7	0	2.9	0	0.9
環境整備、リサイクル活動	35.9	75.0	42.9	31.3	50.0	42.6	37.5	33.3	38.5	48.1	34.3	25.0	30.2
スポーツ、文化	17.0	0	14.3	6.3	23.1	10.6	18.3	33.3	15.4	11.1	11.4	36.4	17.0
子どもや青少年の健全育成	13.9	12.5	14.3	12.5	7.7	12.8	10.6	33.3	23.1	33.3	31.4	13.6	5.7
国際交流	1.8	12.5	0	6.3	0	2.1	2.9	0	0	0	0	0	1.9
募金(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金、日赤など)	15.9	12.5	0	6.3	7.7	12.8	24.0	50.0	7.7	7.4	14.3	9.1	19.8
その他	15.2	0	0	18.8	0	23.4	16.3	0	15.4	14.8	22.9	9.1	14.2
無回答	4.6	0	0	0	7.7	2.1	3.8	0	7.7	0	0	6.8	7.5

問 24 団体の活動に参加していない理由

問 21 で、「2 または 3（参加したことがない）」を選んだ方
活動に参加していない、最も大きな理由はどれですか。（単数回答）

◇「仕事が忙しいから」が 23.2%

- ・団体の活動に参加していない理由については、「仕事が忙しいから」が 23.2% で最も多く、次いで「活動に参加する機会がないから」が 17.6% となっています。
- ・男女年齢別にみると、男女ともに 70 歳以上では「自分の体力や健康に自信がないから」の割合が全体と比べ高くなっています。また、30～50 歳代の男性、30 歳代の女性では「仕事が忙しいから」の割合が全体と比べ高くなっており、さらに 30 歳代の女性では「家族の世話で余裕がないから」も併せて高くなっています。



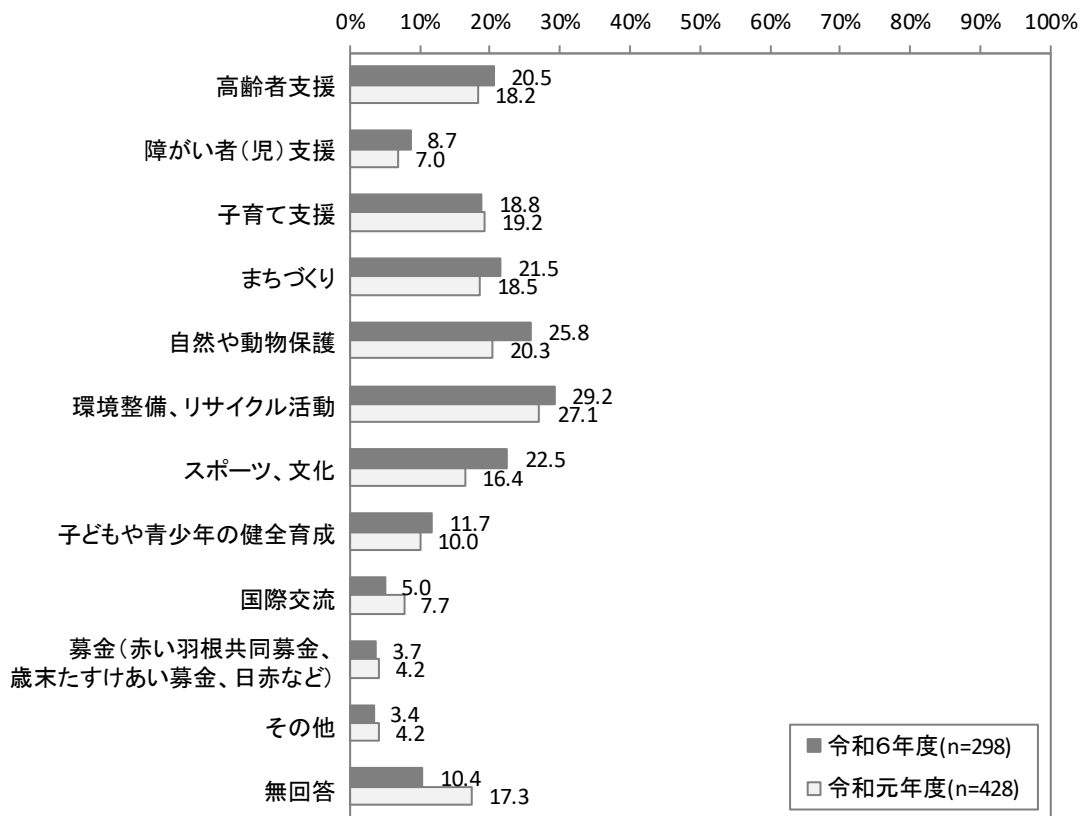
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	786	22	33	53	53	70	108	40	50	61	71	71	141
仕事が忙しいから	23.2	18.2	54.5	49.1	43.4	31.4	9.3	12.5	38.0	26.2	26.8	18.3	2.8
自分の体力や健康に自信がないから	16.4	9.1	0	0	1.9	10.0	27.8	5.0	6.0	6.6	12.7	15.5	40.4
家族の世話で余裕がないから	7.8	0	9.1	7.5	5.7	2.9	4.6	10.0	20.0	11.5	11.3	7.0	6.4
活動に参加する機会がないから	17.6	18.2	3.0	11.3	17.0	21.4	25.0	20.0	8.0	13.1	18.3	23.9	16.3
活動の内容及くわからないから	3.7	4.5	0	1.9	5.7	1.4	3.7	12.5	2.0	3.3	9.9	4.2	0.7
活動の内容に不満があるから	0.1	0	0	0	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0
自分の趣味を優先したいから	6.5	4.5	3.0	9.4	5.7	11.4	9.3	15.0	4.0	3.3	2.8	2.8	6.4
地域活動に興味がないから	7.8	13.6	9.1	11.3	9.4	8.6	7.4	10.0	10.0	11.5	5.6	7.0	3.5
どこで活動をしているのか わからないから	7.1	18.2	12.1	1.9	9.4	7.1	4.6	12.5	6.0	9.8	4.2	7.0	7.1
その他	4.2	4.5	6.1	3.8	0	1.4	1.9	0	4.0	9.8	5.6	2.8	7.1
無回答	5.7	9.1	3.0	3.8	1.9	2.9	6.5	2.5	2.0	4.9	2.8	11.3	9.2

問 25 今後活動に参加する場合、活動したい分野

問 21 で、「2（参加したことがないが、機会があれば参加したい）」を選んだ方あなたは、今後、活動に参加するとしたら、どのような分野の活動をしたいと思いますか。（複数回答）

◇「環境整備、リサイクル活動」が 29.2%

- ・ 今後、活動に参加する場合、活動をしたい分野については、「環境整備、リサイクル活動」が 29.2%で最も多く、次いで「自然や動物保護」が 25.8%となっています。
- ・ 男女年齢別にみると、女性では 70 歳以上で「高齢者支援」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	298	8	14	18	16	27	42	14	17	24	28	32	54
高齢者支援	20.5	0	21.4	11.1	12.5	7.4	19.0	28.6	17.6	25.0	28.6	15.6	31.5
障がい者(児)支援	8.7	0	7.1	5.6	6.3	0	2.4	14.3	11.8	16.7	17.9	9.4	7.4
子育て支援	18.8	25.0	7.1	44.4	12.5	7.4	2.4	35.7	52.9	45.8	17.9	15.6	5.6
まちづくり	21.5	50.0	50.0	27.8	43.8	18.5	16.7	21.4	11.8	16.7	21.4	9.4	20.4
自然や動物保護	25.8	25.0	28.6	27.8	43.8	44.4	11.9	50.0	29.4	25.0	32.1	18.8	14.8
環境整備、リサイクル活動	29.2	50.0	14.3	33.3	50.0	37.0	35.7	28.6	35.3	16.7	28.6	28.1	18.5
スポーツ、文化	22.5	37.5	57.1	44.4	62.5	33.3	9.5	28.6	11.8	20.8	10.7	21.9	7.4
子どもや青少年の健全育成	11.7	0	28.6	38.9	37.5	14.8	0	21.4	11.8	12.5	0	9.4	1.9
国際交流	5.0	12.5	7.1	16.7	12.5	7.4	2.4	7.1	0	8.3	3.6	0	1.9
募金(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金、日赤など)	3.7	0	0	0	0	3.7	0	14.3	5.9	4.2	7.1	3.1	5.6
その他	3.4	0	7.1	0	0	3.7	7.1	7.1	0	4.2	3.6	3.1	1.9
無回答	10.4	0	0	0	0	11.1	21.4	0	0	0	3.6	15.6	24.1

2.4 日常生活での不安や悩みについて

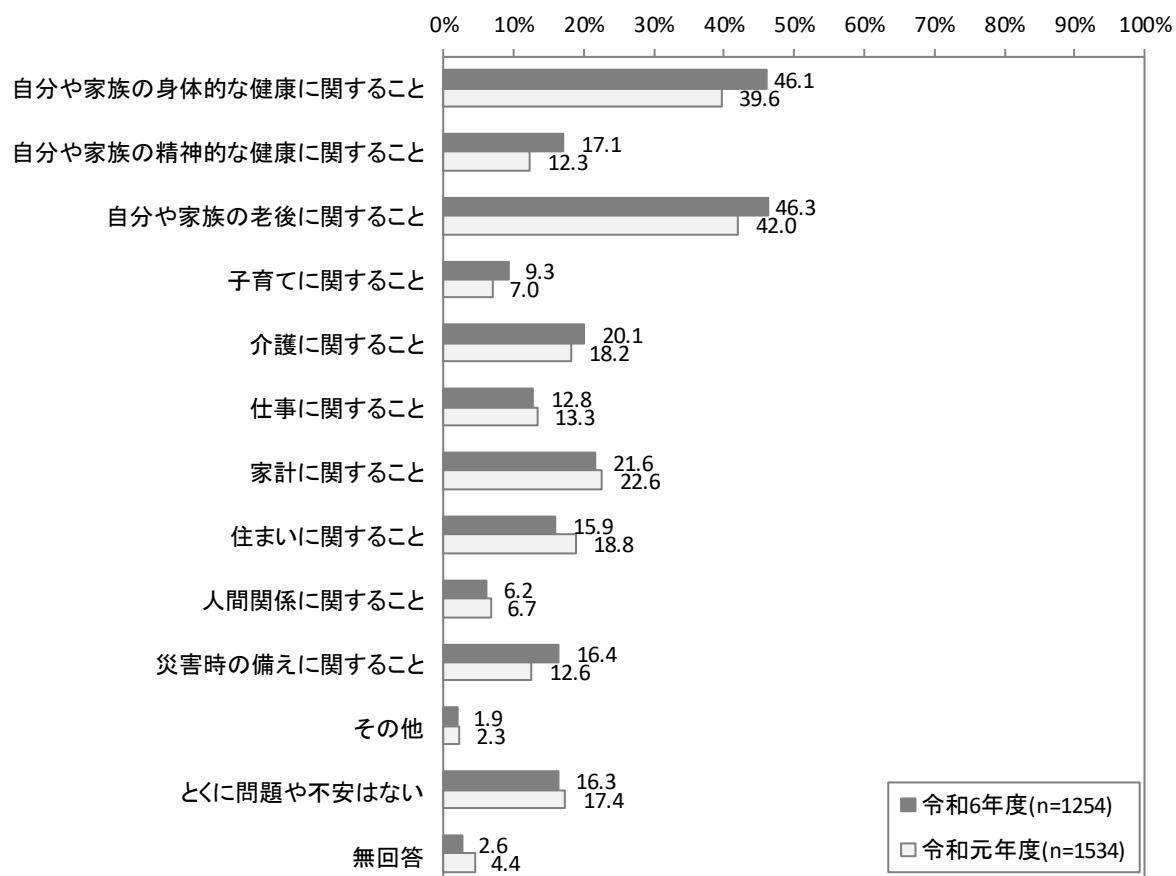
日常生活での不安や悩みについて

問 26 日常生活における問題や不安なこと

あなたの日常生活において、問題や不安なことはありますか。（複数回答）

◇「自分や家族の老後に関すること」が 46.3%

- ・日常生活における問題や不安なことについては、「自分や家族の老後に関すること」が 46.3% で最も多く、次いで「自分や家族の身体的な健康に関すること」が 46.1% となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「自分や家族の身体的な健康に関すること」が 6.5 ポイント、「自分や家族の精神的な健康に関すること」が 4.8 ポイント、「自分や家族の老後に関すること」が 4.3 ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 70 歳以上の「自分や家族の身体的な健康に関すること」、女性では 50 歳代の「自分や家族の老後に関すること」の割合が全体と比べ高くなっています。また、「家計に関すること」について、男性の 40 歳代以下、女性の 30～50 歳代で割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
自分や家族の身体的な健康に関すること	46.1	43.3	32.5	30.4	46.8	50.4	57.9	30.4	31.7	45.6	49.1	40.9	48.8
自分や家族の精神的な健康に関すること	17.1	30.0	30.0	27.5	19.0	10.3	12.6	21.7	15.9	26.7	25.5	7.0	14.8
自分や家族の老後に関すること	46.3	40.0	27.5	46.4	53.2	48.7	46.3	37.0	54.0	43.3	60.4	50.4	41.8
子育てに関すること	9.3	6.7	35.0	27.5	6.3	1.7	0	15.2	31.7	37.8	9.4	1.7	0
介護に関すること	20.1	6.7	12.5	13.0	16.5	26.5	22.9	6.5	11.1	18.9	20.8	23.5	23.4
仕事に関すること	12.8	36.7	17.5	20.3	25.3	13.7	2.3	30.4	28.6	16.7	24.5	8.7	1.2
家計に関すること	21.6	36.7	40.0	31.9	21.5	23.9	7.5	26.1	39.7	38.9	32.1	20.9	10.5
住まいに関すること	15.9	16.7	15.0	17.4	10.1	20.5	14.5	15.2	15.9	12.2	17.9	17.4	16.8
人間関係に関すること	6.2	16.7	10.0	7.2	2.5	2.6	6.5	15.2	3.2	10.0	6.6	7.8	2.3
災害時の備えに関すること	16.4	10.0	15.0	17.4	13.9	12.8	13.1	13.0	20.6	22.2	24.5	17.4	16.0
その他	1.9	0	0	2.9	2.5	0.9	0.5	0	3.2	5.6	1.9	0.9	2.3
とくに問題や不安はない	16.3	20.0	22.5	18.8	15.2	15.4	15.9	28.3	20.6	10.0	11.3	13.9	16.8
無回答	2.6	3.3	0	0	0	0.9	3.7	0	0	0	0.9	1.7	7.0

問 27 日常生活の問題や不安なことについての相談相手

あなたは、日常生活の問題や不安なことについて、誰に相談しますか。（複数回答）

◇相談相手は「同居している家族」が 66.0%

- ・日常生活の問題や不安なことについての相談相手は、「同居している家族」が 66.0% で最も多く、次いで「別居している家族」が 35.5% となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「同居している家族」が 10.9 ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男性は 40～50 歳代で「同居している家族」、女性は 60 歳代以下で「友人・知人」の割合が全体と比べ高くなっています。



※前回の調査では「法律職（行政書士、司法書士、弁護士など）」という選択肢がありません。

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
同居している家族	66.0	53.3	67.5	78.3	81.0	75.2	66.4	73.9	73.0	70.0	71.7	67.8	48.4
別居している家族	35.5	36.7	20.0	27.5	13.9	24.8	37.4	28.3	44.4	38.9	42.5	37.4	44.5
親戚	13.5	0	17.5	15.9	6.3	23.9	15.9	4.3	9.5	7.8	9.4	15.7	14.8
近所の人	5.3	0	0	2.9	2.5	4.3	5.1	2.2	3.2	5.6	3.8	9.6	8.6
友人、知人	33.1	46.7	25.0	26.1	19.0	23.9	17.3	58.7	61.9	44.4	50.0	50.4	27.3
職場の人	12.9	10.0	22.5	21.7	24.1	9.4	3.3	13.0	36.5	26.7	28.3	9.6	0.4
自治会の役員	1.0	0	0	0	0	2.6	2.8	0	0	0	0	0	0.8
民生委員・児童委員、主任児童委員	0.8	0	0	0	0	0.9	2.3	0	0	0	0	0.9	1.2
保護司	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人権擁護委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市役所などの相談窓口 (地域包括支援センターを含む)	8.9	3.3	0	1.4	2.5	10.3	17.8	6.5	0	4.4	2.8	8.7	14.1
社会福祉協議会	1.4	3.3	0	0	0	1.7	2.8	2.2	0	0	0	2.6	1.6
福祉や介護サービス事業所の職員	5.6	6.7	2.5	1.4	2.5	4.3	7.0	6.5	1.6	4.4	4.7	2.6	10.5
学校、幼稚園の教諭、 保育所の保育士	1.0	0	2.5	0	0	0	0	6.5	4.8	5.6	0	0	0
医師や保健師	9.9	6.7	5.0	5.8	2.5	12.0	18.7	8.7	3.2	5.6	3.8	8.7	12.1
市議会議員	1.4	0	2.5	0	0	0.9	2.3	2.2	0	0	0	2.6	2.3
法律職(行政書士、司法書士、弁護士など)	1.6	0	0	0	2.5	5.1	1.4	0	0	1.1	0.9	1.7	1.6
どこに相談したらいいかわからない ／相談できる相手がいない	5.0	10.0	7.5	5.8	10.1	6.8	2.8	0	7.9	5.6	6.6	3.5	3.9
その他	1.9	3.3	0	1.4	0	1.7	3.3	0	1.6	3.3	0.9	1.7	2.0
誰にも相談したくない	2.2	3.3	12.5	4.3	1.3	1.7	1.4	8.7	3.2	1.1	0	0.9	1.2
無回答	1.6	0	0	0	0	0	1.4	0	1.6	0	0	1.7	5.1

2.5 地域での生活について

地域での生活について

問 28 誰が中心になって取り組むべきか

下のa～vの各項目について、誰が中心となって取り組むことが必要だと思いますか。

1（行政）～5（住民）で、そう思う段階に一つずつ○をつけてください。

（各々単数回答）

- ◇ 行政が取り組むべき・・「災害時の救援体制の整備」 86.7%
住民が取り組むべき・・「趣味活動など余暇を過ごす活動への参加」 47.3%

・誰が中心になって取り組むべきかについては、行政が中心になって取り組むべき（「行政」、「どちらかといえば行政」の合計）の上位3つは、「災害時の救援体制の整備」86.7%、「失業や病気時などの経済支援（貸付金など）」86.6%、「日常生活全般から医療や介護についての相談」78.1%となっています。一方、住民が中心になって取り組むべき（「住民」「どちらかといえば住民」の合計）の上位3つは、「趣味活動など余暇を過ごす活動への参加」47.3%、「声かけや安否確認」40.5%、「経験や知識などを活かしたボランティア活動への参加」38.5%となっています。

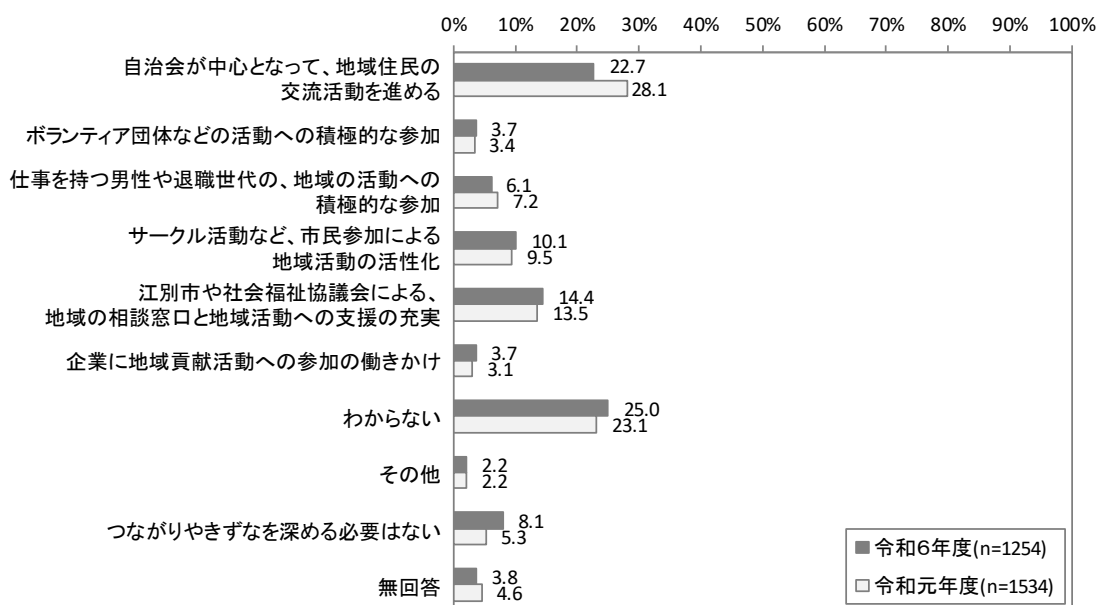


問 29 住民同士のつながりやきずなを深めるために必要なこと

あなたは、地域で生活する上で住民同士のお互いのつながりやきずなを深めていくために、どんなことが最も必要だと思いますか。（単数回答）

◇「わからない」が 25.0%

- ・住民同士のつながりやきずなを深めるために必要なことについては、「わからない」が 25.0%で最も多く、次いで「自治会が中心となって、地域住民の交流活動を進める」が 22.7%となっています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 40 歳代の「仕事を持つ男性や退職世代の、地域の活動への積極的な参加」、30 歳代の「企業に地域貢献活動への参加の働きかけ」の割合が全体と比べ高くなっています。
- 一方、男性 30 歳代、女性 29 歳以下の「自治会が中心となって、地域住民の交流活動を進める」の割合が全体と比べ低くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
自治会が中心となって、地域住民の交流活動を進める	22.7	13.3	10.0	13.0	26.6	19.7	29.0	8.7	27.0	20.0	19.8	19.1	28.9
ボランティア団体などの活動への積極的な参加	3.7	3.3	5.0	2.9	5.1	4.3	1.9	4.3	3.2	4.4	3.8	4.3	4.3
仕事を持つ男性や退職世代の、地域の活動への積極的な参加	6.1	3.3	0	17.4	6.3	10.3	7.9	2.2	3.2	5.6	4.7	6.1	3.1
サークル活動など、市民参加による地域活動の活性化	10.1	20.0	20.0	5.8	8.9	10.3	11.2	19.6	6.3	4.4	11.3	13.0	8.2
江別市や社会福祉協議会による、地域の相談窓口と地域活動への支援の充実	14.4	3.3	10.0	8.7	6.3	18.8	18.2	10.9	14.3	7.8	18.9	14.8	15.2
企業に地域貢献活動への参加の働きかけ	3.7	3.3	15.0	10.1	7.6	2.6	2.3	6.5	1.6	5.6	0.9	2.6	1.6
わからない	25.0	40.0	22.5	29.0	20.3	23.9	18.2	30.4	20.6	31.1	31.1	33.9	21.5
その他	2.2	3.3	7.5	4.3	3.8	0.9	1.9	0	3.2	1.1	0	2.6	2.0
つながりやきずなを深める必要はない	8.1	10.0	10.0	8.7	13.9	7.7	4.2	17.4	19.0	16.7	6.6	1.7	5.9
無回答	3.8	0	0	0	1.3	1.7	5.1	0	1.6	3.3	2.8	1.7	9.4

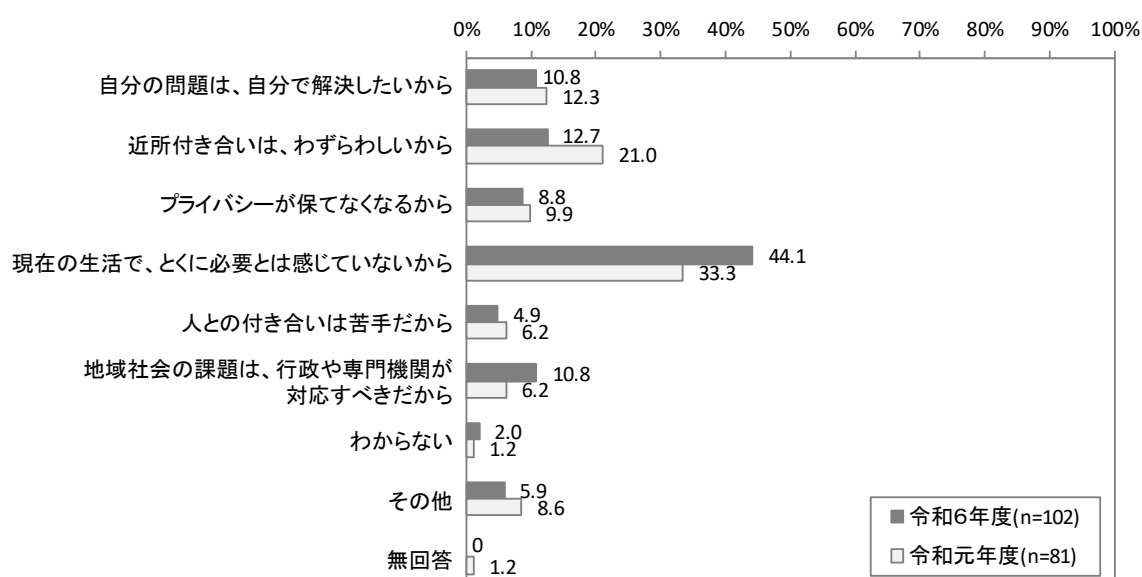
問 30 住民同士のつながりやきずなを深めることが必要ない理由

問 29 で、「9（つながりやきずなを深める必要はない）」を選択した方

住民同士のお互いのつながりやきずなを深める必要はないと思う理由はどれですか。（単数回答）

◇「現在の生活で、とくに必要とは思っていないから」が 44.1%

- ・住民同士のつながりやきずなを深める必要がないと思う理由については、「現在の生活で、とくに必要とは思っていないから」が 44.1%で最も多く、次いで「近所付き合いは、わずらわしいから」が 12.7%となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「現在の生活で、とくに必要とは思っていないから」が 10.8 ポイント増加しています。



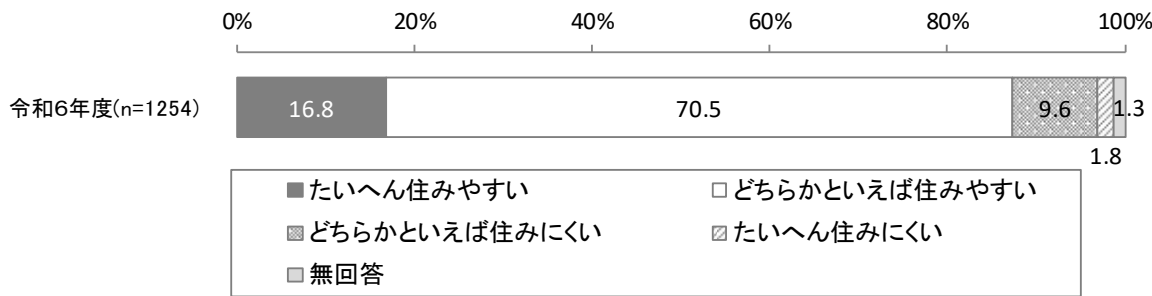
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	102	3	4	6	11	9	9	8	12	15	7	2	15
自分の問題は、自分で解決したいから	10.8	0	0	33.3	0	0	55.6	12.5	0	0	0	0	20.0
近所付き合いは、わずらわしいから	12.7	0	0	33.3	18.2	11.1	0	0	16.7	13.3	14.3	0	20.0
プライバシーが保てなくなるから	8.8	33.3	0	0	0	22.2	0	0	8.3	0	28.6	100.0	6.7
現在の生活で、とくに必要とは思っていないから	44.1	0	50.0	33.3	45.5	55.6	33.3	62.5	50.0	53.3	57.1	0	26.7
人との付き合いは苦手だから	4.9	0	25.0	0	0	0	11.1	12.5	8.3	0	0	0	6.7
地域社会の課題は、行政や専門機関が対応すべきだから	10.8	66.7	0	0	18.2	11.1	0	0	8.3	20.0	0	0	13.3
わからない	2.0	0	25.0	0	9.1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5.9	0	0	0	9.1	0	0	12.5	8.3	13.3	0	0	6.7
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問 31 暮らしている地域の住みやすさ

あなたにとって、現在暮らしている地域（町内会など）は住みやすいと思いますか。（単
数回答）

◇「どちらかといえば住みやすい」が 70.5%

- ・暮らしている地域（町内会など）は住みやすいと思うかについては、「どちらかといえば住みやすい」が 70.5%で最も多くなっており、「たいへん住みやすい」16.8%と合わせた「住みやすい」と思う合計は 87.3%となっています。
- ・男女年齢別にみると、29 歳以下の女性の「たいへん住みやすい」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
たいへん住みやすい	16.8	23.3	15.0	15.9	15.2	11.1	18.2	32.6	19.0	18.9	16.0	15.7	14.5
どちらかといえば住みやすい	70.5	63.3	67.5	71.0	69.6	76.9	71.0	63.0	69.8	67.8	70.8	73.9	69.9
どちらかといえば住みにくい	9.6	10.0	10.0	8.7	12.7	8.5	7.0	4.3	11.1	11.1	11.3	7.8	11.3
たいへん住みにくい	1.8	3.3	7.5	4.3	2.5	0.9	0.9	0	0	2.2	1.9	1.7	2.0
無回答	1.3	0	0	0	0	2.6	2.8	0	0	0	0	0.9	2.3

問 32 暮らしている地域の住みやすさを答えた理由

問 31 でそのように答えた理由は何ですか。（自由記述）

◇住みやすい意見は「住居や地域環境・近所付き合いについて」が 408 件

- ・「1.たいへん住みやすい」「2.どちらかといえば住みやすい」を合わせた「住みやすい（合計）」理由は「住居や地域環境・近所付き合い」による理由が 408 件で最も多くなっています。

「その他」の意見としては、「特に不便を感じていない」「長年住んでいる場所だから」という回答が多くみられました。

- ・「3.どちらかといえば住みにくい」「4.たいへん住みにくい」を合わせた「住みにくい（合計）」理由は、「交通の利便性・立地、安全面」による理由が 53 件で最も多く、次いで「住居や地域環境・近所付き合い」による理由が 50 件となっています。

「交通の利便性・立地、安全面」の具体的内容としては、「交通が不便」「商店街が近くになく、買い物に不便」「バスの本数が少ない」という回答がみられました。

	①住みやすい意見	②住みにくい意見
交通の利便性・立地、安全面	223 件	53 件
住居や地域環境・近所付き合い	408 件	50 件
子育て環境	18 件	0 件
除雪体制	0 件	25 件
行政サービス、経済面	0 件	12 件
その他	332 件	14 件

①「1.たいへん住みやすい」「2.どちらかといえば住みやすい」を合わせた「住みやすい（合計）」

②「3.どちらかといえば住みにくい」「4.たいへん住みにくい」を合わせた「住みにくい（合計）」

2.6 災害対策について

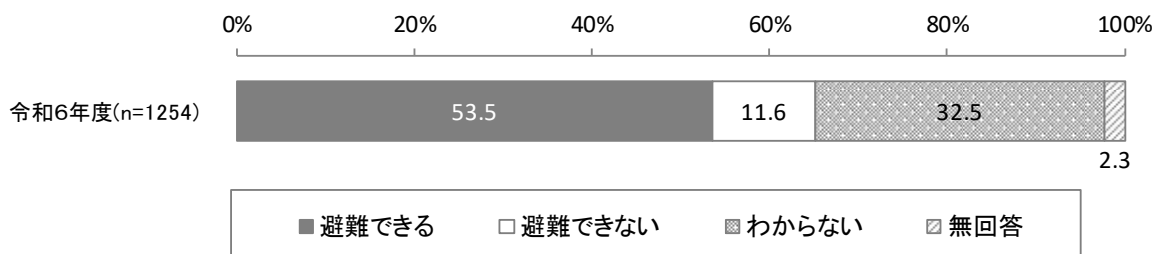
災害対策について

問 33 緊急事態時に自力で避難できるか

あなたは災害などの緊急事態が発生した場合、自力で支障なく避難できると思いますか。
(単数回答)

◇ 自力で「避難できる」が 53.5%

- ・災害などの緊急事態が発生した場合、自力で支障なく避難できると思うかについては、「避難できる」が 53.5%、「避難できない」が 11.6%、「わからない」が 32.5%となっています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 29 歳以下、50 歳代の「避難できる」の割合が全体と比べ高くなっています。一方で、女性の 70 歳以上の「避難できない」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
避難できる	53.5	76.7	62.5	62.3	79.7	61.5	61.2	52.2	50.8	50.0	57.5	45.2	34.8
避難できない	11.6	10.0	7.5	7.2	3.8	9.4	11.2	10.9	6.3	11.1	4.7	8.7	22.7
わからない	32.5	13.3	27.5	30.4	15.2	28.2	24.3	37.0	42.9	38.9	37.7	45.2	36.7
無回答	2.3	0	2.5	0	1.3	0.9	3.3	0	0	0	0	0.9	5.9

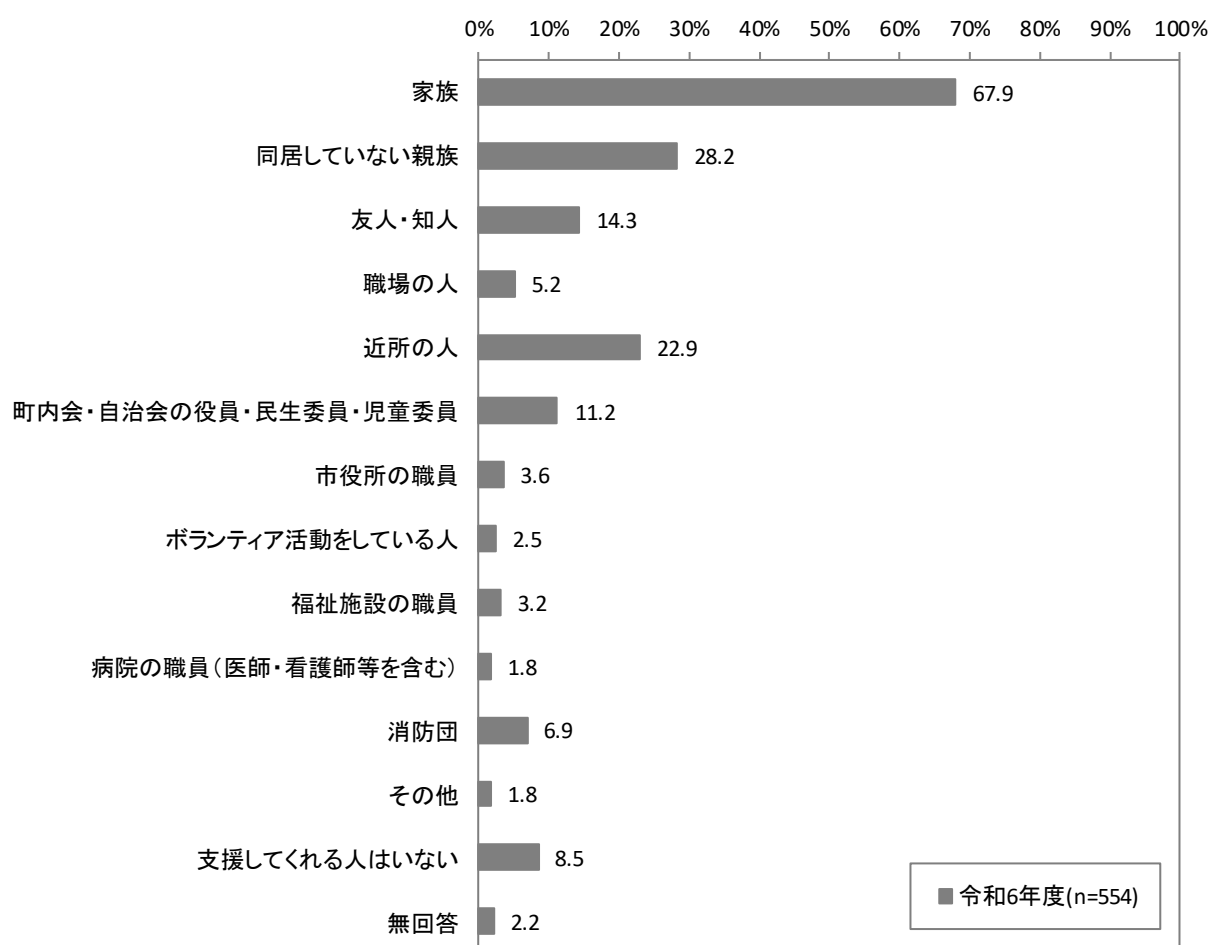
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世帯世帯(夫婦と子)	三世帯世帯(親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
避難できる	53.5	47.3	56.0	55.3	50.0	56.5	43.3
避難できない	11.6	12.0	10.4	11.3	13.5	11.6	20.9
わからない	32.5	37.7	31.2	31.9	34.6	31.9	29.9
無回答	2.3	3.0	2.4	1.5	1.9	0	6.0

問 34 避難時に支援してくれる方について

問 33 で、「2 避難できない」「3 わからない」を選択した方
避難が必要なとき、支援してくれる方はどなたですか。（複数回答）

◇避難時に支援してくれる方は「家族」が 67.9%

- ・自力で「避難できない」「わからない」と回答した方が、避難が必要なとき、支援してくれる方については「家族」が 67.9%で最も多く、次いで「同居していない親族」が 28.2%となっています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 70 歳以上で「近所の人」「町内会・自治会の役員・民生委員・児童委員」の割合が全体と比べて高くなっている一方、「家族」の割合が全体と比べて低くなっています。
- ・女性は 30～40 歳代の「家族」「同居していない親族」「友人・知人」「職場の人」の割合が全体と比べて高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	554	7	14	26	15	44	76	22	31	45	45	62	152
家族	67.9	85.7	85.7	73.1	66.7	68.2	57.9	86.4	83.9	86.7	71.1	67.7	55.9
同居していない親族	28.2	14.3	42.9	26.9	6.7	29.5	25.0	22.7	51.6	35.6	22.2	32.3	26.3
友人・知人	14.3	14.3	28.6	11.5	13.3	11.4	6.6	31.8	29.0	26.7	17.8	17.7	7.2
職場の人	5.2	0	14.3	7.7	0	4.5	0	4.5	16.1	15.6	11.1	6.5	0.7
近所の人	22.9	0	7.1	15.4	33.3	18.2	40.8	13.6	9.7	22.2	22.2	25.8	23.0
町内会・自治会の役員・民生委員 ・児童委員	11.2	0	7.1	3.8	6.7	6.8	32.9	4.5	3.2	4.4	4.4	11.3	11.2
市役所の職員	3.6	0	7.1	0	13.3	13.6	9.2	4.5	0	2.2	0	1.6	0.7
ボランティア活動をしている人	2.5	0	0	3.8	0	4.5	7.9	9.1	0	2.2	0	0	1.3
福祉施設の職員	3.2	14.3	7.1	3.8	0	4.5	2.6	4.5	0	4.4	0	1.6	2.6
病院の職員(医師・看護師等を含む)	1.8	0	0	0	0	2.3	3.9	0	0	6.7	0	0	2.0
消防団	6.9	0	7.1	7.7	26.7	6.8	9.2	9.1	3.2	8.9	0	3.2	6.6
その他	1.8	0	0	3.8	0	2.3	0	0	0	0	0	6.5	2.6
支援してくれる人はいない	8.5	0	7.1	15.4	6.7	13.6	6.6	4.5	6.5	4.4	11.1	4.8	10.5
無回答	2.2	0	0	0	0	0	2.6	0	0	0	2.2	3.2	4.6

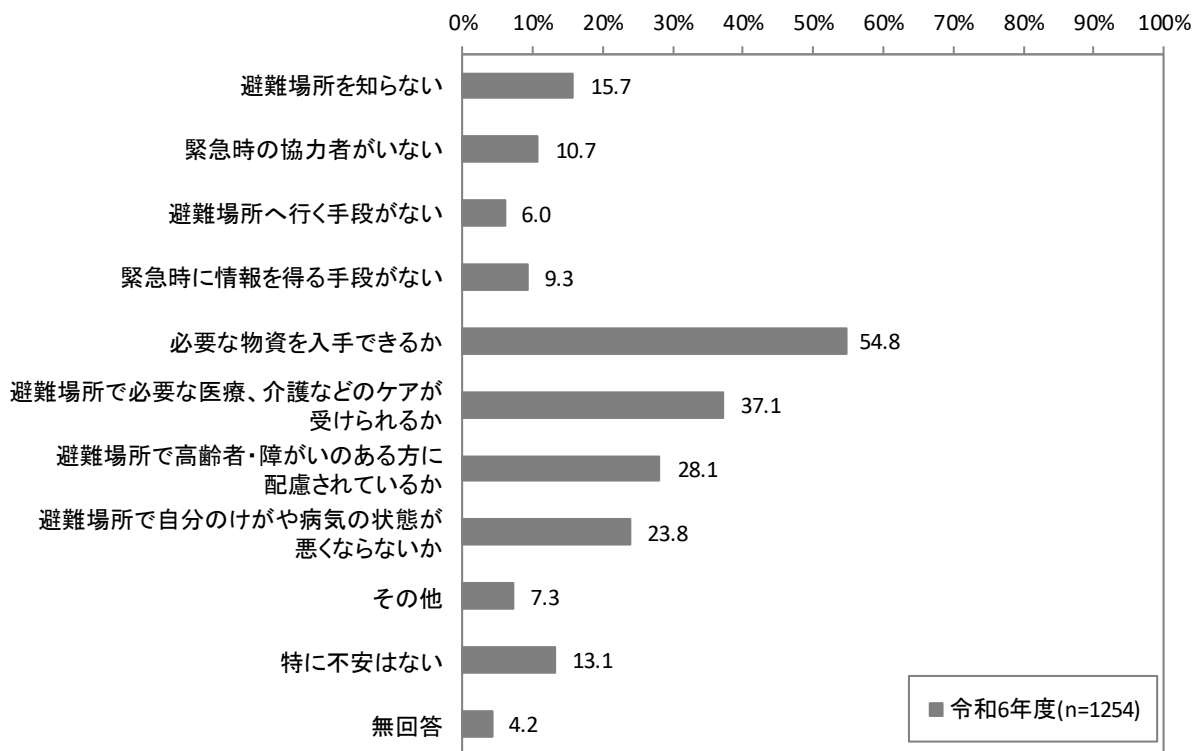
問 35 災害時に不安に思うこと

すべての方にお聞きます。

災害時の避難や対応について不安に思うことはありますか。（複数回答）

◇「必要な物資を入手できるか」が54.8%

- ・災害時の避難や対応について不安に思うことについては、「必要な物資を入手できるか」が54.8%で最も多く、次いで「避難場所に必要な医療、介護などのケアが受けられるか」が37.1%となっています。
- ・男女年齢別にみると、男性の30歳代、50歳代、女性の30～50歳代で「必要な物資を入手できるか」の割合が全体と比べ高くなっています。また、女性の29歳以下で「避難場所を知らない」の割合も全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合 (%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
避難場所を知らない	15.7	20.0	17.5	14.5	12.7	13.7	14.0	26.1	19.0	15.6	17.0	14.8	15.6
緊急時の協力者がいない	10.7	6.7	15.0	13.0	8.9	9.4	11.2	4.3	12.7	13.3	9.4	7.8	12.5
避難場所へ行く手段がない	6.0	6.7	5.0	0	3.8	0.9	8.9	6.5	1.6	3.3	1.9	5.2	12.5
緊急時に情報を得る手段がない	9.3	3.3	2.5	7.2	8.9	8.5	11.2	4.3	9.5	6.7	7.5	8.7	13.3
必要な物資を入手できるか	54.8	40.0	77.5	60.9	67.1	60.7	46.7	52.2	82.5	68.9	66.0	60.9	34.4
避難場所に必要な医療、介護などの ケアが受けられるか	37.1	10.0	27.5	27.5	32.9	52.1	45.8	23.9	33.3	34.4	30.2	38.3	37.9
避難場所が高齢者・障がいのある方 に配慮されているか	28.1	6.7	17.5	13.0	8.9	29.9	42.1	13.0	12.7	21.1	24.5	25.2	41.0
避難場所での自分のけがや病気の状態 が悪くならないか	23.8	16.7	17.5	11.6	15.2	30.8	29.4	19.6	19.0	16.7	22.6	18.3	30.9
その他	7.3	13.3	12.5	8.7	7.6	4.3	3.3	10.9	6.3	12.2	12.3	8.7	5.1
特に不安はない	13.1	40.0	12.5	15.9	16.5	17.1	12.1	19.6	6.3	11.1	7.5	9.6	12.5
無回答	4.2	0	2.5	0	3.8	1.7	6.1	0	0	1.1	2.8	4.3	8.6

・同居家族別にみると、「二世代世帯（夫婦と子）」では「必要な物資を入手できるか」の割合が全体と比べ高くなっています。

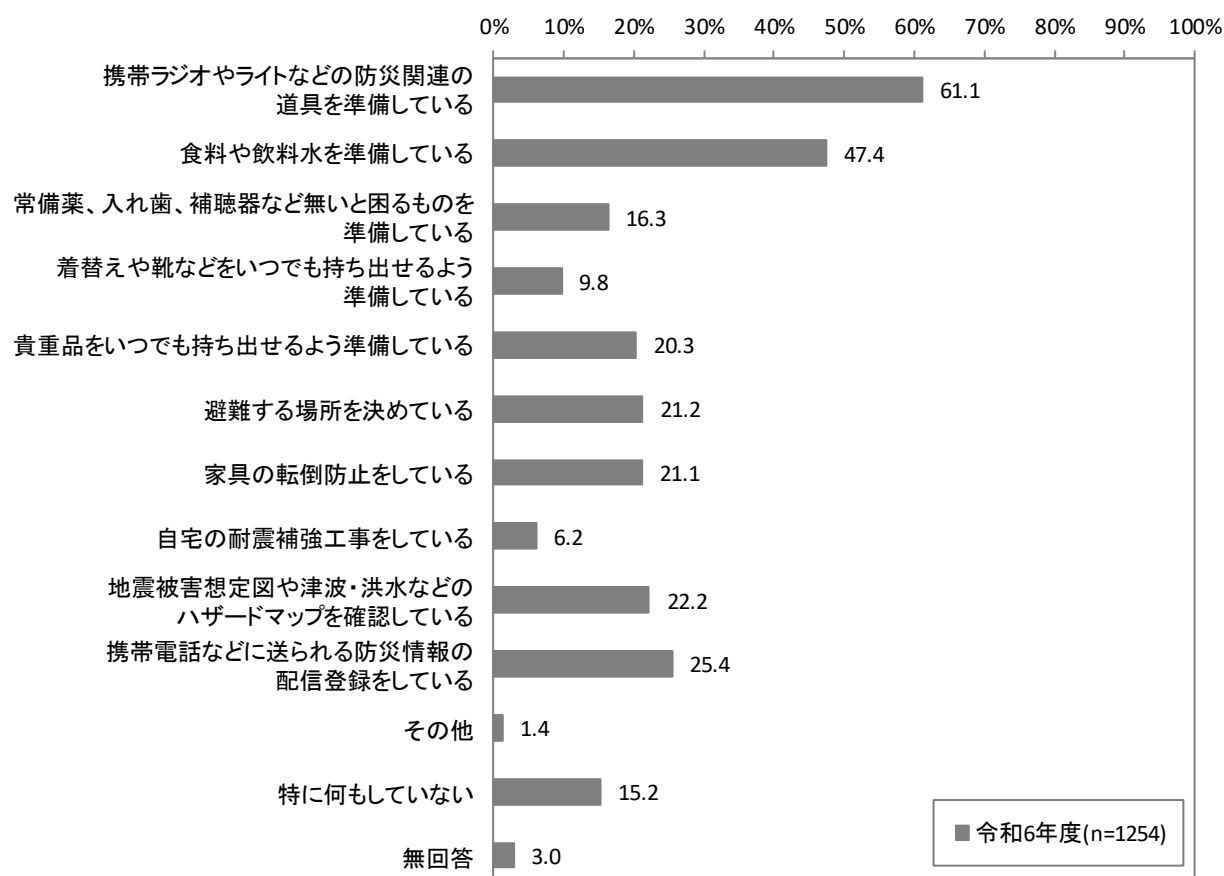
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人 の世帯	二世代世帯 (夫婦と子)	三世代世帯 (親と子と孫)	一人親と子ども の世帯(父子、 母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
避難場所を知らない	15.7	21.6	15.2	14.7	11.5	15.9	10.4
緊急時の協力者がいない	10.7	20.4	8.5	10.3	7.7	10.1	10.4
避難場所へ行く手段がない	6.0	10.2	5.6	3.9	5.8	10.1	3.0
緊急時に情報を得る手段がない	9.3	10.8	9.3	8.6	1.9	11.6	10.4
必要な物資を入手できるか	54.8	47.9	50.1	65.1	53.8	50.7	43.3
避難場所が必要な医療、介護などのケアが受けられるか	37.1	31.7	41.0	36.4	38.5	23.2	38.8
避難場所が高齢者・障がいのある方に配慮されているか	28.1	26.3	33.0	20.6	34.6	24.6	41.8
避難場所ですぐ自分のけがや病気の状態が悪くならないか	23.8	22.8	26.9	21.9	19.2	18.8	22.4
その他	7.3	4.2	7.2	8.8	5.8	5.8	10.4
特に不安はない	13.1	15.6	11.9	11.3	17.3	24.6	16.4
無回答	4.2	3.6	5.9	2.0	3.8	4.3	7.5

問 36 災害時のために普段備えていること

災害時の備えとして、普段どのようなことをしていますか。（複数回答）

◇「携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している」が 61.1%

- ・災害時の備えとして、普段どのようなことをしているかについては、「携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している」が 61.1% で最も多く、次いで「食料や飲料水を準備している」が 47.4% となっています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 30～40 歳代で「携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している」「貴重品をいつでも持ち出せるよう準備している」の割合が全体と比べ低くなっています。一方で、女性では 60 歳代の「携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している」、40 歳代の「食料や飲料水を準備している」「携帯電話などに送られる防災情報の配信登録をしている」、70 歳以上の「常備薬、入れ歯、補聴器など無いと困るものを準備している」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している	61.1	30.0	50.0	49.3	60.8	70.1	67.8	30.4	55.6	61.1	58.5	74.8	62.9
食料や飲料水を準備している	47.4	43.3	52.5	44.9	53.2	52.1	41.6	26.1	44.4	60.0	50.9	53.0	44.5
常備薬、入れ歯、補聴器など無いと困るものを準備している	16.3	6.7	10.0	7.2	15.2	13.7	18.2	4.3	19.0	12.2	10.4	13.0	26.6
着替えや靴などをいつでも持ち出せるよう準備している	9.8	10.0	2.5	2.9	6.3	11.1	12.1	4.3	9.5	6.7	4.7	11.3	14.8
貴重品をいつでも持ち出せるよう準備している	20.3	16.7	7.5	8.7	21.5	19.7	27.6	8.7	25.4	14.4	13.2	13.0	28.5
避難する場所を決めている	21.2	16.7	15.0	17.4	20.3	16.2	25.2	23.9	22.2	24.4	14.2	24.3	23.8
家具の転倒防止をしている	21.1	10.0	7.5	18.8	20.3	19.7	22.4	10.9	25.4	17.8	23.6	27.0	22.3
自宅の耐震補強工事をしている	6.2	3.3	7.5	5.8	3.8	4.3	6.5	4.3	12.7	12.2	2.8	3.5	7.4
地震被害想定図や津波・洪水などのハザードマップを確認している	22.2	20.0	22.5	21.7	19.0	22.2	22.4	13.0	23.8	27.8	22.6	19.1	23.0
携帯電話などに送られる防災情報の配信登録をしている	25.4	30.0	15.0	21.7	31.6	29.1	22.9	4.3	30.2	37.8	34.0	29.6	19.5
その他	1.4	0	0	0	2.5	0.9	0.9	2.2	1.6	1.1	0.9	3.5	2.0
特に何もしていない	15.2	30.0	20.0	17.4	15.2	11.1	16.8	32.6	11.1	13.3	17.0	7.8	14.5
無回答	3.0	0	2.5	0	2.5	0.9	4.2	0	0	0	0	1.7	7.4

- ・同居家族別にみると、「携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している」の割合が”夫婦二人の世帯”では全体と比べ高くなっている一方で、”一人親と子どもの世帯（父子、母子）”では全体と比べ低くなっています。

回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世代世帯 (夫婦と子)	三世代世帯 (親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している	61.1	52.1	71.1	55.5	65.4	49.3	56.7
食料や飲料水を準備している	47.4	33.5	52.7	49.9	48.1	34.8	40.3
常備薬、入れ歯、補聴器など無いと困るものを準備している	16.3	12.6	20.0	12.5	15.4	15.9	26.9
着替えや靴などをいつでも持ち出せるよう準備している	9.8	10.8	11.5	7.6	9.6	7.2	14.9
貴重品をいつでも持ち出せるよう準備している	20.3	21.6	23.4	16.0	19.2	14.5	26.9
避難する場所を決めている	21.2	17.4	23.2	20.1	23.1	21.7	22.4
家具の転倒防止をしている	21.1	12.6	24.1	20.9	19.2	21.7	20.9
自宅の耐震補強工事をしている	6.2	4.2	6.3	8.1	7.7	1.4	4.5
地震被害想定図や津波・洪水などのハザードマップを確認している	22.2	13.8	24.9	24.6	17.3	15.9	19.4
携帯電話などに送られる防災情報の配信登録をしている	25.4	21.6	25.4	26.8	23.1	27.5	31.3
その他	1.4	1.2	1.3	2.0	3.8	0	0
特に何もしていない	15.2	21.6	10.8	16.7	15.4	20.3	17.9
無回答	3.0	3.6	3.5	1.7	1.9	0	6.0

2.7 成年後見制度について

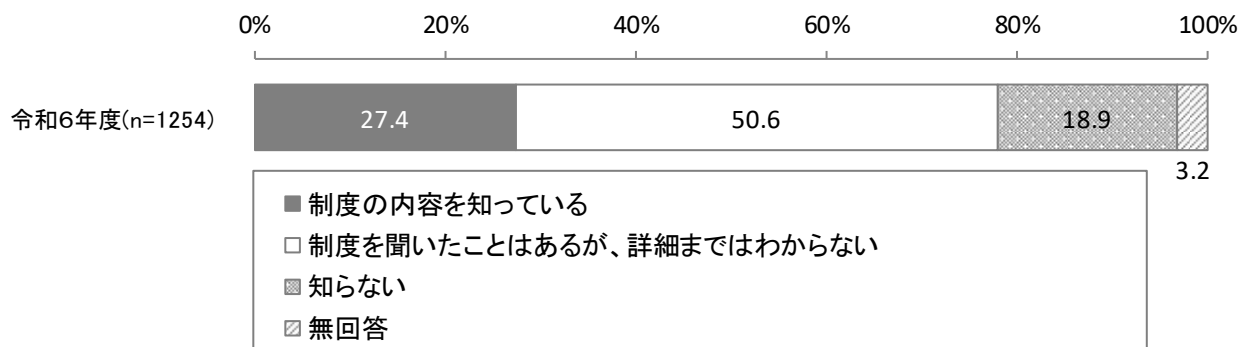
成年後見制度について

問 37 成年後見制度の認知度

民法の制度として、「成年後見制度」があることを、知っていますか。（単数回答）

◇ 「制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない」が 50.6%

- ・「成年後見制度」の認知度については、「制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない」が 50.6%と 5 割を超えており、「制度の内容を知っている」が 27.4%、「知らない」が 18.9%となっています。
 - ・男女年齢別にみると、男性では 30 歳代で「制度の内容を知っている」の割合が全体と比べ高くなっている一方で、40 歳代以下で「知らない」の割合も全体と比べ高くなっています。
- 女性では、40 歳代で「制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない」の割合が全体と比べ高くなっている一方で、29 歳以下で「知らない」の割合が全体と比べ高くなっています。
- ・同居家族別にみると、「三世代世帯（親と子と孫）」では、「制度の内容を知っている」の割合が全体と比べ高くなっていると同時に、「制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない」の割合が全体と比べ低くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合 (%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
制度の内容を知っている	27.4	20.0	37.5	24.6	30.4	24.8	25.2	15.2	25.4	23.3	28.3	36.5	28.9
制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない	50.6	43.3	27.5	44.9	48.1	56.4	59.8	32.6	49.2	62.2	57.5	49.6	45.7
知らない	18.9	36.7	32.5	30.4	20.3	17.1	10.3	52.2	25.4	14.4	14.2	13.0	16.8
無回答	3.2	0	2.5	0	1.3	1.7	4.7	0	0	0	0	0.9	8.6

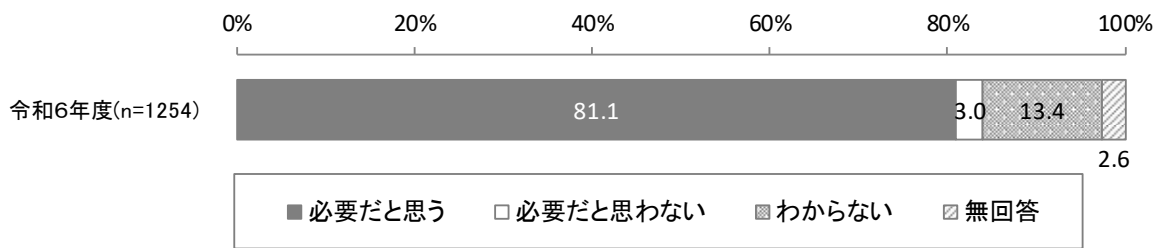
回答者数(人):実数 以下割合 (%)	全体	家族構成					
		一人暮らし	夫婦二人の世帯	二世代世帯(夫婦と子)	三世代世帯(親と子と孫)	一人親と子どもの世帯(父子、母子)	その他
回答者数(人)	1254	167	461	407	52	69	67
制度の内容を知っている	27.4	22.2	29.3	25.6	46.2	24.6	26.9
制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない	50.6	55.1	52.7	48.6	38.5	58.0	40.3
知らない	18.9	18.6	14.5	23.8	13.5	15.9	23.9
無回答	3.2	4.2	3.5	2.0	1.9	1.4	9.0

問 38 判断能力が十分でない人のために本人の権利を守る制度の必要性の有無

判断する能力が十分ではない方が、財産（不動産や預貯金など）の管理や、介護・福祉などサービスの利用手続きが難しい場合に、本人の権利を守る制度が必要だと思いますか。（単数回答）

◇本人の権利を守る制度が「必要だと思う」が 81.1%

- ・判断する能力が十分ではない方が、財産（不動産や預貯金など）の管理や、介護・福祉などサービスの利用手続きが難しい場合に、本人の権利を守る制度が必要だと思うかについては、「必要だと思う」が 81.1%、「必要だと思わない」が 3.0%、「わからない」が 13.4%となっています。



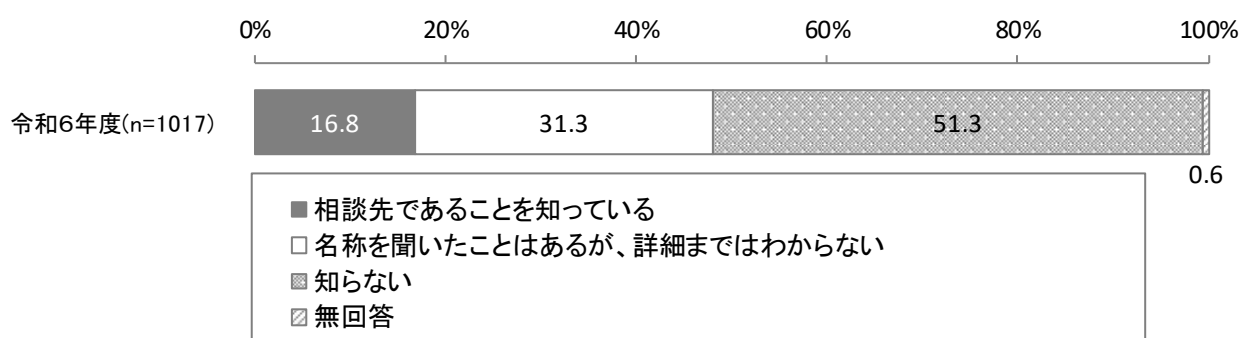
回答者数(人):実数 以下割合 (%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
必要だと思う	81.1	66.7	80.0	79.7	88.6	86.3	85.0	71.7	79.4	84.4	89.6	80.9	75.4
必要だと思わない	3.0	6.7	12.5	1.4	2.5	1.7	2.3	6.5	4.8	3.3	0.9	2.6	2.0
わからない	13.4	26.7	5.0	18.8	7.6	12.0	8.4	21.7	15.9	12.2	9.4	15.7	16.0
無回答	2.6	0	2.5	0	1.3	0	4.2	0	0	0	0	0.9	6.6

問 39 江別市成年後見支援センターの認知度

江別市には、高齢者や障がいのある方とその家族が、成年後見制度や財産の管理、将来に不安を感じた場合の相談先として、江別社会福祉協議会に「江別市成年後見支援センター」があることを、知っていますか。（単数回答）

◇江別市成年後見支援センターを「知らない」が51.3%

- ・「江別市成年後見支援センター」があることを知っているかについては、「相談先であることを知っている」が16.8%、「名称を聞いたことはあるが、詳細まではわからない」が31.3%、「知らない」が51.3%となっています。
- ・男女年齢別にみると、男性は50歳代以下、女性は40歳代以下で「知らない」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢													
		男性							女性						
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
回答者数(人)	1017	20	32	55	70	101	182		33	50	76	95	93	193	
相談先であることを知っている	16.8	5.0	18.8	14.5	11.4	15.8	22.0	6.1	10.0	10.5	14.7	23.7	19.7		
名称を聞いたことはあるが、詳細まではわからない	31.3	15.0	18.8	14.5	27.1	30.7	45.1	6.1	20.0	26.3	27.4	31.2	40.9		
知らない	51.3	75.0	62.5	70.9	61.4	53.5	33.0	87.9	70.0	61.8	57.9	45.2	37.8		
無回答	0.6	5.0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0	0	1.6		

2.8 再犯防止について

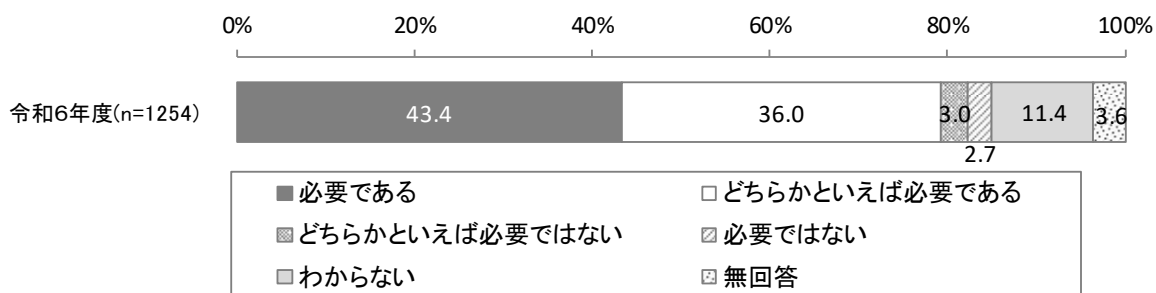
再犯防止について

問 40 過去に罪を犯した人の立ち直り支援について

あなたは、過去に罪を犯した人の立ち直り支援について、どのように思いますか。（単数回答）

◇ 立ち直り支援は「必要である」が 43.4%

- ・過去に罪を犯した人の立ち直り支援については、「必要である」が 43.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」が 36.0%となっており、「必要である」「どちらかといえば必要である」を合わせた「必要（合計）」は 79.4%となっています。
- ・男女年齢別にみると、女性では 29 歳以下の「必要である」の割合が全体と比べ高くなっています。



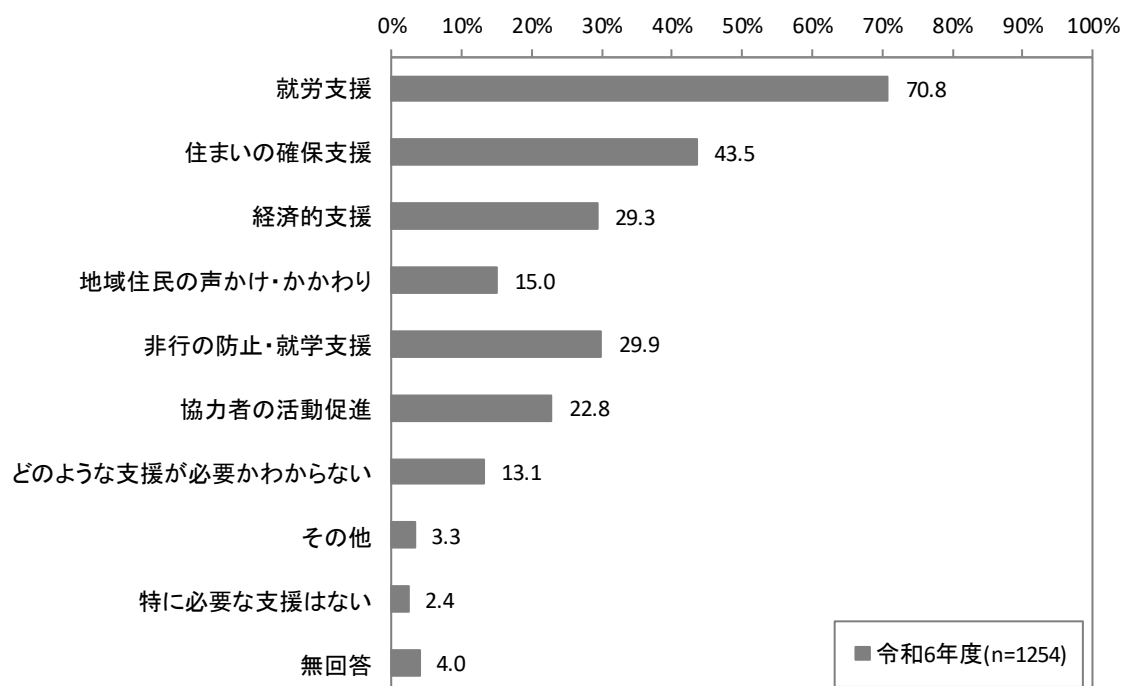
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
必要である	43.4	53.3	45.0	39.1	35.4	37.6	45.8	56.5	46.0	43.3	38.7	52.2	42.2
どちらかといえば必要である	36.0	26.7	27.5	34.8	40.5	41.9	36.0	19.6	44.4	44.4	41.5	28.7	33.6
どちらかといえば必要ではない	3.0	0	2.5	4.3	7.6	4.3	0.9	6.5	3.2	1.1	6.6	2.6	1.2
必要ではない	2.7	10.0	10.0	7.2	6.3	2.6	0.5	8.7	4.8	2.2	0.9	0	0.4
わからない	11.4	10.0	15.0	13.0	8.9	12.8	10.3	8.7	1.6	6.7	11.3	14.8	14.5
無回答	3.6	0	0	1.4	1.3	0.9	6.5	0	0	2.2	0.9	1.7	8.2

問 41 罪を犯した人が地域で生活する場合に必要な支援

あなたは、罪を犯した人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思いますか。（複数回答）

◇罪を犯した人が生活に必要な支援は「就労支援」が70.8%

- ・罪を犯した人が更生して地域で生活する場合に必要な支援については、「就労支援」が70.8%で最も多く、次いで「住まいの確保支援」が43.5%となっています。
- ・男女年齢別でみると、男性では、60歳代で「就労支援」の割合が全体と比べ高くなっています。女性では、60歳代で「就労支援」「住まいの確保支援」、70歳以上で「経済的支援」、40歳代以下で「非行の防止・就学支援」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢													
		男性							女性						
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上		
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256		
就労支援	70.8	66.7	70.0	71.0	73.4	82.1	69.2	63.0	71.4	67.8	71.7	80.9	65.6		
住まいの確保支援	43.5	33.3	35.0	36.2	38.0	50.4	40.7	41.3	46.0	35.6	42.5	55.7	48.8		
経済的支援	29.3	6.7	10.0	21.7	21.5	31.6	33.2	23.9	28.6	26.7	22.6	33.9	39.8		
地域住民の声かけ・かかわり	15.0	10.0	12.5	14.5	11.4	13.7	18.7	13.0	7.9	8.9	12.3	13.0	20.7		
非行の防止・就学支援	29.9	30.0	37.5	39.1	29.1	27.4	18.7	47.8	57.1	40.0	34.9	28.7	23.8		
協力者の活動促進	22.8	20.0	10.0	17.4	20.3	27.4	26.2	6.5	20.6	18.9	23.6	28.7	24.2		
どのような支援が必要かわからない	13.1	6.7	7.5	8.7	8.9	7.7	14.0	13.0	14.3	16.7	18.9	9.6	15.6		
その他	3.3	10.0	12.5	5.8	6.3	0.9	3.3	0	0	5.6	2.8	4.3	1.6		
特に必要な支援はない	2.4	10.0	7.5	5.8	6.3	0.9	0.9	6.5	3.2	2.2	2.8	0.9	0.4		
無回答	4.0	3.3	0	2.9	1.3	1.7	5.6	0	0	0	0	4.3	9.4		

2.9 福祉行政について

福祉行政について

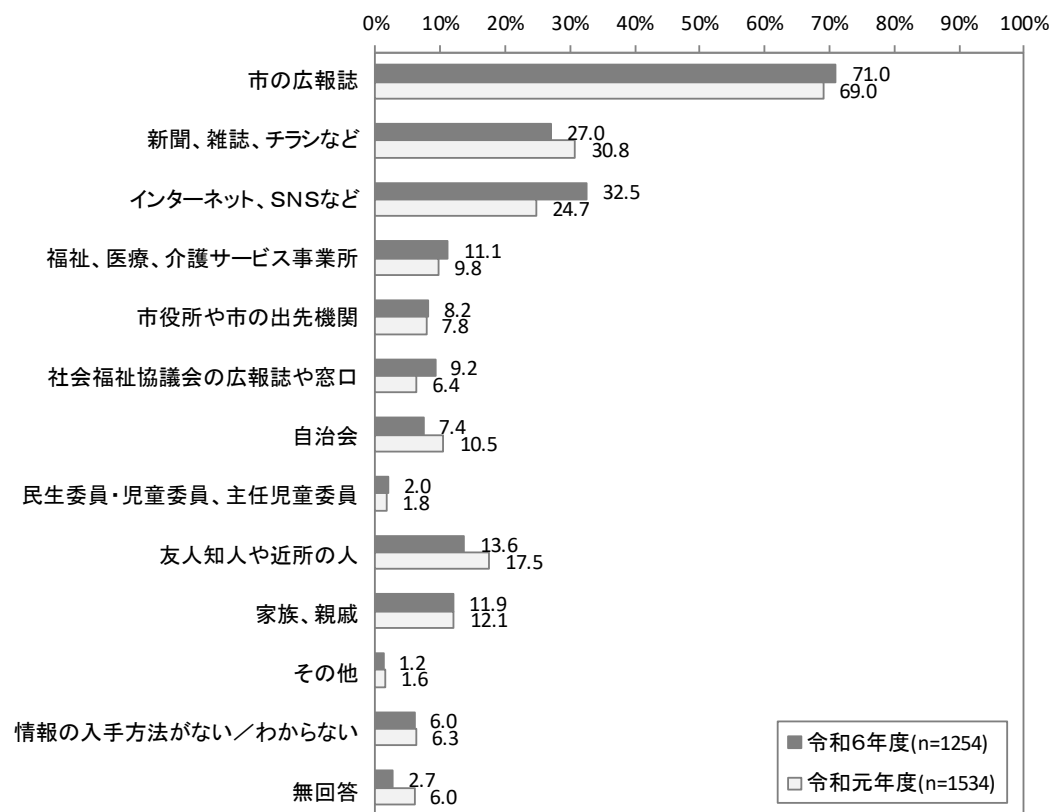
問 42 福祉全般に係るサービスなどの情報の入手方法

あなたは福祉全般に係るサービスなどの情報をどのような方法で入手していますか。(複数回答)

◇ 「市の広報誌」が 71.0%

- ・福祉全般に係るサービスなどの情報をどのような方法で入手しているかについては、「市の広報誌」が 71.0%で最も多く、次いで「インターネット、SNS など」が 32.5%となっています。
- ・男女年齢別にみると、男女ともに 50 歳代以下で「インターネット、SNS など」の割合が全体と比べ高くなっています。

また、男女ともに 29 歳以下では「情報の入手方法がない／わからない」の割合が全体と比べ高くなっています。



※前回の調査では「情報の入手方法がない」と「わからない」という選択肢が別々にしていた為、今回合算して比較しています。

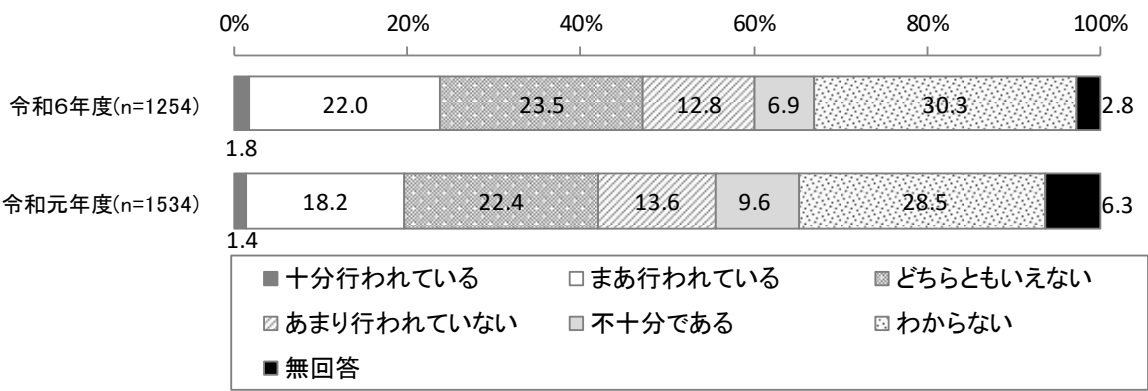
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上	29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
市の広報誌	71.0	20.0	55.0	63.8	67.1	75.2	87.9	34.8	54.0	74.4	61.3	78.3	77.7
新聞、雑誌、チラシなど	27.0	20.0	17.5	13.0	20.3	32.5	36.4	15.2	17.5	18.9	21.7	25.2	34.4
インターネット、SNSなど	32.5	63.3	50.0	47.8	48.1	40.2	17.8	43.5	66.7	51.1	42.5	31.3	5.9
福祉、医療、介護サービス事業所	11.1	0	5.0	5.8	3.8	10.3	7.9	6.5	9.5	11.1	11.3	17.4	18.0
市役所や市の出先機関	8.2	6.7	2.5	4.3	7.6	6.8	11.7	4.3	4.8	7.8	10.4	6.1	10.5
社会福祉協議会の広報誌や窓口	9.2	3.3	2.5	1.4	3.8	9.4	22.0	4.3	4.8	2.2	4.7	11.3	9.0
自治会	7.4	0	0	7.2	5.1	5.1	15.4	0	7.9	4.4	5.7	1.7	10.5
民生委員・児童委員、主任児童委員	2.0	0	0	0	0	1.7	7.0	0	0	0	0	0.9	2.7
友人知人や近所の人	13.6	10.0	10.0	8.7	7.6	6.8	12.6	8.7	11.1	11.1	10.4	23.5	20.7
家族、親戚	11.9	23.3	10.0	7.2	8.9	11.1	8.9	21.7	15.9	10.0	7.5	12.2	14.8
その他	1.2	3.3	2.5	0	0	0	0.9	0	1.6	0	2.8	0	2.7
情報の入手方法がない/わからない	6.0	23.3	15.0	14.5	8.9	5.1	0.9	23.9	11.1	5.6	7.5	0	2.0
無回答	2.7	3.3	0	1.4	1.3	0.9	4.7	0	0	0	0	3.5	5.9

問 43 まちぐるみの福祉活動に関する評価

あなたは、江別市では、市と住民（自治会、関係団体、機関、企業を含む）が一体となり、協力してまちぐるみの福祉活動が行われていると思いますか。（単数回答）

◇ 「わからない」が30.3%

- ・まちぐるみの福祉活動に関する評価については、「わからない」が30.3%と最も多くなっています。「行われている」（「十分行われている」、「まあ行われている」の合計）の回答は2割強となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「行われている」（「十分行われている」、「まあ行われている」の合計）は、4.2ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男性の29歳以下、女性の30歳代以下で「わからない」の割合が全体と比べ高くなっています。



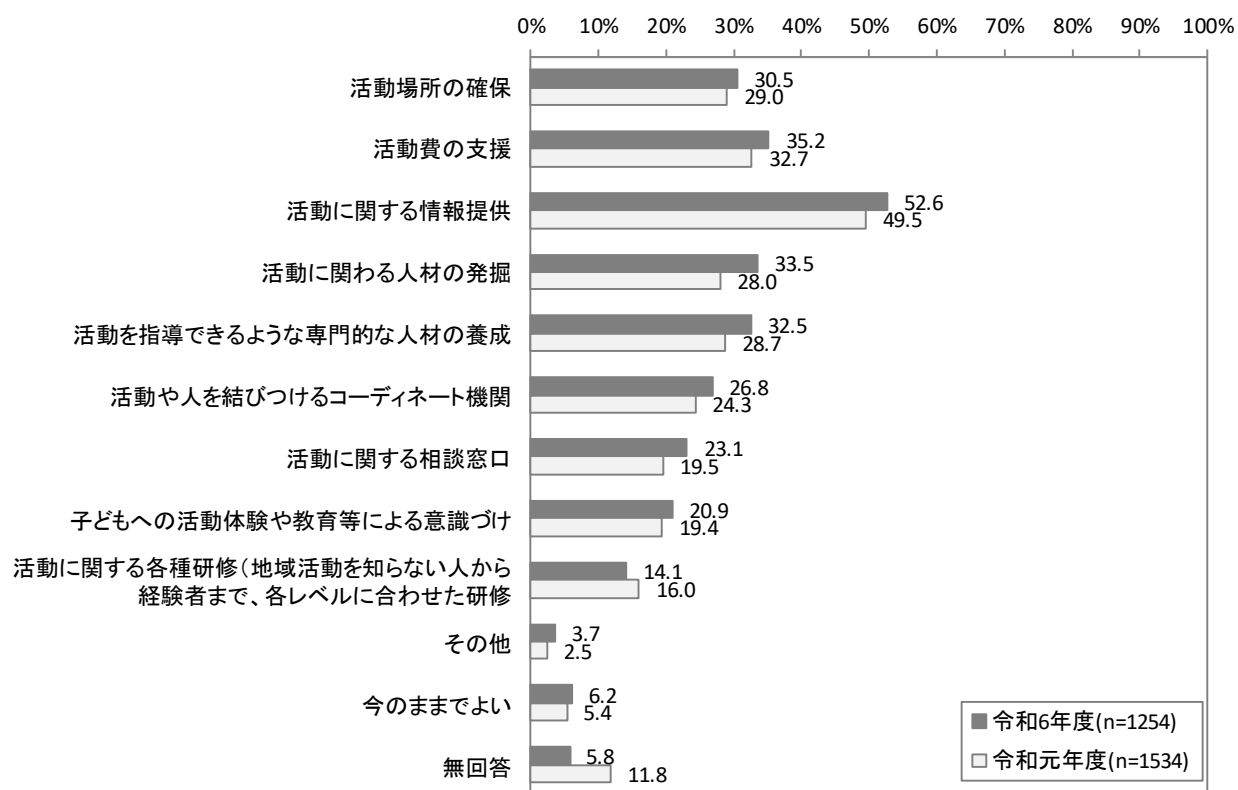
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
十分行われている	1.8	3.3	7.5	0	0	0.9	1.9	2.2	0	1.1	0.9	0	3.5
まあ行われている	22.0	13.3	12.5	23.2	21.5	28.2	29.4	15.2	12.7	26.7	17.9	20.0	20.7
どちらともいえない	23.5	13.3	27.5	21.7	26.6	22.2	22.4	26.1	23.8	21.1	23.6	25.2	25.8
あまり行われていない	12.8	3.3	5.0	14.5	11.4	12.0	19.2	4.3	17.5	15.6	13.2	13.0	9.0
不十分である	6.9	0	12.5	7.2	11.4	6.0	6.1	6.5	4.8	6.7	6.6	4.3	7.4
わからない	30.3	63.3	35.0	31.9	27.8	29.1	16.4	43.5	41.3	28.9	37.7	34.8	28.1
無回答	2.8	3.3	0	1.4	1.3	1.7	4.7	2.2	0	0	0	2.6	5.5

問 44 地域活動を活発にするために力を入れるべきと思うこと

今後、地域共生社会を目指していくうえで、地域活動を活性化するために力を入れるべきことは何だと思いますか。（複数回答）

◇「活動に関する情報提供」が 52.6%

- ・地域活動を活発にするために力を入れるべきと思うことについては、「活動に関する情報提供」が 52.6%で最も多く、次いで「活動費の支援」が 35.2%となっています。
- ・男女年齢別にみると、男性では、50～60 歳代で「活動を指導できるような専門的な人材の養成」、女性では、40 歳代以下で「子どもへの活動体験や教育等による意識づけ」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
活動場所の確保	30.5	30.0	22.5	27.5	32.9	40.2	37.9	34.8	20.6	25.6	17.0	28.7	32.0
活動費の支援	35.2	26.7	30.0	27.5	40.5	47.0	42.5	28.3	36.5	28.9	28.3	39.1	31.3
活動に関する情報提供	52.6	50.0	42.5	50.7	54.4	57.3	54.2	50.0	61.9	55.6	59.4	55.7	46.9
活動に関わる人材の発掘	33.5	26.7	37.5	24.6	40.5	42.7	37.9	23.9	30.2	30.0	27.4	34.8	32.0
活動を指導できるような専門的な人材の養成	32.5	10.0	32.5	20.3	45.6	42.7	37.9	19.6	31.7	27.8	27.4	34.8	31.6
活動や人を結びつけるコーディネート機関	26.8	20.0	22.5	27.5	43.0	27.4	22.4	21.7	28.6	35.6	39.6	29.6	17.6
活動に関する相談窓口	23.1	23.3	20.0	15.9	32.9	24.8	27.1	28.3	19.0	23.3	16.0	23.5	21.9
子どもへの活動体験や教育等による意識づけ	20.9	23.3	42.5	20.3	20.3	24.8	13.6	41.3	44.4	34.4	16.0	16.5	11.3
活動に関する各種研修 (地域活動を知らない人から経験者まで、各レベルに合わせた研修)	14.1	3.3	12.5	7.2	17.7	13.7	20.1	15.2	12.7	15.6	16.0	10.4	11.3
その他	3.7	10.0	2.5	4.3	2.5	0.9	2.3	8.7	4.8	4.4	6.6	3.5	2.7
今のままでよい	6.2	10.0	17.5	13.0	7.6	6.0	1.4	15.2	3.2	5.6	5.7	2.6	7.4
無回答	5.8	3.3	0	1.4	2.5	0.9	7.9	0	0	0	1.9	6.1	15.6

・支援活動に”参加したことがなく、今後も参加するつもりはない”人では、「活動場所の確保」「活動費の支援」「活動に関する情報提供」「活動に関わる人材の発掘」の割合が全体と比べ低くなっています。

※”現在参加している／参加したことがある”人は、問 21 で(地域活動やボランティア活動などの支援活動に)「現在参加している／参加したことがある」と回答した人を意味しています。”参加したことがないが、機会があれば参加したい”人も同様です。

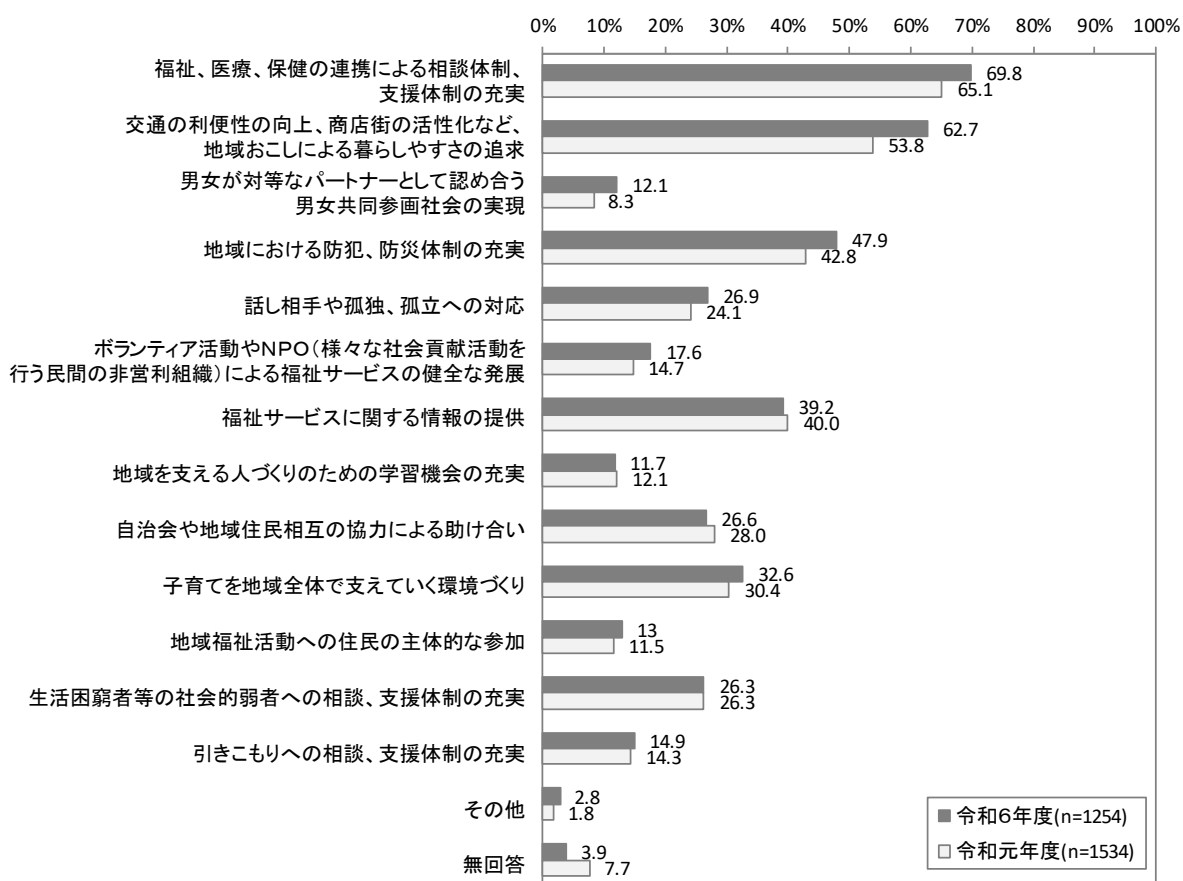
回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	支援活動の参加の有無		
		現在参加している／ 参加したことがある	参加したことがないが、 機会があれば参加したい	参加したことがなく、 今後も参加するつもりはない
回答者数(人)	1254	454	298	488
活動場所の確保	30.5	38.1	34.2	21.9
活動費の支援	35.2	43.2	36.2	28.1
活動に関する情報提供	52.6	57.9	58.4	45.3
活動に関わる人材の発掘	33.5	41.9	35.9	25.0
活動を指導できるような専門的な人材の養成	32.5	33.3	33.9	31.6
活動や人を結びつけるコーディネート機関	26.8	29.5	29.5	22.7
活動に関する相談窓口	23.1	25.3	23.5	21.3
子どもへの活動体験や教育等による意識づけ	20.9	21.8	25.5	17.6
活動に関する各種研修 (地域活動を知らない人から経験者まで、各レベルに合わせた研修)	14.1	18.9	14.4	9.8
その他	3.7	3.7	3.4	3.7
今のままでよい	6.2	3.5	3.0	10.9
無回答	5.8	4.8	3.7	6.4

問 45 住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために大切なこと
住み慣れた地域で、安心して暮らしていくには何が大切だと思いますか。
(複数回答)

◇「福祉、医療、保健の連携による相談体制、支援体制の充実」が 69.8%

- ・住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために大切なことについては、「福祉、医療、保健の連携による相談体制、支援体制の充実」が 69.8% で最も多く、次いで「交通の利便性の向上、商店街の活性化など、地域おこしによる暮らしやすさの追求」が 62.7% となっています。
- ・令和元年度調査と比較すると、「交通の利便性の向上、商店街の活性化など、地域おこしによる暮らしやすさの追求」が 8.9 ポイント増加しています。
- ・男女年齢別にみると、男性では 50 歳代で「地域における防犯、防災体制の充実」、女性では 60 歳代で「福祉、医療、保健の連携による相談体制、支援体制の充実」の割合が全体と比べ高くなっています。

また、男性 30～40 歳代、女性 30 歳以下で「子育てを地域全体で支えていく環境づくり」の割合が全体と比べ高くなっています。



回答者数(人):実数 以下割合(%)	全体	性別/年齢											
		男性						女性					
		29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上	29歳 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳 以上
回答者数(人)	1254	30	40	69	79	117	214	46	63	90	106	115	256
福祉、医療、保健の連携による 相談体制、支援体制の充実	69.8	56.7	75.0	58.0	68.4	76.1	69.6	69.6	66.7	72.2	79.2	80.9	62.5
交通の利便性の向上、商店街の活性化など、 地域おこしによる暮らしやすさの追求	62.7	43.3	67.5	68.1	72.2	70.9	54.7	67.4	69.8	60.0	65.1	65.2	59.0
男女が対等なパートナーとして認め合う 男女共同参画社会の実現	12.1	10.0	17.5	13.0	7.6	12.8	9.3	26.1	25.4	20.0	8.5	13.0	6.6
地域における防犯、防災体制の充実	47.9	40.0	47.5	53.6	58.2	53.8	46.3	54.3	65.1	56.7	49.1	42.6	37.5
話し相手や孤独、孤立への対応	26.9	26.7	17.5	23.2	22.8	28.2	26.2	30.4	30.2	30.0	24.5	31.3	27.3
ボランティア活動やNPO(様々な社会貢献 活動を行う民間の非営利組織)による 福祉サービスの健全な発展	17.6	13.3	7.5	17.4	16.5	19.7	19.2	23.9	23.8	14.4	12.3	19.1	17.6
福祉サービスに関する情報の提供	39.2	30.0	27.5	21.7	35.4	37.6	38.3	30.4	38.1	42.2	46.2	49.6	43.0
地域を支える人づくりのための学習機会の充実	11.7	13.3	12.5	15.9	12.7	16.2	10.7	17.4	14.3	15.6	6.6	12.2	7.0
自治会や地域住民相互の協力による助け合い	26.6	6.7	15.0	21.7	21.5	27.4	37.9	23.9	20.6	14.4	17.0	27.8	33.2
子育てを地域全体で支えていく環境づくり	32.6	30.0	47.5	43.5	27.8	32.5	23.8	58.7	73.0	41.1	28.3	33.9	20.3
地域福祉活動への住民の主体的な参加	13.0	6.7	10.0	10.1	21.5	16.2	15.9	23.9	15.9	12.2	8.5	10.4	9.0
生活困窮者等の社会的弱者への相談、 支援体制の充実	26.3	30.0	15.0	18.8	22.8	24.8	29.4	34.8	25.4	28.9	30.2	23.5	25.8
引きこもりへの相談、支援体制の充実	14.9	13.3	15.0	10.1	8.9	16.2	16.4	19.6	22.2	18.9	14.2	15.7	12.5
その他	2.8	10.0	5.0	8.7	1.3	0.9	2.3	2.2	3.2	5.6	1.9	1.7	1.2
無回答	3.9	0	2.5	2.9	1.3	1.7	5.6	2.2	0	1.1	0.9	2.6	9.4

3 地域福祉に関する意見・要望

※一つのコメントに複数の項目の内容が記載されている場合は、各項目に含めて件数を出しています。

(1) 医療・介護・福祉に関すること		
①子育て支援全般に関すること	48	件
②医療に関すること	12	件
③高齢者福祉・障がい者福祉に関すること	92	件
④日常生活への不安に関すること	4	件
⑤その他	6	件
(2) 生活環境に関すること		
①交通安全に関すること	2	件
②公共交通等に関すること	23	件
③道路に関すること	7	件
④公園に関すること	5	件
⑤防犯・望遠に関すること	1	件
⑥除雪に関すること	19	件
⑦マナーに関すること	1	件
⑧駅、駅前に関すること	4	件
⑨住まいに関すること	1	件
⑩その他	12	件
(3) コミュニティに関すること		
①自治会に関すること	4	件
②ボランティア活動に関すること	3	件
③近所付き合いに関すること	14	件
④地域交流等の促進に関すること	8	件
⑤その他	4	件
(4) 広報・情報発信に関すること		21 件
(5) 人材育成や住民の意識に関すること		
①人材育成に関すること	9	件
②住民の意識に関すること	8	件
(6) 全般・要望、意見等		
①行政に対する要望等	25	件
②調査方法等に対する要望	4	件
③まちづくりに関する提案・要望	16	件
④その他	24	件

調査票

第5期江別市地域福祉計画策定のためのアンケート調査 ご協力のお願い

日頃から江別市の市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

江別市では、市民のみなさまの福祉活動やお住まいの地域での近隣活動の基本的な指針となる「第5期江別市地域福祉計画」（計画期間：令和7年度～令和15年度）の策定を進めています。

第4期江別市地域福祉計画は、令和2年に策定されましたが、本年度で計画期間が終了することに加え、地域福祉を取り巻く環境も大きく変化していることから、見直し作業を行うことといたしました。

このアンケート調査は、計画策定にあたり、「江別市自治基本条例」の理念に基づき、江別市の福祉行政に対する多くの市民の意見を反映させる上から、地域での福祉活動の状況や住民同士のつながりに対する考え方などを把握するために実施するものです。

つきましては、ご多忙中、大変恐縮ではございますが、調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年 7月 江別市

ご記入にあたってのお願いと留意事項

- ・ このアンケート調査は、令和6年6月1日現在で江別市内に在住する18歳以上の方を対象として、無作為に抽出した3,000人の方をお願いしています。
- ・ この調査票は、原則として**宛名のご本人**が記入されるようお願いいたします。ただし、宛名の方が記入できない場合は、他の方が記入していただいてもかまいませんが、**宛名の方の立場**になって記入されるようお願いいたします。
- ・ この調査は**無記名**です。お名前を記入する必要はありませんので、率直なご意見をお聞かせください。
- ・ アンケート調査の結果は統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。

令和6年8月2日（金）までにご回答をお願い致します。

回答方法

①WEB（インターネット）か ②調査票（この冊子）のどちらかの方法で回答してください。

もし、両方に回答された場合は、①WEBの回答を優先いたします。

①WEB（インターネット）回答

下記URLまたは二次元バーコードよりアクセスし、ログインをして回答してください。

※アンケート途中で一時保存も可能です。

URL：<https://src2.webcas.net/form/pub/src2/ebetsu05>

ID: パスワード:



②調査票（この冊子）による回答・WEB回答された場合、この調査票への記入及び返送は不要です。

- ・ 問いに従って調査票に直接回答をご記入ください。
- ・ 記入の終わった調査票は同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、郵便ポストへご投函ください。

【本調査に関する質問や問い合わせ先】

江別市役所 健康福祉部 管理課地域福祉担当

電話 011-381-1090（直通）・ファックス 011-381-1070

電子メール fukushi-kanri@city.ebetsu.lg.jp

あなた自身について

問1 あなたの性別、年齢をお答えください。

(1) 性別	1 男性	2 女性	3 答えたくない
(2) 年齢	満()歳 [令和6年6月1日現在の年齢]		

問2 あなたの就業状態、職業をお答えください。(○は1つ)

1 自営業	7 学生
2 正社員	8 その他
3 契約社員	[]
4 パート、アルバイト	
5 公務員	9 無職(年金生活)
6 家事専業(主婦・主夫を含む)	10 無職(求職活動中)
	11 無職(求職活動していない)

問3 あなたと一緒に暮らしているご家族(世帯)の構成についてお答えください。(○は1つ)

1 一人暮らし	4 三世帯世帯(親と子と孫)
2 夫婦二人の世帯	5 一人親と子どもの世帯(父子、母子)
3 二世帯世帯(夫婦と子)	6 その他()

問4 あなたの世帯人数をご記入ください。

あなたを含めて()人

問5 あなたのお住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

1 江別地区	3 大麻地区
2 野幌地区	4 その他()

問6 問5で記載された住所での居住年数をお答えください。(○は1つ)

1 1年未満	2 1年以上5年未満	3 5年以上10年未満
4 10年以上20年未満	5 20年以上	6 わからない

問7 あなた(あなたのご家族)のお住まいについてお答えください。(○は1つ)

1 持ち家(一戸建て)	5 公営住宅など (市営、道営、UR都市機構住宅※、雇用促進住宅)
2 持ち家(マンション)	6 社宅、公務員住宅
3 民間借家(一戸建て)	7 寮、寄宿舎、下宿
4 民間借家(マンション、アパート)	8 その他
	[]

※UR都市機構とは旧日本住宅公団のこと

問8 世帯の家計状況についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1 現在の収入で生活することはできている | ・・・【問10へ】 |
| 2 現在の収入で生活することは困難であるため、相談・支援等を利用している | ・・・【問9へ】 |
| 3 現在の収入で生活することは困難なので、相談・支援制度があれば利用したい | ・・・【問9へ】 |
| 4 現在の収入で生活することは困難だが、相談・支援制度は利用したくない | ・・・【問9へ】 |

問9 問8で、「2～4（現在の収入で生活することは困難）」を選んだ方
収入が少ないことで、最も悪い影響を及ぼしていることは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 食生活の乱れ | 6 地域活動に参加できない |
| 2 住宅改修ができない | 7 通院できない |
| 3 趣味活動ができない | 8 福祉サービスを受けられない |
| 4 子どもの教育 | 9 その他 |
| 5 近所付き合いができない | |

問10 現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | | |
|------|-------|------|
| 1 良い | 2 ふつう | 3 悪い |
|------|-------|------|

問11 普段の外出の状況についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--|-----------|
| 1 仕事や学校で頻繁にまたは時々外出する | ・・・【問15へ】 |
| 2 普段は家にいるが、仕事や学校以外の用事で頻繁にまたは時々外出し、家族以外の人と会話することがある | ・・・【問15へ】 |
| 3 普段は家にいて、外出することもあるが、家族以外の人と会話することがほとんどない | ・・・【問12へ】 |
| 4 自室からは出るが、家からはほとんど出ない | ・・・【問12へ】 |
| 5 自室からほとんど出ない | ・・・【問12へ】 |

問12 問11で、「3～5」を選んだ方
現在の状態となってどれくらい経ちますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1 6ヶ月未満 | 2 6ヶ月～5年未満 | 3 5年以上 |
|---------|------------|--------|

問13 問11で、「3～5」を選んだ方
現在の状態について関係機関に相談したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------|-----------------|-------------|
| 1 思う | 2 思わない・・・【問14へ】 | 3 どちらともいえない |
|------|-----------------|-------------|

問14 問13で、「2」を選んだ方
相談したいと思わない理由は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 自分のことを知られたくない | 4 特に理由はない |
| 2 相談機関がわからない | 5 その他 |
| 3 相談しても解決できないと思う | |

近所付き合いについて

問15 あなたは日頃、近所の人とどのような付き合いをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 困っているとき、相談をしたり、助けあう | 5 その他 |
| 2 留守や外出のとき、声をかけあう | [] |
| 3 会えば立ち話をする程度 | |
| 4 会えばあいさつする程度 | |
| | 6 付き合いは、ほとんどない |

問16 あなたは、困っていたとき、近所付き合いで受けた手助けで感謝しているものはどれですか。(いくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 ゴミを出す | 10 声かけ、安否確認 |
| 2 買い物 | 11 子どもを預かる |
| 3 食事の提供 | 12 介護 |
| 4 話し相手 | 13 各種手続き(年金、保険など) |
| 5 医療、福祉施設の送迎 | 14 パソコン操作 |
| 6 散歩、外出 | 15 電球の付け替え |
| 7 家の掃除 | 16 その他 |
| 8 庭の管理、草むしり | [] |
| 9 除雪、雪下ろし | |
| | 17 とくにない |

問17 あなたは、近所に住んでいる高齢者や障がいのある方、子育て世帯の方などが困っているときに、手伝いをしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 自分から進んで手伝った | ・・・【問18へ】 |
| 2 頼まれて、手伝った | ・・・【問18へ】 |
| 3 手伝いをしたことはない | ・・・【問19へ】 |

問18 問17で、「1または2(手伝った)」を選んだ方
どのような手伝いをしたことがありましたか。(いくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 ゴミを出す | 9 除雪、雪下ろし |
| 2 買い物 | 10 声かけ、安否確認 |
| 3 食事の提供 | 11 子どもを預かる |
| 4 話し相手 | 12 介護 |
| 5 医療、福祉施設の送迎 | 13 各種手続き(年金、保険など) |
| 6 散歩、外出 | 14 パソコン操作 |
| 7 家の掃除 | 15 電球の付け替え |
| 8 庭の管理、草むしり | 16 その他 |
| | [] |

問19 問17で、「3（手伝いをしたことはない）」を選んだ方
手伝いをしたことがない、最も大きな理由はどれですか。（○は1つ）

- 1 時間がないから
- 2 気持ちにゆとりがないから
- 3 自分の体力や家族の健康状態からみて、余裕がないから
- 4 一緒に手助けする仲間がいないので
- 5 そのような機会がないので
- 6 有償ではないので
- 7 その他（ ）
- 8 そもそも、手伝いをしたいとは思わない

問20 すべての方にお聞きします
現在の近所付き合いに、満足していますか。（○は1つ）

- | | |
|------------|--------------|
| 1 満足している | 4 あまり満足していない |
| 2 まあ満足している | 5 満足していない |
| 3 ふつう | |

地域活動やボランティアについて

問21 あなたは、地域活動やボランティア活動などの支援活動に参加していますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1 現在参加している／参加したことがある | ・・・【問22へ】 |
| 2 参加したことがないが、機会があれば参加したい | ・・・【問24へ】 |
| 3 参加したことがなく、今後も参加するつもりはない | ・・・【問24へ】 |

問22 問21で、「1（現在参加している／参加したことがある）」を選んだ方
あなたはどのような団体で活動したことがありますか。（いくつでも）

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 町内会・自治会（部会を含む） | 7 スポーツ・文化団体 |
| 2 子ども会 | 8 PTA、社会教育団体 |
| 3 高齢者クラブ | 9 女性団体 |
| 4 防犯、交通安全団体 | 10 NPO※、市民活動団体 |
| 5 民生委員・児童委員・保護司など奉仕団体 | 11 その他 |
| 6 ボランティア団体 | 〔 〕 |

※NPOとは様々な社会貢献活動を行う民間の非営利組織

問23 問21で、「1（現在参加している／参加したことがある）」を選んだ方
あなたは、問22で選択した団体でどのような分野の活動に参加していたことがありますか。
（いくつでも）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1 高齢者支援 | 7 スポーツ、文化 |
| 2 障がい者（児）支援 | 8 子どもや青少年の健全育成 |
| 3 子育て支援 | 9 国際交流 |
| 4 まちづくり | 10 募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金、日赤など） |
| 5 自然や動物保護 | 11 その他 |
| 6 環境整備、リサイクル活動 | |

問24 問21で、「2または3（参加したことがない）」を選んだ方
活動に参加していない、最も大きな理由はどれですか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 仕事が忙しいから | 6 活動の内容に不満があるから |
| 2 自分の体力や健康に自信がないから | 7 自分の趣味を優先したいから |
| 3 家族の世手で余裕がないから | 8 地域活動に興味がないから |
| 4 活動に参加する機会がないから | 9 どこで活動をしているのかわからないから |
| 5 活動の内容がよくわからないから | 10 その他 |

問25 問21で、「2（参加したことがないが、機会があれば参加したい）」を選んだ方
あなたは、今後、活動に参加するとしたら、どのような分野の活動をしたいと思いますか。
（いくつでも）

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1 高齢者支援 | 7 スポーツ、文化 |
| 2 障がい者（児）支援 | 8 子どもや青少年の健全育成 |
| 3 子育て支援 | 9 国際交流 |
| 4 まちづくり | 10 募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金、日赤など） |
| 5 自然や動物保護 | 11 その他 |
| 6 環境整備、リサイクル活動 | |

日常生活での不安や悩みについて

問26 あなたの日常生活において、問題や不安なことはありますか。(いくつでも)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 自分や家族の身体的な健康に関する事 | 8 住まいに関する事 |
| 2 自分や家族の精神的な健康に関する事 | 9 人間関係に関する事 |
| 3 自分や家族の老後に関する事 | 10 災害時の備えに関する事 |
| 4 子育てに関する事 | 11 その他 |
| 5 介護に関する事 | [] |
| 6 仕事に関する事 | |
| 7 家計に関する事 | |
| | 12 とくに問題や不安はない |

問27 あなたは、日常生活の問題や不安なことについて、誰に相談しますか。(いくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1 同居している家族 | 13 福祉や介護サービス事業所の職員 |
| 2 別居している家族 | 14 学校、幼稚園の教諭、保育所の保育士 |
| 3 親戚 | 15 医師や保健師 |
| 4 近所の人 | 16 市議会議員 |
| 5 友人、知人 | 17 法律職 |
| 6 職場の人 | (行政書士、司法書士、弁護士など) |
| 7 自治会の役員 | 18 どこに相談したらいいかわからない／相談できる相手がいない |
| 8 民生委員・児童委員、主任児童委員 | 19 その他 |
| 9 保護司 | [] |
| 10 人権擁護委員 | |
| 11 市役所などの相談窓口
(地域包括支援センター※を含む) | |
| 12 社会福祉協議会 | 20 誰にも相談したくない |

※地域包括支援センターとは、地域において虐待防止、介護予防などの高齢者の総合的な支援を担う相談窓口

地域での生活について

問28 下のa～vの各項目について、誰が中心となって取り組むことが必要だと思いますか。

1（行政）～5（住民）で、そう思う段階に一つずつ○をつけてください。

項 目		1 行政	2 どちらかといえ ば行政	3 どちらとも 言えない	4 どちらかといえ ば住民	5 住民
(例)		1	— 2 —	3	— 4 —	5
高齢者 障がい者の 支援	a 在宅での介護サービス	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	b 日常生活の支援（食事の世話、買い物、ゴミ出しなど）	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	c 家の玄関から公道までの除雪	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	d 声かけや安否確認	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	e 通院、施設への送迎や外出の手伝い	1	— 2 —	3	— 4 —	5
子育て 支援	f 男女ともに家事、育児ができるための支援	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	g 親の仕事の都合に合わせた保育サービスの充実	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	h 親同士やボランティアによる地域の助け合い	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	i 子育ての不安、悩みの相談や支援	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	j 子どもの健康や発達に関する支援	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	k 親子が自由に交流できる場の充実	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	l 放課後の子育て支援	1	— 2 —	3	— 4 —	5
健康 づくり	m 寝たきりや認知症の予防	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	n 健康に関する情報の提供	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	o 運動を始めるきっかけづくり	1	— 2 —	3	— 4 —	5
安心 できる 地域 生活	p 失業や病気時などの経済支援（貸付金など）	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	q 災害時の救援体制の整備	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	r 振込詐欺や悪徳商法など消費者被害の防止	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	s 孤立や引きこもりの予防活動 （近隣住民との交流活動やサロン活動）	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	t 日常生活全般から医療や介護についての相談	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	u 趣味活動など余暇を過ごす活動への参加	1	— 2 —	3	— 4 —	5
	v 経験や知識などを活かしたボランティア活動への参加	1	— 2 —	3	— 4 —	5

問29 あなたは、地域で生活する上で住民同士のお互いのつながりやきずなを深めていくために、
どんなことが最も必要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 自治会が中心となって、地域住民の交流活動を進める
- 2 ボランティア団体などの活動への積極的な参加
- 3 仕事を持つ男性や退職世代の、地域の活動への積極的な参加
- 4 サークル活動など、市民参加による地域活動の活性化
- 5 江別市や社会福祉協議会による、地域の相談窓口と地域活動への支援の充実
- 6 企業に地域貢献活動への参加の働きかけ
- 7 わからない
- 8 その他 ()
- 9 つながりやきずなを深める必要はない【問30へ】

問30 問29で、「9 (つながりやきずなを深める必要はない)」を選択した方
住民同士のお互いのつながりやきずなを深める必要はないと思う理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 自分の問題は、自分で解決したいから
- 2 近所付き合いは、わずらわしいから
- 3 プライバシーが保てなくなるから
- 4 現在の生活で、とくに必要とは思っていないから
- 5 人との付き合いは苦手だから
- 6 地域社会の課題は、行政や専門機関が対応すべきだから
- 7 わからない
- 8 その他 ()

問31 **すべての方にお聞きします**
あなたにとって、現在暮らしている地域(町内会など)は住みやすいと思いますか。(○は1つ)

- 1 たいへん住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらかといえば住みにくい
- 4 たいへん住みにくい

問32 **すべての方にお聞きします**
問31でそのように答えた理由は何ですか。

災害対策について

問33 あなたは災害などの緊急事態が発生した場合、自力で支障なく避難できると思いますか。(○は1つ)

- 1 避難できる
- 2 避難できない 【問34へ】
- 3 わからない 【問34へ】

問34 問33で、「2 避難できない」「3 わからない」を選択した方
避難が必要なとき、支援してくれる方はどなたですか。(いくつでも)

- | | | | |
|---|----------------------|----|----------------------------------|
| 1 | 家族 | 8 | ボランティア活動をしている人 |
| 2 | 同居していない親族 | 9 | 福祉施設の職員 |
| 3 | 友人・知人 | 10 | 病院の職員（医師・看護師等を含む） |
| 4 | 職場の人 | 11 | 消防団 |
| 5 | 近所の人 | 12 | その他（具体的に： ） |
| 6 | 町内会・自治会の役員・民生委員・児童委員 | 13 | 支援してくれる人はいない |
| 7 | 市役所の職員 | | |

問35 **すべての方にお聞きします。**
災害時の避難や対応について不安に思うことはありますか。(いくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1 避難場所を知らない | 6 避難場所で必要な医療、介護などのケアが受けられるか |
| 2 緊急時の協力者がいない | 7 避難場所で高齢者・障がいのある方に配慮されているか |
| 3 避難場所へ行く手段がない | 8 避難場所で自分のけがや病気の状態が悪くならないか |
| 4 緊急時に情報を得る手段がない | 9 その他（具体的に： ） |
| 5 必要な物資を入手できるか | 10 特に不安はない |

問36 災害時の備えとして、普段どのようなことをしていますか。(いくつでも)

- 1 携帯ラジオやライトなどの防災関連の道具を準備している
- 2 食料や飲料水を準備している
- 3 常備薬、入れ歯、補聴器など無いと困るものを準備している
- 4 着替えや靴などをいつでも持ち出せるよう準備している
- 5 貴重品をいつでも持ち出せるよう準備している
- 6 避難する場所を決めている
- 7 家具の転倒防止をしている
- 8 自宅の耐震補強工事をしている
- 9 地震被害想定図や津波・洪水などのハザードマップを確認している
- 10 携帯電話などに送られる防災情報の配信登録をしている
- 11 その他（具体的に： ）
- 12 特に何もしていない

成年後見制度について

成年後見制度とは、認知症や知的障がい、その他精神上の障がいなどにより、判断する能力が十分ではない方（以下「本人」という。）の権利を守る制度です。

例えば、よくある困りごととして、財産（不動産や預貯金など）の管理が難しい、介護・福祉などサービスの手続き方法がわからない、自分にとって不利益な契約であっても、気がつかずに契約を結び、悪徳商法の被害に遭ってしまうなどが考えられます。

このように、意思決定に支援を必要とする本人に代わって、成年後見人等が本人の意思を尊重し、財産管理や暮らしの手続き、契約行為などを行います。

■成年後見制度には、2つの制度があります。

□法定後見制度：本人の判断能力が不十分となった後、家庭裁判所によって成年後見人等が選ばれる制度。

□任意後見制度：本人に十分な判断能力があるうちに、あらかじめ本人が選んだ人（例：親族や法律職など）に、代わりにしてもらいたいことを契約で決めておく制度。

問 37 民法の制度として、「成年後見制度」があることを、知っていますか。（○は1つ）

- 1 制度の内容を知っている
- 2 制度を聞いたことはあるが、詳細まではわからない
- 3 知らない

問 38 判断する能力が十分ではない方が、財産（不動産や預貯金など）の管理や、介護・福祉などサービスの利用手続きが難しい場合に、本人の権利を守る制度が必要だと思いますか。（○は1つ）

- 1 必要だと思う
- 2 必要だと思わない
- 3 わからない

・・・【問39へ】

問39 問38で、「1 必要だと思う」を選択した方

江別市には、高齢者や障がいのある方とその家族が、成年後見制度や財産の管理、将来に不安を感じた場合の相談先として、江別社会福祉協議会に「江別市成年後見支援センター」があることを、知っていますか。（○は1つ）

- 1 相談先であることを知っている
- 2 名称を聞いたことはあるが、詳細まではわからない
- 3 知らない

再犯防止について

問 40 あなたは、過去に罪を犯した人の立ち直り支援について、どのように思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------|
| 1 必要である | 4 必要ではない |
| 2 どちらかといえば必要である | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば必要ではない | |

問 41 あなたは、罪を犯した人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思えますか。
(いくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 就労支援 | 6 協力者の活動促進 |
| 2 住まいの確保支援 | 7 どのような支援が必要かわからない |
| 3 経済的支援 | 8 その他 |
| 4 地域住民の声かけ・かかわり | [] |
| 5 非行の防止・就学支援 | |
| | 9 特に必要な支援はない |

福祉行政について

問42 あなたは福祉全般に係るサービスなどの情報をどのような方法で入手していますか。
(いくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 市の広報誌 | 8 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 2 新聞、雑誌、チラシなど | 9 友人知人や近所の人 |
| 3 インターネット、SNS など | 10 家族、親戚 |
| 4 福祉、医療、介護サービス事業所 | 11 その他 |
| 5 市役所や市の出先機関 | [] |
| 6 社会福祉協議会の広報誌や窓口 | |
| 7 自治会 | 12 情報の入手方法がない／わからない |

問43 あなたは、江別市では、市と住民（自治会、関係団体、機関、企業を含む）が一体となり、協力してまちぐるみの福祉活動が行われていると思えますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 十分行われている | 4 あまり行われていない |
| 2 まあ行われている | 5 不十分である |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

～ 地 域 共 生 社 会 を 目 指 す た め に ～

少子高齢や人口減少が急速に進み、個人のライフスタイルが多様化するなか、地域とともに「支え合い」、「助け合う」という社会的なつながりが希薄になってきています。
そのため、人と人、人と地域の社会資源を世代や分野を超えてつなぐことにより、市民一人ひとりのより良い暮らしを共につくりあげる社会（地域共生社会）を目指すことが必要とされています。

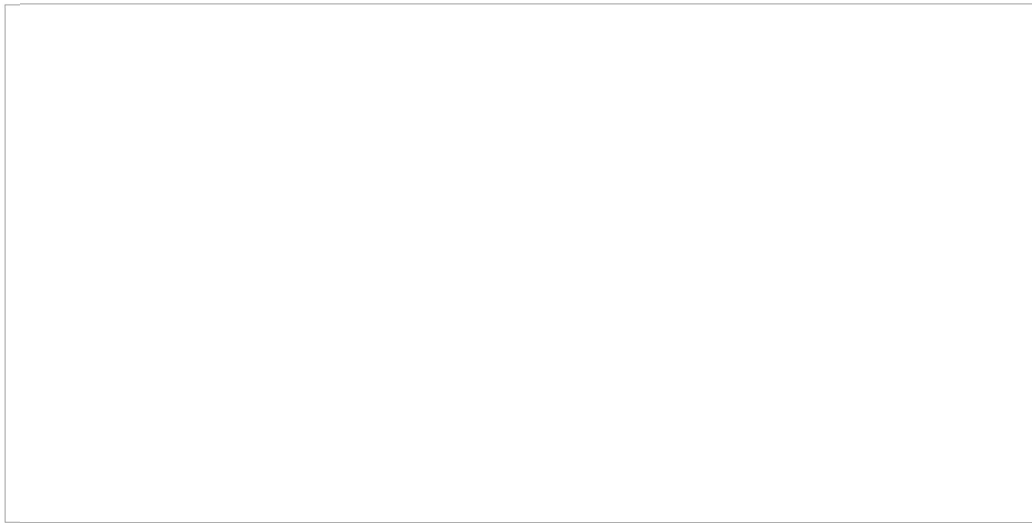
問44 今後、地域共生社会を目指していくうえで、地域活動を活性化するために力を入れるべきことは何だと思えますか。（いくつでも）

- 1 活動場所の確保
- 2 活動費の支援
- 3 活動に関する情報提供
- 4 活動に関わる人材の発掘
- 5 活動を指導できるような専門的な人材の養成
- 6 活動や人を結びつけるコーディネート機関
- 7 活動に関する相談窓口
- 8 子どもへの活動体験や教育等による意識づけ
- 9 活動に関する各種研修（地域活動を知らない人から経験者まで、各レベルに合わせた研修）
- 10 その他（)
- 11 今のままでよい

問45 住み慣れた地域で、安心して暮らしていくには何が大切だと思えますか。（いくつでも）

- 1 福祉、医療、保健の連携による相談体制、支援体制の充実
- 2 交通の利便性の向上、商店街の活性化など、地域おこしによる暮らしやすさの追求
- 3 男女が対等なパートナーとして認め合う男女共同参画社会の実現
- 4 地域における防犯、防災体制の充実
- 5 話し相手や孤独、孤立への対応
- 6 ボランティア活動やNPO（様々な社会貢献活動を行う民間の非営利組織）による福祉サービスの健全な発展
- 7 福祉サービスに関する情報の提供
- 8 地域を支える人づくりのための学習機会の充実
- 9 自治会や地域住民相互の協力による助け合い
- 10 子育てを地域全体で支えていく環境づくり
- 11 地域福祉活動への住民の主体的な参加
- 12 生活困窮者等の社会的弱者への相談、支援体制の充実
- 13 引きこもりへの相談、支援体制の充実
- 14 その他（)

問46 誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、高齢者、障がい者、子育てなどの福祉に関するご意見がありましたら、自由にご記入ください。



◆◆◆ 調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。 ◆◆◆

回答もれがないかご確認の上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて8月2日（金）までに郵便ポストにお入れください。

第5期江別市地域福祉計画策定に係る
市民アンケート調査報告書

令和7年3月

発 行 江別市

編 集 江別市健康福祉部管理課

住 所 〒067-8674 江別市高砂町6番地

管理課 電 話 011-381-1090

FAX 011-381-1070

ホームページ <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>